

“暮らしつづける”想いが叶うまち かわにし



平成31年度

事業報告書

社会福祉法人 川西市社会福祉協議会

目 次

平成31年度 事業報告

平成31年度事業の総括報告	1
平成31年度重点事業方針の内容と実績	2
A 法人運営事業	3
B 地域福祉事業	
B1 地域福祉活動推進事業	8
B2 ボランティア活動センター事業	17
B3 日常生活自立支援事業	25
B4 成年後見支援センター事業	27
B5 民生委員児童委員協議会連合会事業	31
B6 共同募金配分金事業	33
B7 基金事業	36
B8 資金貸付事業	38
B9 善意銀行事業	40
C・D 介護保険事業 訪問介護事業	41
総合支援法事業 居宅介護事業 重度訪問事業 同行援護事業 移動支援事業	
E 障がい者相談支援事業	46
F 障がい者施設	
F1 小戸作業所	51
F2 川西作業所	55
F3 ひまわり荘	58
G 障がい児施設	
G1 川西さくら園	60
G2 さくらんぼ	67
H 養護老人ホーム 満寿荘	70
I 老人福祉センター	
I1 一の鳥居老人福祉センター	75
I2 緑台老人福祉センター	78
I3 久代老人福祉センター	81
J 子育て支援	
J1 久代児童センター	84
J2 ファミリーサポートセンター	86

平成 31 年度事業の総括報告

平成 31 年度は、5 月に元号が「令和」に変わり、新しい時代の幕開けの年となりました。国においては、人生 100 年時代に対応した全世代型社会保障の構築やすべての人が地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に向けた取組み、そして、10 月には幼児教育・保育の無償化により子育て環境の整備等も進んでいます。

しかし、日本において 1 月 15 日に、兵庫県では 3 月 1 日、川西市は 3 月 6 日にそれぞれ症例が報告された新型コロナウイルスは、その後も感染者は増え続けています。3 月には全国の学校の休校要請や公共施設の貸館業務中止、行事や会議の中止や延期、外出自粛など、これまで経験したことのない事態となり、我々の福祉活動にも大きな影響が出ました。川西市社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、2 月 26 日に新型コロナウイルス感染症対策本部会議を立ち上げ、4 回開催し、国、県、市等の情報共有を図るとともに、福祉施設や在宅サービスの課題協議、感染拡大防止の対応策等を検討いたしました。先の見えない不安がつきまとう中、これからの支援のあり方が問われています。

一方、令和元年 6 月にキセラホールにおいて、地域児童育成環境づくりフォーラムが開催され、兵庫県下の主任児童委員や民生委員児童委員など 995 名が集いました。川西市と宝塚市の主任児童委員からの活動報告や基調講演等があり、子どもの居場所などについて学ぶよい機会となりました。

また、2 年目を迎えた川西市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネットかわにし）の取組みですが、11 月の川西まつりに参加し、社会福祉法人の PR を行うとともに、先進地事例や福祉避難所の開設と運営等に関する研修を開催し、法人間の連携も深めることができました。

さらに、本会組織のマネジメント力の維持・向上とやる気・能力のある職員を採用・登用する仕組みの導入をめざして、市福祉部と協議を重ねてきた結果、専門職員から総合職員へのキャリアアップ制度の導入及び専門職員の初任給の改定を行いました。

以下、平成 31 年度に本会が実施しました事業についてご報告いたします。

平成31年度 重点事業方針の内容と実績

方針項目		取 組 み 内 容 と 実 績
1	連携強化型相談窓口機能の整備	第4次川西市地域福祉推進計画の重点事業である連携強化型相談窓口機能の整備については、本会のコミュニティワーカー（地区担当職員）と権利擁護支援担当職員が連携・協働しながら取組みを進めていますが、より充実を図るために、国の地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業の申請を川西市を通じて行い、令和2年度から相談支援包括化推進員1名が配置されることになりました。
2	第2層協議体との協働による地域の支え合い体制の強化	生活支援コーディネーターとコミュニティワーカー（地区担当職員）により、14地区福祉委員会（コミュニティ）エリアごとの第2層協議体の運営支援を行うとともに、身近な地域での見守り、支え合い活動の推進や担い手の確保、育成に取り組みました。 そして、第2層協議体の実施状況や協議内容、地域課題等について市レベルの第1層協議体に報告し、地域の支え合い体制づくりの推進に努めました。
3	川西市社会福祉協議会中期経営計画の策定	本会の各種事業や施設運営並びに組織・財政等における現状と課題を明らかにし、将来を見据えて、組織における経営基盤強化を図ることを目的に、令和2年度～6年度までの中期経営計画（内部資料）を策定しました。本計画に掲載している計画金額や人員計画等の数値は、今後、行政と協議を行う際の目標値として活用していく予定です。
4	福祉避難所開設・運営マニュアルの作成	市から福祉避難所に指定されている、養護老人ホーム「満寿荘」と障がい者サービスセンター「ひまわり荘」において、災害時対応の迅速化、標準化、効率化を図るため、福祉避難所開設・運営マニュアルを作成し、災害時の体制づくりに取り組みました。
5	法令遵守体制が確立された組織づくり	法令遵守体制を確立するための改善計画の一環として、毎月、内部監査チーム会議を開催するとともに、指定管理施設9か所及び本部各チームが実施している事業をさらに広げて内部監査を実施しました。また、内部監査の結果を所属長会議で報告し、指摘内容の共有を図り、さらなる改善に努めました。

A	法人運営事業	決算科目	法人運営事業
---	--------	------	--------

主な事業内容・成果
第4次川西市地域福祉推進計画に基づいた事業展開により、「ほっときません！あきらめません！」の活動を進めました。 法令遵守のもと、引き続き内部監査を実施するとともに、会計に関する内部研修により、事務能力の向上に努めました。 社会福祉法人連絡協議会や川西市介護保険サービス協会等と連携し事業活動を推進しました。 自主事業であるすこやかサービスセンターの運営健全化をめざし、職員の配置転換による収支改善に努めました。

今後の課題
① 理事・監事・評議員を対象とした研修を継続実施し、法人運営や事業推進に携わっていただき、組織強化や事業の活性化をめざします。 ② 法令遵守体制の確立のため、内部監査を継続するとともに、個々の課題解決とおし法人全体の業務改善に取り組む必要があります。 ③ 法人連絡協議会と本会の活動が連動し、地域の課題解決に貢献できるよう取組を進める必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	113,650,865	112,356,048	△ 1,294,817
会費収入	9,552,982	9,284,769	△ 268,213
経常経費補助金収入	84,540,663	75,529,704	△ 9,010,959
投資有価証券売却収入	0	0	0
その他	19,557,220	27,541,575	7,984,355
(支 出)	105,879,700	112,093,301	6,213,601
人件費	77,023,150	94,757,874	17,734,724
事業費	1,116,046	413,144	△ 702,902
事務費	14,820,453	6,972,947	△ 7,847,506
積立資産支出	2,569,574	475,725	△ 2,093,849
拠点区分間繰入金支出	8,160,337	8,044,211	△ 116,126
その他	2,190,140	1,429,400	△ 760,740

当期資金収支差額	7,771,165	262,747	△ 7,508,418
前期末資金収支残高	△ 6,912,584	858,581	7,771,165
当期末支払資金残高	858,581	1,121,328	262,747

主な増減理由
① 経常経費補助金収入は、人事異動に伴う人件費の減 ② その他の収入は、退職手当預け金差額による増 ③ 人件費支出は、退職給付費支出の増 ④ 事務費支出は、事務所移転終了に伴う支出の減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	各活動における人材発掘と育成	活動項目	2-1
(1)	理事、評議員、地区福祉委員研修の充実	取組項目	⑤
・研修を通して、社協事業又その推進における理事会、評議員会の役割について理解をさらに深め、組織運営の基盤強化につなげます。 【実績と成果】 ・令和2年3月に開催を予定していた研修会が、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。			

2	福祉情報の受発信	活動項目	2-2
(1)	福祉情報の受発信に対する取組みの強化	取組項目	①
・住民が求める福祉情報を届けられるように、住民のニーズを把握し、情報の内容や発信の方法等の充実に努めます。 【実績と成果】 ・引き続き、情報の素早い発信に取り組みました。また、各担当者からの要望への対応を強化することで情報の受取手により良い情報が発信できるように努めました。			

(2)	社協職員一人ひとりの情報発進力向上のための取組み	取組項目	②
- 職員の誰もが、社協全体の動きを把握できる仕組みづくりを行い、住民に有効な情報が発信できるように努めます。 【実績と成果】 - 毎月行われる所属長会やパソコンの内部ネットワークを通じた情報発信を各部署で共有する取組みを行いました。			
(3)	ホームページや広報紙、情報紙等の充実	取組項目	③
- 現在発行している広報紙等をさらに読みやすく、情報が適切に伝わるように、レイアウトの工夫など内容の充実を図ります。また、身近なところで情報が得られるよう、設置場所等についても検討します。 【実績と成果】 - ホームページは、情報発信を増やし必要とする情報の提供に努めました。広報紙は、紙面に流れを持たせる構成とし読みやすい紙面作りを行いました。			

3	地域福祉に係る財源の確保	活動項目	2-4
(1)	各種自主財源のあり方検討	取組項目	①

- 社協の貴重な自主財源である会員会費や共同募金、善意銀行などが減少傾向にある中で、「寄付による地域福祉財源の確保」のあり方を一体的に検討します。

【実績と成果】

- 善意銀行は前年度より増加しましたが、会員会費、共同募金、歳末たすけあい募金は減少しました。
- 自主財源の確保に向けて、募金方法や募金機会の幅広い選択肢提供など、世の中の流れに対応できるよう引き続き検討をしていく必要があります。

①会員会費実績

・地区福祉委員会別会員会費集計表

(単位:円)

地区名	金額	地区名	金額	地区名	金額
久代小	480,405	明峰小	929,235	けやき坂小	95,251
加茂小	630,300	多田	382,965	東谷	526,730
川西小	687,450	多田東	461,635	大和	1,387,437
桜小	237,200	グリーンハイツ	1,810,624	北陵	289,357
北小	376,250	清和台	875,830	その他	114,100
				合計	9,284,769

・年度別会員会費の推移

(単位:円)

年度	金額
平成27年度	10,332,056
平成28年度	9,919,569
平成29年度	9,542,841
平成30年度	9,552,982
平成31年度	9,284,769

②川西市共同募金委員会への協力

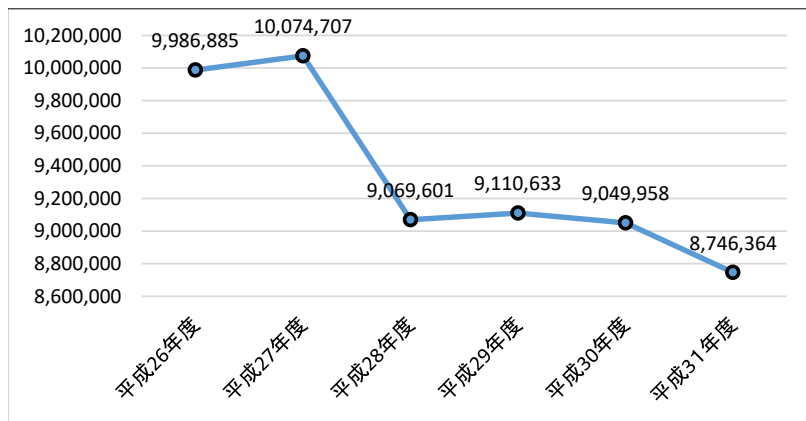
・共同募金実績

(単位:円)

広域目標額(円)	地域目標額(円)	目標額計(円)	実績額(円)	達成率(%)	集計完了日
2,761,000	6,579,000	9,340,000	8,746,364	93.6%	令和元年12月31日

・共同募金年度別推移表

(単位:円)

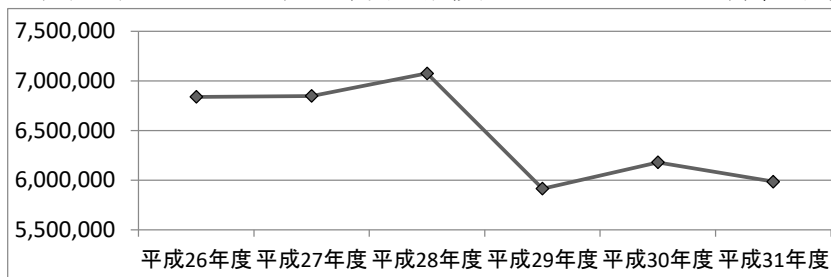


・歳末たすけあい運動持ち寄り金実績

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	集計完了年月日
6,300,000	5,984,013	95.0%	令和元年12月31日

・歳末たすけあい持ち寄り金年度別推移表

(単位:円)



(2) 新たな収益事業の検討

取組項目

②

- ・新たな福祉事業の開発や現事業の拡充のためには、安定した自主財源の確保が必要となります。新たな自主財源確保のために、横断的な職員の参加のもとに検討を行います。

【実績と成果】

- ・収益事業について、各部署から職員が参加し引き続き検討していきます。

4

ほっとかない、あきらめない支援の強化

活動項目

3-2

(1) 職員の資質向上

取組項目

②

- ・研修計画に則った研修を行い、各職員の専門性をさらに高めるとともに、総合的、横断的な支援が行えるように、職員間の連携を強化します。

【実績と成果】

- ・施設では年間計画に則り研修を実施しました。法人においては会計や認知症に関する研修を職員間のコミュニケーションをとりながら行いました。

5	専門機関・団体との連携、ネットワークの強化	活動項目	3-3
(1)	市内の社会福祉法人との連携	取組項目	③
・社会福祉法の改正に伴い義務化された「地域における公益的な取組」を進めるために、市内の社会福祉法人による連絡協議会を組織し、それぞれの専門性を活かした取組みをめざします。 【実績と成果】 ・地域住民へ連絡協議会の周知のため、「川西まつり」に参加しました。また、福祉避難所の指定を受けている法人に対し、川西市とともに福祉避難所の開設にかかる研修会を実施しました。			

その他

事業項目	①法令遵守体制の確立												
・さらなる法令遵守体制の確立をめざし、改善計画を推進します。 【実績と成果】 ・今年度も、内部監査を継続実施しました。また、会計に関する研修会を対象職員の範囲を広げ、2回実施しました。 時間外勤務の多い、川西さくら園、さくらんぼの時間外縮減に向けて職員との話し合いを継続的に実施しました。													
事業項目	②苦情処理会議の開催												
・第三者委員出席のもと、本会各事業に対し届いた苦情内容や処理の状況について精査します。 【実績と成果】 ・第三者委員から意見をいただくことで、その内容を事業運営にフィードバックするとともに、事業の透明性を確保することができました。													
事業項目	③研修体系の策定												
・本会に必要な研修内容を体系的まとめ、実施できるよう協議を行います。 【実績と成果】 ・横断的に職員の参加を求め協議を重ねました。次年度から優先的に実施する研修、定期的に実施する研修などとりまとめることができました。													
事業項目	④理事会等の開催状況												
理事会の開催													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(開催日)</th><th>(内容)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・令和元年 6月5日</td><td>理事候補者選定の承認、監事候補者選定の承認、評議員選任候補者の推薦、平成30年度事業報告・決算、定時評議員会の招集等</td></tr> <tr> <td>・令和元年 6月25日</td><td>会長及び副会長選定の承認、常務理事選定の承認、顧問委嘱の承認、評議員選任候補者の推薦等</td></tr> <tr> <td>・令和元年9月10日</td><td>評議員選任候補者の承認、すこやかサービスセンターの状況報告、兵庫県阪神北県民局提出改善計画令和元年7月遂行状況、会長及び常務理事の職務遂行状況等</td></tr> <tr> <td>・令和2年1月21日</td><td>評議員選任候補者の承認、川西市社会福祉協議会中期経営計画の策定、兵庫県阪神北県民局提出の改善計画の令和元年11月遂行状況の報告、会長及び常務理事の職務執行状況の報告等</td></tr> <tr> <td>・令和2年 3月30日</td><td>平成31年度補正予算(第1回)、職員就業規則の一部改正、職員給与規程の一部改正、印章規則の一部改正、川西市社会福祉協議会中期経営計画(案)、令和2年度事業計画・予算、評議員会の招集、理事候補者選定の承認、事務局長及び施設長等の選任等</td></tr> </tbody> </table>	(開催日)	(内容)	・令和元年 6月5日	理事候補者選定の承認、監事候補者選定の承認、評議員選任候補者の推薦、平成30年度事業報告・決算、定時評議員会の招集等	・令和元年 6月25日	会長及び副会長選定の承認、常務理事選定の承認、顧問委嘱の承認、評議員選任候補者の推薦等	・令和元年9月10日	評議員選任候補者の承認、すこやかサービスセンターの状況報告、兵庫県阪神北県民局提出改善計画令和元年7月遂行状況、会長及び常務理事の職務遂行状況等	・令和2年1月21日	評議員選任候補者の承認、川西市社会福祉協議会中期経営計画の策定、兵庫県阪神北県民局提出の改善計画の令和元年11月遂行状況の報告、会長及び常務理事の職務執行状況の報告等	・令和2年 3月30日	平成31年度補正予算(第1回)、職員就業規則の一部改正、職員給与規程の一部改正、印章規則の一部改正、川西市社会福祉協議会中期経営計画(案)、令和2年度事業計画・予算、評議員会の招集、理事候補者選定の承認、事務局長及び施設長等の選任等
(開催日)	(内容)												
・令和元年 6月5日	理事候補者選定の承認、監事候補者選定の承認、評議員選任候補者の推薦、平成30年度事業報告・決算、定時評議員会の招集等												
・令和元年 6月25日	会長及び副会長選定の承認、常務理事選定の承認、顧問委嘱の承認、評議員選任候補者の推薦等												
・令和元年9月10日	評議員選任候補者の承認、すこやかサービスセンターの状況報告、兵庫県阪神北県民局提出改善計画令和元年7月遂行状況、会長及び常務理事の職務遂行状況等												
・令和2年1月21日	評議員選任候補者の承認、川西市社会福祉協議会中期経営計画の策定、兵庫県阪神北県民局提出の改善計画の令和元年11月遂行状況の報告、会長及び常務理事の職務執行状況の報告等												
・令和2年 3月30日	平成31年度補正予算(第1回)、職員就業規則の一部改正、職員給与規程の一部改正、印章規則の一部改正、川西市社会福祉協議会中期経営計画(案)、令和2年度事業計画・予算、評議員会の招集、理事候補者選定の承認、事務局長及び施設長等の選任等												

評議員会の開催							
	<table><tr><th>(開催日)</th><th>(内容)</th></tr><tr><td>・ 令和元年 6月25日</td><td>理事の選任、監事の選任、平成30年度事業報告・決算、兵庫県阪神北県民局提出の改善計画にかかる平成30年度の取組</td></tr><tr><td>・ 令和2年 3月31日</td><td>平成31年度補正予算(第1回)、令和2年度事業計画・予算、理事の選任、中期経営計画策定等</td></tr></table>	(開催日)	(内容)	・ 令和元年 6月25日	理事の選任、監事の選任、平成30年度事業報告・決算、兵庫県阪神北県民局提出の改善計画にかかる平成30年度の取組	・ 令和2年 3月31日	平成31年度補正予算(第1回)、令和2年度事業計画・予算、理事の選任、中期経営計画策定等
(開催日)	(内容)						
・ 令和元年 6月25日	理事の選任、監事の選任、平成30年度事業報告・決算、兵庫県阪神北県民局提出の改善計画にかかる平成30年度の取組						
・ 令和2年 3月31日	平成31年度補正予算(第1回)、令和2年度事業計画・予算、理事の選任、中期経営計画策定等						
監査の実施							
	<table><tr><th>(開催日)</th><th>(内容)</th></tr><tr><td>・ 令和元年 5月28日</td><td>平成30年度事業及び社会福祉事業区分会計決算に関する監査</td></tr></table>	(開催日)	(内容)	・ 令和元年 5月28日	平成30年度事業及び社会福祉事業区分会計決算に関する監査		
(開催日)	(内容)						
・ 令和元年 5月28日	平成30年度事業及び社会福祉事業区分会計決算に関する監査						
正副会長会の開催							
	・ 毎月1日(原則)に開催し、社協経営等についての課題協議や事業実施状況報告等を行いました。また、3月に顧問との懇談会を開催しました。						

B1	地域福祉事業	決算科目	地域福祉活動推進事業
----	--------	------	------------

主な事業内容・成果
コミュニティワーカー（地区担当職員）の体制を強化し、地域活動への参画を積極的に行うことで、地域課題を把握し、課題解決に向けた地域福祉活動の推進に、一層、取り組みました。 また、生活支援に取り組むボランティア部会やグループの立ち上げ・運営支援に重点的に取り組み、ボランティアコーディネーターとの連携を図ることで、生活支援体制の整備に取り組みました。

今後の課題
地域福祉の担い手の高齢化が顕著であり、将来を見据えた人材の発掘と養成、新たな仕組みづくりが大きな課題です。 地域住民との協働、関係機関や行政との連携が一層、求められており、生活支援コーディネーター・コミュニティワーカー（地区担当職員）のソーシャルワーク能力の向上と体制強化が必要です。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	56,780,208	50,906,902	△ 5,873,306
経常経費補助金収入	33,386,147	33,198,620	△ 187,527
受託金収入	7,644,301	8,014,145	369,844
その他	15,749,760	9,694,137	△ 6,055,623
(支 出)	57,267,574	51,320,091	△ 5,947,483
人件費	39,500,004	39,586,223	86,219
事業費	2,783,946	2,409,605	△ 374,341
事務費	505,634	524,793	19,159
助成金支出	6,163,893	5,896,404	△ 267,489
その他	8,314,097	2,903,066	△ 5,411,031
予備費	0	0	0

当期資金収支差額	△ 487,366	△ 413,189	74,177
前期末資金収支残高	2,690,386	2,203,020	△ 487,366
当期末支払資金残高	2,203,020	1,789,831	△ 413,189

主な増減理由
① 事業費は、印刷経費等見直しによる減 ② その他は、ひだまり基金積み立て資産取崩等による増減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	福祉デザインひろばづくりの推進	活動項目	1－1																		
(1)	住民主体の「福祉デザインひろば」づくりの推進	取組項目	①																		
・ コミュニティワーカー（地区担当職員）による地区福祉委員会へのサポート体制を強化し、より深く地域と関わることで、小学校区ごとの「福祉デザインひろばづくり」を支援します。																					
【実績と成果】																					
・ コミュニティワーカー（地区担当職員）の地域支援活動状況																					
<table><tr><th>活動内容</th><th>件数</th><th>内容の詳細</th></tr><tr><td>会議・行事等への参加</td><td>459 件</td><td>定例会等での助言・提案、ふれあいサロンや行事等各種活動への支援、各部会活動への支援等</td></tr><tr><td>会議の主催、講話の実施等</td><td>42 件</td><td>地域活動支援に資する会議の主催や研修会での講話等</td></tr><tr><td>相談対応</td><td>99 件</td><td>活動及び個別支援に関する相談対応</td></tr><tr><td>連絡調整</td><td>35 件</td><td>活動に関する連絡調整</td></tr><tr><td>その他</td><td>22 件</td><td>上記以外の活動</td></tr></table>				活動内容	件数	内容の詳細	会議・行事等への参加	459 件	定例会等での助言・提案、ふれあいサロンや行事等各種活動への支援、各部会活動への支援等	会議の主催、講話の実施等	42 件	地域活動支援に資する会議の主催や研修会での講話等	相談対応	99 件	活動及び個別支援に関する相談対応	連絡調整	35 件	活動に関する連絡調整	その他	22 件	上記以外の活動
活動内容	件数	内容の詳細																			
会議・行事等への参加	459 件	定例会等での助言・提案、ふれあいサロンや行事等各種活動への支援、各部会活動への支援等																			
会議の主催、講話の実施等	42 件	地域活動支援に資する会議の主催や研修会での講話等																			
相談対応	99 件	活動及び個別支援に関する相談対応																			
連絡調整	35 件	活動に関する連絡調整																			
その他	22 件	上記以外の活動																			

・「福祉デザインひろばづくり」実施状況(図①)

活動内容		実施地区数	延活動回数	延参加者数
1・協議の場(①+②+③+④)			598 回	9,569 人
①福祉ネットワーク会議・第2層協議体等の開催		14 地区	81 回	1,506 人
②座談会・懇談会などの開催		3 地区	6 回	88 人
③理事会、役員会、部会等の開催		14 地区	490 回	7,736 人
④個別支援に関する話し合いの場の開催、参加		7 地区	21 回	239 人
2・広報・啓発		実施地区数	延開催回数	延参加者数
⑤啓発活動(福祉講座や研修会など)(⑥+⑦+⑧+⑨)			157 回	6,532 人
⑤ 内 訳	⑥福祉委員対象(部会研修含む)	13 地区	39 回	1,298 人
	⑦地域住民対象(車いす体験学習、公民館共催講座含)	13 地区	44 回	2,213 人
	⑧認知症サポーター養成講座(主催・共催)	12 地区	42 回	2,688 人
	⑨上記以外の啓発活動(SOS訓練など)	12 地区	32 回	333 人
⑩広報紙(地区ニュース)の発行		単独	8 地区	発行回数
		合同	4 地区	部数/1回
		両方	2 地区	79回
				74,650
3・居場所・通いの場(月1回以上の開催)		開催箇所数	延開催回数	延参加者数
⑪誰もが参加可能な居場所の開催(⑫+⑬+⑭)		68 箇所	1,312 回	37,138 人
⑪ 内 訳	⑫ふれあいサロン	54 箇所	885 回	22,625 人
	⑬コミュニティカフェ	12 箇所	397 回	10,064 人
	⑭コミュニティレストラン	2 箇所	30 回	4,449 人
⑮認知症の方やその家族を主たる対象としたカフェなどの開催		6 箇所	65 回	1,352 人
⑯障がい者やその家族を主たる対象としたカフェなどの開催		3 箇所	41 回	492 人
⑰高齢者対象のサロンやカフェの開催		5 箇所	63 回	2,204 人
⑱介護予防に関する通いの場の開催・開催支援(各種体操、まちの保健室、認知症予防事業など)		20 箇所	329 回	8,584 人
⑲子育てサロンの開催・支援		23 箇所	241 回	3,688 人
⑳子ども食堂の開催		0 箇所	0 回	0 人
㉑上記以外の居場所・通いの場の開催		7 箇所	246 回	3,982 人
4・住民交流(月1回以下の開催)		開催箇所数	延開催回数	延参加者数
㉒高齢者のつどいなどの開催(ひとり暮らし高齢者対象含)		31 箇所	57 回	3,202 人
㉓ひとり暮らし高齢者の会の育成・支援		12 箇所	23 回	789 人
㉔介護予防に関する事業(認知症予防含)の開催・支援		21 箇所	64 回	1,577 人
㉕三世代交流を目的とした行事(バザー含)の開催		54 箇所	71 回	23,158 人
㉖障がい者との交流を目的とした行事の開催		20 箇所	89 回	2,543 人
㉗防災に係る活動の開催・参加・協力		23 箇所	23 回	1,836 人
㉘上記以外の住民交流を目的とした行事の開催		21 箇所	28 回	1,446 人
5・相談		開催箇所数	延開催日数	延相談件数
㉙地区相談窓口(単独設置・サロン等併設型問わず)		50 箇所	1,380 日	875 件
その他の活動		実施地区数	延開催回数	延参加者数
敬老のお祝い等		6 地区	118 回	1,279 件

(生活支援)ボランティア部会等設置数		ボランティア登録者数	延活動回数	延活動者数
14 地区		789 人	2,691 回	3,287 人

(2)	地域のニーズに合わせたふれあい交流事業の推進～ふれあい～	取組項目	②
・ 地区福祉委員会とともに様々な地域のニーズに合わせたふれあい・交流の場づくりを進め、支えあいの土台となる住民同士の顔の見える関係づくりを広めます。			
【実績と成果】			
・ 地区福祉委員会の定例会議等へ参加し、地域のニーズに合ったふれあい・交流の場について地区福祉委員会とともに検討し、事業の推進に取り組みました。			
・ 地域福祉活動器材の貸し出しを通じて、地区福祉委員会や自治会などが主催する地域交流事業の開催を支援しました。			
＜地域福祉活動器材の貸し出し状況＞			
福祉活動器材		貸出団体・グループ数(延べ)	
わた菓子機、ポップコーン製造機、テント、疑似体験セット、サンタ衣装、餅つきセット、拍子木セット、プロジェクター、スクリーン、カプラ、ソフトブロック		95 団体・グループ	

(3)	地区相談窓口の実施支援～支えあい～	取組項目	③
・ 地域における相談員研修やあり方の検討を通して、身近で気軽に相談できる窓口の充実を支援します。			
【実績と成果】			
※地区相談窓口事業の実施状況は、図①の活動内容「5. 相談」を参照。			
＜地区相談窓口研修会の開催状況＞			
開催地区		2 地区	
参加者		12 人	

(4)	小学校区単位でのネットワークづくり～つながりあい～	取組項目	④
・ 福祉ネットワーク会議等において、地域住民や関係団体などが連携を深め、地域課題を共有し、解決に向けた協働による具体的取組みが進むように、課題解決に向けて支援します。			
【実績と成果】			
・ 地区内の多様な団体・事業者等に対して、福祉ネットワーク会議や各種行事への参加協力を呼びかけることにより、小学校圏域でのネットワークづくりを推進しました。			

(5)	子育て支援の推進	取組項目	⑤
・ 子育てサロンの運営支援に加え、地域の様々な場面を通して、ふれあいや支えあいによる地域の子育て環境の現状把握を行います。			
【実績と成果】			
・ 子育てサロンへ出向いたり、主任児童委員と連携することにより、当事者の声の把握に努めました。			
・ 活動遊具の貸し出しを通して、まちの子育てひろばや子ども会などの活動を支援しました。			
活動遊具の貸し出し状況		39 件	

(6)	地区福祉委員会事業へのより幅広い住民の参画推進	取組項目	⑥
・ 多くの住民が参画できる仕組みをつくるため、ラウンドテーブルなど様々な場面において、住民の意見の把握に努めます。			
【実績と成果】			
・ コミュニティ推進組織や自治会との協議の場を通して、地域福祉活動に対する住民の意見やニーズの把握が促進されました。			

2	普段も災害時も助け合えるつながりづくり	活動項目	1－3
(1)	関係団体との定期的な協議・検討	取組項目	①
・ 川西市やボランティア活動センターと連携し、定期的な協議・検討を行います。			
【実績と成果】			
・ 福祉ネットワーク会議で議題に取り上げるなどし、避難行動要支援者支援の取り組みを通して、普段も災害時も助けあえるつながりづくりを進めました。			

3	地域資源の開発(生活支援体制整備事業の推進)		活動項目	1-4												
(1)	ニーズに応じた地域福祉資源の開発		取組項目	①												
地域診断の手法を学び、「地域の見える化」を図りながら、住民とともに今ある地域資源を発掘するとともに、必要に応じて新たな資源を開発します。																
【実績と成果】																
福祉ネットワーク会議、第2層協議体など、小学校圏域(第2層)における協議の場などを通して地域資源を発掘するとともに、足りない資源については地区福祉委員会等に対して開発を支援しました。																
(2)	身近なエリアでの見守り・支えあい活動の推進		取組項目	②												
より小さなエリアで見守りや支えあい活動が推進されるよう、地域ケア個別会議などで個別ニーズの把握に努めます。																
【実績と成果】																
行方不明者SOSネットワークについて、地区福祉委員会連絡会にて問題点をまとめ、介護保険課と協議し、身近なエリアでの見守りが更に推進するよう、運用の見直しにつなげました。																
見守りネットワーク実施地区数 14 地区 (認知症行方不明者SOSネットワーク含む)																
(3)	地域におけるコーディネーター機能の強化		取組項目	③												
地域包括ケアシステムの構築を通して、地域共生社会の実現をめざし、コミュニティワーカー(地区担当職員)が地域におけるコーディネーターの役割を果たします。																
【実績と成果】																
コミュニティワーカー(地区担当職員)の体制を強化し、生活支援コーディネーターと連携した地域におけるコーディネーター機能を果たせるよう、内外の研修への参加などを通して、ソーシャルワーク技術の向上を図りました。																
<table><tr><td>年度</td><td colspan="2">生活支援コーディネーター</td><td>コミュニティワーカー</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>第2層</td><td>1名</td><td>3名(兼務)</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td>第2層</td><td>1名</td><td>1名(専任)、2名(兼務)</td></tr></table>					年度	生活支援コーディネーター		コミュニティワーカー	平成30年度	第2層	1名	3名(兼務)	平成31年度	第2層	1名	1名(専任)、2名(兼務)
年度	生活支援コーディネーター		コミュニティワーカー													
平成30年度	第2層	1名	3名(兼務)													
平成31年度	第2層	1名	1名(専任)、2名(兼務)													
(4)	協議の場の充実		取組項目	④												
地域における既存の会議を整理し、住民主体の会議と専門職などが主導する会議との連携がとれるよう協議の場の充実を図ります。																
【実績と成果】																
コミュニティワーカー(地区担当職員)が生活支援コーディネーターの役割も担い、小学校圏域(第2層)ごとの協議の場への運営支援を行いました。また、小学校圏域における4つの共通課題(人材の確保、財源の確保、拠点の確保、移動手段の確保)を分析し、市レベル(第1層)の協議体での協議につなげました。																

4	各活動における人材発掘と育成	活動項目	2－1															
(1)	人材確保に向けた検討の場づくり	取組項目	①															
- 地区のニーズに沿った人材確保に向けて、抜本的な取り組みの見直しを行うために、ボランティア活動センター、コミュニティワーカー（地区担当職員）、地区福祉委員会、川西市ボランティア連絡協議会、ボランティアグループ、川西市などが参画する検討の場をつくります。 【実績と成果】 - 小学校圏域（第2層）における福祉ネットワーク会議で議題に取り上げるなどし、人材確保に向けた検討の場をもち、課題解決に向けて具体的な方策を協議しました。																		
(2)	理事、評議員、地区福祉委員研修の充実	取組項目	⑤															
地区福祉委員が自ら講師を担うなど、地域住民同士で、ともに高めあう研修を企画します。 【実績と成果】 地区福祉委員研修の開催状況 <table><tr><th>内 容</th><th>開催地区数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>福祉委員新任研修</td><td>6 地区</td><td>144 人</td></tr><tr><td>社協活動福祉委員研修</td><td>1 地区</td><td>34 人</td></tr><tr><td>地区相談窓口員研修</td><td>2 地区</td><td>12 人</td></tr><tr><td>地域福祉市民フォーラム※</td><td></td><td>282 人</td></tr></table> ※民生委員との兼務者は集計から除く				内 容	開催地区数	参加者数	福祉委員新任研修	6 地区	144 人	社協活動福祉委員研修	1 地区	34 人	地区相談窓口員研修	2 地区	12 人	地域福祉市民フォーラム※		282 人
内 容	開催地区数	参加者数																
福祉委員新任研修	6 地区	144 人																
社協活動福祉委員研修	1 地区	34 人																
地区相談窓口員研修	2 地区	12 人																
地域福祉市民フォーラム※		282 人																

5	福祉情報の受発信	活動項目	2-2
(1)	地区福祉委員会などと連動した福祉情報の発信	取組項目	④
・ 本会と地区福祉委員会など住民と、お互いの情報の受発信がより効果的となるよう、役員会やブロック連絡会、福祉委員会連絡会などにおいて、情報共有を深めます。 【実績と成果】 ・ 地区福祉委員会を中心とした住民ネットワークを活かし、双方の福祉情報の効果的な受発信に取り組みました。			

6	福祉教育の推進並びに学習機会の提供	活動項目	2-3
(1)	地区福祉委員会と連携した研修会などの開催	取組項目	③
・ 地域福祉活動が、より小地域でも広がるよう、ボランティアコーディネーターと連携して、地域におけるコーディネーター養成研修会などを開催します。 【実績と成果】 ・ 福祉委員会と公民館が共催する福祉講座などにおいて、ボランティアコーディネーターとの連携を図り、ボランティア活動センターの出前講座を活用するなど、小地域福祉活動が広がるような講座を開催しました。			

7	地域福祉に係る財源の確保	活動項目	2－4																				
(1)	地域関係団体などと連携・協働した広報活動	取組項目	③																				
- 地区福祉委員会やコミュニティ組織、関係団体などの各広報媒体に、本会や地域福祉活動への理解が深まるような記事を掲載できるよう働きかけを行います。 【実績と成果】 - 地区福祉委員会が発行する広報紙に、地域福祉活動への理解が深まるような記事が掲載されるよう働きかけました。																							
(2)	各種助成金の情報発信と支援	取組項目	④																				
- 地区福祉委員会や関係団体などにおける民間財団からの助成金の活用について、ボランティアコーディネーターと連携しタイムリーな情報発信に努めるとともに、申請に係る支援を行います。 【実績と成果】 - 地区福祉委員会に対し、民間財団からの助成金の募集について、タイムリーな情報発信に努めると共に申請に係る支援を行いました。 - 令和2年度社協ひだまり基金・共同募金事業を実施し、新たな地域福祉事業を行う3団体に対して助成を内定しました。 ＜公開プレゼンテーション、選考委員会の開催＞ <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>場所</th></tr><tr><td rowspan="2">令和2年 2月18日(火)</td><td>公開プレゼンテーション 申請団体3団体によるプレゼンテーション</td><td rowspan="2">キセラ川西プラザ</td></tr><tr><td>選考委員会(非公開) 選考委員6名による審議</td></tr></table>				開催日	内容	場所	令和2年 2月18日(火)	公開プレゼンテーション 申請団体3団体によるプレゼンテーション	キセラ川西プラザ	選考委員会(非公開) 選考委員6名による審議													
開催日	内容	場所																					
令和2年 2月18日(火)	公開プレゼンテーション 申請団体3団体によるプレゼンテーション	キセラ川西プラザ																					
	選考委員会(非公開) 選考委員6名による審議																						
＜助成実績＞ <table><tr><th>No.</th><th>申請団体名</th><th>助成金申請の目的</th><th>助成金額</th></tr><tr><td>1</td><td>清和台地区 自主防災会</td><td>■災害発生時の対応・避難所運営マニュアルの発行・配布 避難行動に支援が必要な災害弱者への対応を盛り込んだ「災害時対応・避難所運営マニュアル」を全戸へ配布し、防災訓練等で活用することにより、住民の防災意識や対応力の向上だけでなく、平時からの住民同士のつながり合い、支え合いの促進を目指す。</td><td>250,000 円</td></tr><tr><td>2</td><td>多田東 地区福祉委員会</td><td>■有償ボランティアによる生活支援活動の実施 有償ボランティアによるちょっとした困りごとの支援や情報提供活動を実施することで「地域包括ケア」の一翼を担い、住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしができる地域づくりを進める。 また、活動を通じて、地域におけるボランティアを確保・育成し、地域のつながり、支え合いを促進する。</td><td>230,000 円</td></tr><tr><td>3</td><td>竜胆</td><td>■地域の絆づくりのための食事会の開催、調理ボランティアの確保と育成 子どもから高齢者まで幅広い世代に手作りの食事を提供するだけでなく、配膳や片付けなどは参加者にも担ってもらうことで、異世代間のコミュニケーションを促進し、交流を深め、地域の絆づくりにつなげる。 また、ボランティアを幅広く募集するなどして人材確保と育成を行う。</td><td>120,000 円</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>600,000 円</td></tr></table>				No.	申請団体名	助成金申請の目的	助成金額	1	清和台地区 自主防災会	■災害発生時の対応・避難所運営マニュアルの発行・配布 避難行動に支援が必要な災害弱者への対応を盛り込んだ「災害時対応・避難所運営マニュアル」を全戸へ配布し、防災訓練等で活用することにより、住民の防災意識や対応力の向上だけでなく、平時からの住民同士のつながり合い、支え合いの促進を目指す。	250,000 円	2	多田東 地区福祉委員会	■有償ボランティアによる生活支援活動の実施 有償ボランティアによるちょっとした困りごとの支援や情報提供活動を実施することで「地域包括ケア」の一翼を担い、住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしができる地域づくりを進める。 また、活動を通じて、地域におけるボランティアを確保・育成し、地域のつながり、支え合いを促進する。	230,000 円	3	竜胆	■地域の絆づくりのための食事会の開催、調理ボランティアの確保と育成 子どもから高齢者まで幅広い世代に手作りの食事を提供するだけでなく、配膳や片付けなどは参加者にも担ってもらうことで、異世代間のコミュニケーションを促進し、交流を深め、地域の絆づくりにつなげる。 また、ボランティアを幅広く募集するなどして人材確保と育成を行う。	120,000 円	合計			600,000 円
No.	申請団体名	助成金申請の目的	助成金額																				
1	清和台地区 自主防災会	■災害発生時の対応・避難所運営マニュアルの発行・配布 避難行動に支援が必要な災害弱者への対応を盛り込んだ「災害時対応・避難所運営マニュアル」を全戸へ配布し、防災訓練等で活用することにより、住民の防災意識や対応力の向上だけでなく、平時からの住民同士のつながり合い、支え合いの促進を目指す。	250,000 円																				
2	多田東 地区福祉委員会	■有償ボランティアによる生活支援活動の実施 有償ボランティアによるちょっとした困りごとの支援や情報提供活動を実施することで「地域包括ケア」の一翼を担い、住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしができる地域づくりを進める。 また、活動を通じて、地域におけるボランティアを確保・育成し、地域のつながり、支え合いを促進する。	230,000 円																				
3	竜胆	■地域の絆づくりのための食事会の開催、調理ボランティアの確保と育成 子どもから高齢者まで幅広い世代に手作りの食事を提供するだけでなく、配膳や片付けなどは参加者にも担ってもらうことで、異世代間のコミュニケーションを促進し、交流を深め、地域の絆づくりにつなげる。 また、ボランティアを幅広く募集するなどして人材確保と育成を行う。	120,000 円																				
合計			600,000 円																				
※ 令和2年度に実施する事業に対する助成																							

8	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3－1																																								
(1)	地域福祉活動の推進を通したニーズ把握	取組項目	①																																								
・ 地区相談窓口などの様々な相談窓口に加え、カフェやサロンなどの様々な地域福祉活動及び福祉ネットワーク会議を通じて、地域のニーズや生活課題の把握に取り組みます。																																											
【実績と成果】																																											
・ 地区の様々な相談窓口や活動との連携や福祉ネットワーク会議への参加を通じて、地域のニーズや生活課題の把握に努めました。																																											
<心配ごと相談所実施の状況> ・相談日 毎週月曜日、木曜日（年末年始、祝日は休み） 86回 午後1時30分～4時 ・相談場所 月曜日・・・川西市役所1階 福祉部相談室 木曜日・・・キセラ川西プラザ福祉棟1階相談室 ・相談員 15名（民生委員児童委員） ・相談件数 40件 来所・・・27件 電話・・・13件 月曜日・・・17件 木曜日・・・23件 ・相談内容（1件の相談に複数の相談内容を含む）																																											
(単位:件)																																											
相談内容 <table><tr><td>生計</td><td>3</td></tr><tr><td>年金</td><td>0</td></tr><tr><td>職業・生業</td><td>0</td></tr><tr><td>住宅</td><td>5</td></tr><tr><td>家族</td><td>14</td></tr><tr><td>結婚</td><td>0</td></tr><tr><td>離婚</td><td>0</td></tr><tr><td>健康・衛生</td><td>9</td></tr><tr><td>医療</td><td>5</td></tr><tr><td>精神衛生</td><td>11</td></tr><tr><td>人権・法律</td><td>5</td></tr><tr><td>財産</td><td>2</td></tr><tr><td>事故</td><td>0</td></tr><tr><td>児童福祉・母子保健</td><td>0</td></tr><tr><td>教育・青少年</td><td>1</td></tr><tr><td>心身障がい者・児童福祉</td><td>1</td></tr><tr><td>母子福祉・父子福祉</td><td>11</td></tr><tr><td>老人福祉</td><td>5</td></tr><tr><td>苦情</td><td>14</td></tr><tr><td>その他</td><td>14</td></tr></table>				生計	3	年金	0	職業・生業	0	住宅	5	家族	14	結婚	0	離婚	0	健康・衛生	9	医療	5	精神衛生	11	人権・法律	5	財産	2	事故	0	児童福祉・母子保健	0	教育・青少年	1	心身障がい者・児童福祉	1	母子福祉・父子福祉	11	老人福祉	5	苦情	14	その他	14
生計	3																																										
年金	0																																										
職業・生業	0																																										
住宅	5																																										
家族	14																																										
結婚	0																																										
離婚	0																																										
健康・衛生	9																																										
医療	5																																										
精神衛生	11																																										
人権・法律	5																																										
財産	2																																										
事故	0																																										
児童福祉・母子保健	0																																										
教育・青少年	1																																										
心身障がい者・児童福祉	1																																										
母子福祉・父子福祉	11																																										
老人福祉	5																																										
苦情	14																																										
その他	14																																										
・連携、つなぎ先 ・市役所（生活相談課、生活支援課、人権推進課、介護保険課、医療助成・年金課）・・・4件 ・地域包括支援センター・・・7件 ・その他の機関（ハローワーク等）・・・4件																																											
【実績と成果】																																											
・ 専門的な相談や他機関を紹介する必要がある場合は市役所の法律相談や地域包括支援センター、社会福祉協議会総合相談窓口等と連携し、対応しました。 - また、地域包括支援センターとケース会議等で情報を共有しました。																																											

(2)	“我が事”と捉える意識と受援力の醸成	取組項目	②
・ 地区福祉委員会役員会への参画や相談窓口員研修の開催などの地域支援を通して、地域の課題を“我が事”と捉える意識の醸成や支援の手を求める受援力を高めていく土壌づくりを推進します。 【実績と成果】 ・ 会議や事業等への参加 459 件 ・ 研修会等での講話 10 件			
(3)	多様な担い手との連携・協働による切れ目のない支援体制づくり	取組項目	③
・ 地域における様々な資源や関係機関とのネットワークをより強化し、切れ目のない包括的な支援体制づくりを進めます。 【実績と成果】 ・ 福祉ネットワーク会議などを通して関係機関とのネットワーク強化を図り、切れ目のない包括的な支援体制づくりを進めました。			

9	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2
(1)	総合相談支援体制の強化	取組項目	①
・ 地区担当職員と権利擁護担当職員が中心となり、各担当部署と連携しながら、地域に出向き、様々な課題を把握し、受け止め、解決に向けた支援を行います。 【実績と成果】 ・ 権利擁護担当職員と協働してケースにあたるなど、市社協内における包括的な総合相談支援体制の強化を図りました。			

10	専門機関・団体との連携、ネットワークの強化	活動項目	3-3
(1)	顔の見えるつながりづくりの推進	取組項目	①
・ 見守り協力事業者ネットワークなどへの参画を通して、福祉分野以外の団体、NPO、企業などと協働・連携し、支援の輪が広がるよう取り組みます。 【実績と成果】 ・ 見守り協力事業者ネットワーク連絡会(市事業)に参加し、ネットワークの強化に努めました。			
(2)	自治会やコミュニティ組織への支援	取組項目	②
・ 川西市の各所管の地域担当との定期的な情報交換会への参画を通し、自治会やコミュニティ組織が抱える地域課題の把握や共有化、役割分担を図るなかで、解決に向けた支援を本会のネットワークを活かし取り組みます。 【実績と成果】 ・ 川西市地域福祉課や参画協働課など関係各課と、適宜、情報交換を行い、自治会やコミュニティ組織に関する情報共有に努めました。			
(3)	包括的・総合相談支援体制における連携	取組項目	⑤
・ コミュニティソーシャルワーク機能を発揮するとともに、川西市と連携して、複合化した地域の生活課題への包括的な支援に取り組みます。 【実績と成果】 ・ 民生委員や福祉委員などから受理した相談に対し、川西市や他機関と連携して包括的な支援に取り組みました。			

その他	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3－4
(1)	地域の福祉拠点としての取組み	取組項目	②
・ 車いすを無料又は定額で貸し出すことで、在宅生活を支援しました。			
【実績と成果】			
・ 車いす保有、貸し出し台数			
保有台数 37 台			
貸出人数(延べ) 182 人			
貸出台数(延べ) 186 台			
貸出期間(延べ) 9,430 日			

B2	地域福祉事業	決算科目	ボランティア活動センター事業
----	--------	------	----------------

主な事業内容・成果
ボランティアグループの助成金基準を見直し、キセラ川西プラザにおいて活発なボランティア活動が推進されるよう取り組みました。 地域におけるボランティアの発掘や育成に重点的に取り組み、コミュニティワーカーと連携し、地区ボランティア部会の運営支援等を行い、課題の共有や具体的解決策の提案などを行いました。 また、講座においても、地域での出前講座を推進し、つながりづくりを醸成しました。

今後の課題
地域での出前講座等の開催を通したきっかけづくりの場の提供や活動へのコーディネート機能を充実していくことで、地域福祉活動の担い手の確保・育成をさらに図る必要があります。 また、災害時の迅速な対応に向け、法人内の組織的な対応のマニュアル化及び共有化を図る必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	29,716,405	14,050,225	△ 15,666,180
経常経費補助金収入	14,158,000	13,554,530	△ 603,470
寄付金収入	133,634	78,379	△ 55,255
その他	15,424,771	417,316	△ 15,007,455
(支 出)	29,473,333	14,218,865	△ 15,254,468
人件費	11,746,117	11,446,644	△ 299,473
事業費	2,435,568	2,188,963	△ 246,605
事務費	116,514	92,379	△ 24,135
助成金支出	37,000	29,500	△ 7,500
その他	15,138,134	461,379	△ 14,676,755
予備費	0	0	0

当期資金収支差額	243,072	△ 168,640	△ 411,712
前期末資金収支残高	364,413	607,485	243,072
当期末支払資金残高	607,485	438,845	△ 168,640

主な増減理由
① 人件費は、配置職員の変更等による減 ② 事業費は、被災地支援事業の支出減による減 ③ その他は、ボランティア基金積立資産等の増減

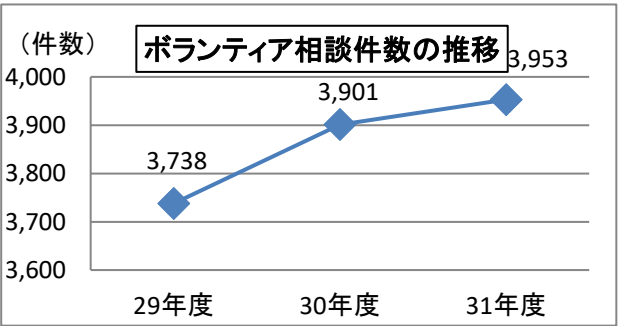
平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	ボランティア活動・市民活動・当事者活動の推進と支援	活動項目	1-2
(1)	ボランティア活動センターの機能強化	取組項目	①
・ 依頼者と活動者の双方が継続した関係を築けるように、ボランティア活動センターのコーディネート機能を強化します。また、複合的なニーズに対する課題解決もボランティア活動だけに留まらず、市や関係団体と連携して取り組みます。			
【実績と成果】			
・ 相談内容件数 (単位:件数)			
活動希望	情報提供	ニーズ	
50	37	297	
共済	器材	悩み	
524	121	4	
連絡・報告	講座	提案	
2,745	155	0	
苦情	その他	合計	
1	19	3,953	

ボランティア相談者別件数内訳 (単位:件数)	
市民	施設・団体
402	2,720

行政	企業	合計
702	129	3,953

ボランティア相談件数の推移	
(件数)	
4,000	
3,900	
3,800	
3,700	
3,600	
29年度	30年度
3,738	3,901
	3,953
	31年度



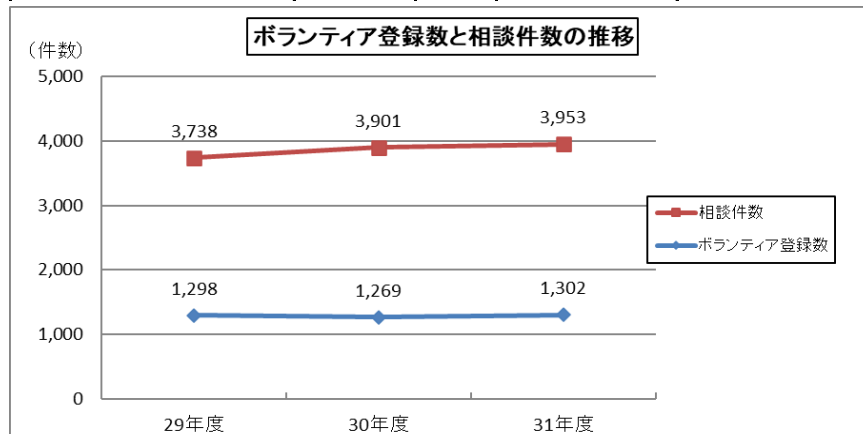
・ 種類別ボランティア活動状況

(単位:人)

保育等	点訳	音訳	傾聴	筆談	調理	家事援助	行事手伝	CH指導等
366	40	114	183	14	181	2	52	34
外出支援	施設手伝	特技活動	手話	講座等	居場所	その他		
294	879	372	107	117	249	573		
合計		延べ活動人数						
3,577		11,113						

・ ボランティア活動センター登録状況(平成31年度末現在登録者)

種別	人数	内 訳	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上
個人登録	254 名		0 名	150 名	104 名
グループ登録(57G)	1,048 名		36 名	360 名	652 名
合計	1,302 名		36 名	510 名	756 名

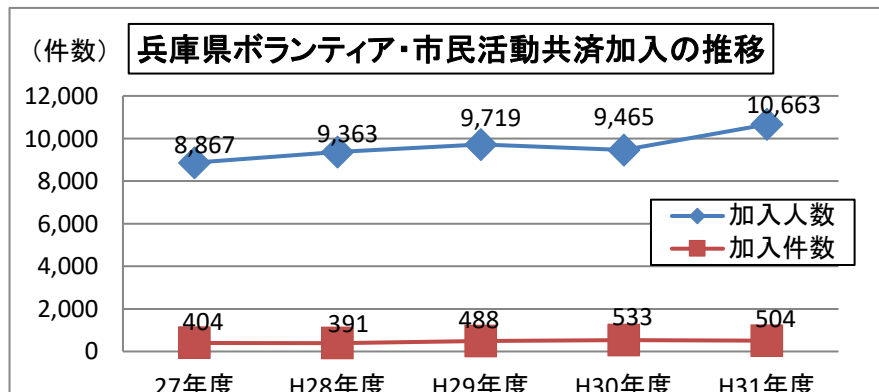


・ ボランティア活動センター運営委員会の開催

開催日	場所	内容
10月15日(火)	キセラ川西プラザ	平成31年度活動状況の報告について 登録グループ活動助成金 重点活動助成の選考について
3月4日(水) ※コロナウィルス感染症拡大予防のため中止。		平成31年度活動状況の報告について 令和2年度事業計画(案)について その他

・ ボランティア・市民活動災害共済(保険)の取り扱い

	市民活動		天災型		行事用保険		移送	
加入件数 と人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
	347 件	5,742 名	5 件	12 名	148 件	4,893 名	4 件	16 名
事故件数	24		0		0		0	



・福祉器材の貸し出し状況

器材名	カニタイプ 及び点字板	高齢者疑似 体験セット	車イス	合計
回数	5	2	39	46

・ボランティア活動拠点の活用

キセラ川西プラザへ移転後、月始めの平日2日間において、入居団体の共用会議室優先予約の事務取りまとめを実施し、ボランティア活動拠点として有効活用されるよう支援しました。

(2) ボランティアグループなどへの支援

取組項目 ②

- ・川西市ボランティア連絡協議会(以下、V連という。)代表者会議や、ボランティア活動相談などへの参画を通して情報共有を図るとともに活動支援に取り組みます。

【実績と成果】

・V連会議・活動などへの参画

開催日	場所	内容
4月19日(金)	ふれあいプラザ	V連定期総会
4月19日(金) ほか9回	ふれあいプラザほか	V連代表者会議
10月18日(金)	キセラ川西プラザ	V連臨時総会
12月6日(金) ほか2回	川西能勢口駅周辺	台風15号、19号災害義援金街頭募金 (川西青年会議所主催)
2月14日(金)	キセラ川西プラザ	V連臨時代表者会議

(3) 地区ボランティア部会への支援

取組項目 ③

- ・地区ボランティア部会の定例会などに参画するとともに、活動を身近に感じる講座や研修会を地域と協働で開催することで、担い手の掘り起こしを行います。

【実績と成果】

- ・地区ボランティア部会の定例会などへの参画を通して、財源確保に向けた取り組みなど、運営支援を行いました。また、2地区福祉委員会において、有償ボランティアの立ち上げ支援に取り組みました。

2 普段も災害時も助け合えるつながりづくり

活動項目 1-3

(1) 関係団体との定期的な協議・検討

取組項目 ①

- ・川西市や川西青年会議所など関係団体と災害時における定期的な検討や協議を行い、情報共有体制の整備・充実や役割の明確化を図り、包括的な支援に取り組みます。
また、川西市地域防災計画における提言を定期的に行います。

【実績と成果】

・川西市防災訓練への参加

日時・場所	1月10日(金)10時～12時30分 東久代運動公園
内容	多数の関係者が参加し、訓練が行われる中、避難行動要支援者の安否確認及び避難行動訓練を行いました。

(2) 災害支援におけるネットワークづくり

取組項目 ②

- ・地区福祉委員会をはじめ関係団体とのネットワークを深めていくなかで、災害時相互協力協定を締結するなど、支援の網の目を細かくし、迅速な支援活動につなげます。

【実績と成果】

- ・福祉ネットワーク会議等への参画を通して、災害時における課題を把握し、助言、提言を行いました。

(3) 防災意識向上のための学びの場の開催	取組項目 ③						
・ 本会広報紙などで、避難所運営ゲームHUGや救急救命などの災害時の対応に関する学びの場の開催を自治会や高校などに周知するとともに、川西市防災訓練への参加などを呼びかけ、防災意識が高まるよう取り組みます。 【実績と成果】 ・ かわにし防災士会と連携した災害ボランティア研修会(クロスロードゲーム)の開催のほか、ボランティア団体や当事者組織への救急救命の出前講座のコーディネートを通して、地域の防災意識が高まるよう取り組みました。							
(4) 災害ボランティアセンターの設置と運営	取組項目 ④						
・ 災害ボランティアセンターマニュアル改訂を行うことで、状況に応じた被災世帯の支援を柔軟に行える体制を整備するとともに、法人内の災害時の組織的な対応のマニュアル化に取り組みます。 【実績と成果】 ・ 災害時における市社協職員やボランティアによる支援体制整備を図るため、災害ボランティアセンターマニュアルの改訂に向け着手しましたが、3年度の完成をめざします。							
(5) 市内外の被災世帯への支援	取組項目 ⑤						
・ 市災害対策本部と連携し、救援物資の仕分け活動等や、本会の自主財源や民間財団の助成金を活用した被災世帯のニーズにあった支援を行います。 【実績と成果】 ・ 台風15号19号災害義援金街頭募金運動への参加(川西青年会議所主催) <table border="1"> <tr> <td>日時</td><td>12月6日から12月20日までの毎週金曜日 17時30分～19時</td></tr> <tr> <td>場所</td><td>阪急川西能勢口駅とアステ川西の間のデッキ通路</td></tr> <tr> <td>参加者</td><td>市社協職員、市ボランティア連絡協議会、市社協登録ボランティアグループ</td></tr> </table>		日時	12月6日から12月20日までの毎週金曜日 17時30分～19時	場所	阪急川西能勢口駅とアステ川西の間のデッキ通路	参加者	市社協職員、市ボランティア連絡協議会、市社協登録ボランティアグループ
日時	12月6日から12月20日までの毎週金曜日 17時30分～19時						
場所	阪急川西能勢口駅とアステ川西の間のデッキ通路						
参加者	市社協職員、市ボランティア連絡協議会、市社協登録ボランティアグループ						

3	各活動における人材発掘と育成	活動項目	2-1				
(1)	人材確保に向けた検討の場づくり	取組項目	①				
・ 地区ボランティア部会連絡会などを活用し、人材確保に向けてボランティアコーディネーター、コミュニティワーカー、地区福祉委員会、川西市などが参画する検討の場を開催します。 【実績と成果】 ・ 地域での人材確保に向け、随時コミュニティワーカーと連携し検討しました。 また、福祉ネットワーク会議(第2層協議体)などにおいて、人材確保に係る情報の共有や具体的課題の解決方法について、検討しました。							
(2)	ボランティア講座の開催	取組項目	②				
・ 各種ボランティア講座の開催や体験教室を開催し、ボランティア・地域福祉活動の担い手づくりに取り組むとともに、関係団体と連携して活動できる場づくりを行います。また、受講生による新たなボランティアグループの立ち上げを支援します。 【実績と成果】 ・ ボランティア講座開催一覧							
	講 座 名	開 催 期 間	回数	受講人数	延べ人数	対象	共催団体・協働団体など
1	お出かけ介助ボランティア講座	5/8～5/22	3	5	15	一般	車イス介助を学ぶ会
2	点訳ボランティア入門講座	5/14～7/23	10	4	34	一般	点字グループりんどう
3	親子手話教室(前期)	7/22～9/14	7	10	51	一般・当事者	川西ろうあ協会・手話サークルクローバ

4	災害ボランティア研修会 (救急救命)	7/31	1	13	13	一般	かわにし防災士会
5	笑いからはじまる コミュニケーション講座	8/17	1	19	19	一般	ほっとほほえみ
6	聞こえを学ぶ 筆談ボランティア講座	10/4～11/1	5	9	42	一般	川西サマリー
7	手づくり布遊具 ボランティア入門講座	10/10、10/17	2	8	15	一般	ボランティアいずみ
8	子育て支援者講座	10/29	1	43	47	一般	地区担当・ファミサポとの協働 講師：くすのき ゆり さん
9	親子手話教室（後期）	11/9～12/21	7	11	46	一般・当事者	川西ろうあ協会・手話サークルクローバ
10	傾聴ボランティア入門講座	11/20、11/27	2	37	60	一般	心理スペース「ぼれぼれ」 いなまつ ゆか
11	災害ボランティア研修会 (クロスロードゲーム)	12/10	1	6	6	一般	かわにし防災士会
12	ボランティア1日体験教室（車イス）	5/18	1	4	4	一般	車イス介助を学ぶ会
13	ボランティア1日体験教室（ネイル）	7/20	1	2	2	一般	個人ボランティア 藤川恵子
14	ボランティア1日体験教室（筆談）	8/17	1	4	4	一般	川西サマリー
15	ボランティア1日体験教室（手話）	9/21	1	6	6	一般	手話サークル パピヨン
16	ボランティア1日体験教室（点字）	10/19	1	5	5	一般	点字グループりんどう
17	出前ボランティア講座（車イス）	4/9	1	28	28	市職員	車イス介助を学ぶ会
18	出前ボランティア講座（手話）	5/20	1	8	8	福祉委員会	川西ろうあ協会・手話サークルクローバ
19	出前ボランティア講座（手話）	5/21	1	8	8	福祉委員会	川西ろうあ協会・手話サークルクローバ
20	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	6/20	1	21	21	福祉委員会	Aroma prism
21	出前ボランティア講座（車イス）	6/20	1	20	20	地区V部会	車イス介助を学ぶ会
22	出前ボランティア講座（車イス）	6/23	1	102	102	自治会	車イス介助を学ぶ会
23	出前ボランティア講座（救急救命）	6/26	3	13	13	施設	かわにし防災士会
24	出前ボランティア講座（車イス）	7/10	1	15	15	地域VG	車イス介助を学ぶ会
25	出前ボランティア講座（手話）	7/12	1	15	15	高校	川西ろうあ協会・手話サークルクローバ
26	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	7/18	1	8	8	自治会	Aroma prism
27	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	7/22	1	15	15	登録VG	Aroma prism
28	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	9/6	1	20	20	地区V部会	Aroma prism
29	出前ボランティア講座（車イス）	9/8	1	386	386	自治会	車イス介助を学ぶ会
30	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	10/7	1	28	28	福祉委員会	Aroma prism
31	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	10/19	1	16	16	自治会	Aroma prism
32	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	11/7	1	9	9	登録VG	Aroma prism
33	出前ボランティア講座（救急救命）	11/8	1	4	4	施設	かわにし防災士会
34	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	11/13	1	33	33	福祉委員会	Aroma prism
35	出前ボランティア講座（車イス）	11/16	1	206	206	自治会	車イス介助を学ぶ会
36	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	11/18	1	19	19	老人クラブ	Aroma prism
37	出前ボランティア講座（車イス）	12/8	1	232	232	自治会	車イス介助を学ぶ会
38	出前ボランティア講座（車イス）	12/16	1	6	6	福祉委員会	車イス介助を学ぶ会

39	出前ボランティア講座（手話）	2/5	1	28	28	専門学校	川西ろうあ協会・手話サークルクロバ
40	出前ボランティア講座（手話）	2/10	1	13	13	福祉委員会	川西ろうあ協会・手話サークルクロバ
41	出前ボランティア講座（車イス）	2/14	1	17	17	市職員	車イス介助を学ぶ会
42	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	2/15	1	17	17	登録V G	Aroma prism
43	出前ボランティア講座（クロスロードゲーム）	2/29	1	25	25	地域V G	かわにし防災士会
44	出前ボランティア講座（ハンドマッサージ）	3/4	1	15	15	地区V 部会	Aroma prism
45	明峰の学び(防災・減災)	11/8～11/29	4	15	60	高校	かわにし防災士会
46	明峰の学び(車イス)		4	20	80		車イス介助を学ぶ会
47	明峰の学び(手話)		4	23	92		川西ろうあ協会・手話サークルクロバ
48	明峰の学び(点字)		4	16	64		点字グループりんどう
合 計			91	1,587	1,992		

(3)	幅広い世代が活動できる場づくり	取組項目	③
幅広い世代が参加しやすい地域のサロンやイベントを、地区福祉委員会やボランティア活動センター登録グループなどとともに検討、企画します。			
【実績と成果】 地域のサロンやイベントにおいて、幅広い世代が活動に関心を持っていただけるような企画提案を地区福祉委員会や老人会、自治会などで行い、コーディネートしました。			
(4)	理事、評議員、地区福祉委員研修の充実	取組項目	⑤
本会事業や地域福祉活動の理解がより深まるように研修内容の充実を図ります。地区福祉委員研修については、福祉委員が講師を担うなど、住民同士が共に高め合う研修を企画します。			
【実績と成果】 地域の福祉委員を対象に、ボランティア活動の「楽しさ」や「やりがい」、「難しさ」などを取り入れた研修会を企画・提案しました。			

4	福祉情報の受発信	活動項目	2-2
(1)	地区福祉委員会などと連動した福祉情報の発信	取組項目	④
・ V連と共催で発行しているボランティア情報「にじ」について、ボランティアによる編集という強みを活かし、活動紹介やきっかけづくりとなるような情報を掲載し、人材確保につながる情報発信に取り組みま			
【実績と成果】			
・ ボランティア情報にじの発行(V連との共催)			
発行回数		年6回(奇数月1日発行)	
編集回数		30回	
発行部数		1号あたり3, 200部(A4版フルカラー4ページ)	
配布先		ボランティアグループ、個人ボランティア、他市社協、市役所、公民館など関係機関窓口、小・中・高校、共同募金協力法人(事業所・商店など)、アステ川西、各スーパー等	
・ 市社協ホームページや登録ボランティアグループ一覧表の発行による情報発信に随時取り組みました。			

5	福祉教育の推進並びに学習機会の提供			活動項目	2-3		
(1)	福祉教育の充実			取組項目	①		
体験学習を通じて、誰もが地域福祉や高齢者・障がい者などへの理解が深まるよう、新たなメニューの開発など、内容の充実に取り組みます。							
【実績と成果】							
小学校・中学校の福祉学習への支援							
種別		内容	学校数	参加者			
小学校	車イス	12	1,073	中学校	車イス	3	448
	手話	6	596		手話	2	380
	点字	5	392		点字	0	0
合計		23	2,061	合計		5	828
地域に学ぶトライやる・ウィーク体験活動への協力							
学校名		人数	期間	内容			
明峰中学校 多田中学校		6名	6/3(月)～6/7(金)	- 福祉体験学習(手話、点字、車イス介助) - ボランティア情報にじ編集委員会への参加 - ファミリーサポートセンター研修会への参加 - 市社協事業の手伝い			
高校の福祉学習への支援							
県立明峰高校の総合学習の一環として、「防災・減災」「車イス介助」「手話」「点字」をテーマに登録ボランティアグループや職員が参画し、4週にわたり合計16回の授業を行いました。							
(2)	若い世代への機会の提供と継続的な支援			取組項目	②		
学生が参加しやすい夏休み・春休みにテーマを設定してオープンカフェを開催することで、参加者を増やし、ボランティア活動をはじめるきっかけづくりの場となるよう取り組みます。							
【実績と成果】							
オープンカフェにおいて、学生が参加しやすい時間を考え1時間早く開催したり、「ボランティア情報にじ」などを活用した継続的な広報に取り組みましたが、年間11名の参加者に留まりました。							
(3)	地区福祉委員会と連携した研修会などの開催			取組項目	③		
地域福祉活動が、より小地域でも広がりを見せるよう、コミュニティワーカーと連携して、研修会などを開催します。							
【実績と成果】							
地域からのニーズに基づき、全てのボランティア活動の基本となる傾聴ボランティア入門講座を開催し、地域福祉活動が広がりを見せるよう取り組みました。							
講座名		開催期間	受講 延べ人数	内容			
傾聴ボランティア入門講座		11/20・11/27	60名	コミュニケーションの基本ほか			

6	地域福祉に係る財源の確保	活動項目	2-4
(1)	各種助成金の情報発信と支援	取組項目	④
・ 地区福祉委員会や関係団体などにおける民間財団からの助成金の活用について、コミュニティワーカーと連携しタイムリーな情報発信に努めるとともに、申請に係る支援を行います。			
【実績と成果】			
・ 登録ボランティアグループ活動助成			
助成先		助成金額	助成金単価
川西市ボランティア連絡協議会		370,000円	370,000円
V連加入ボランティアグループ(8グループ)		420,000円	52,500円
サポーター登録ボランティアグループ(29グループ)		826,500円	28,500円
一般登録ボランティアグループ(4グループ)		56,000円	14,000円
重点活動助成ボランティアグループ(3グループ)		90,000円	
合計助成金額		1,762,500円	
・ 登録ボランティアグループ中級研修会(フォローアップ)助成			
助成先		助成金金額	
音訳、手話、要約筆記、点訳の4グループ(各50,000円)		200,000円	
・ ひょうごボランティア基金県民ボランティア助成金(※1グループにつき25,000円)			
平成31年度		平成30年度(参考)	
助成グループ数	助成金総額	助成グループ数	助成金総額
74グループ	1,850,000円	82グループ	2,050,000円
・ 民間財団助成金の申請支援			
申請団体名	申請額(助成額)	内容	助成団体
点字グループりんどう	900,000円	点字プリンター	(公財)車両競技公益資金記念財団
NPO法人障害者地域生活応援団あかね	300,000円	子ども食堂運営費	(公財)オリックス宮内財団
・ 市社協ホームページなどの媒体を活用するとともに、コミュニティワーカーと連携し、地区福祉委員会役員会等において助成金情報の発信に取り組みました。 また、申請団体へは、申請書類に係る作成アドバイス、推薦など幅広く財源面の支援を行いました。			

7	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1
(1)	連携強化型相談窓口機能の整備	取組項目	④
多様化・複雑化した課題に対し、地区ボランティア部会やボランティア活動相談などにおいて、当事者や地域のニーズを捉えて必要なコーディネートを行い、地域における関係機関や窓口と連携しながら支援に取り組むための連携強化型相談窓口機能を整備します。			
【実績と成果】			
- 市社協内で連携し個別支援に係る検討を行うとともに、課題解決に向けたコーディネートを地区ボランティア部会や民生委員・児童委員、自治会などを行い、連携強化型相談窓口機能の整備に向け取り組みました。 - ボランティア活動相談の開催 (10月まで、毎月第3土曜日 13時30分～15時30分 キセラ川西プラザ福祉棟にて開催) (11月から、毎月第3土曜日 10時～12時 キセラ川西プラザ福祉棟にて開催) ※6月は、キセラ川西プラザの工事、3月は、コロナウィルスの感染拡大防止のため中止			
延べ相談員数	活動相談者数	主な相談内容	
20名	5名	・特技を生かした活動相談、ボランティア保険の加入など	

B3	地域福祉事業	決算科目	日常生活自立支援事業
----	--------	------	------------

主な事業内容・成果
判断能力に不安のある、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者が、住みなれた地域で安心して暮らすために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの支援を行いました。複合課題への取り組みは、各関係機関と連携し問題解決に努めました。解約4件のうち2件は成年後見支援センターと協働し、成年後見制度の利用へつなぎました。また、生活支援員の連絡会や研修会を定期的の実施し、相談援助技術の向上を図りました。

今後の課題
複合的な生活課題を抱える個人または世帯の相談が年々増加しています。それらの課題解決に向けて、川西市や地域包括支援センター、地域における関係機関などとの連携強化が一層重要となります。また、判断能力が低下していく利用者の後見制度利用のタイミングの判断が難しいので、成年後見支援センターと一体となり取り組む必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	3,319,400	2,804,400	△ 515,000
受託金収入	2,945,000	2,097,000	△ 848,000
その他	374,400	707,400	333,000
(支 出)	3,241,086	2,719,960	△ 521,126
人件費	2,380,693	2,145,879	△ 234,814
事業費	744,910	475,981	△ 268,929
事務費	103,483	88,100	△ 15,383
その他	12,000	10,000	△ 2,000
予備費	0	0	0

当期資金収支差額	78,314	84,440	6,126
前期末資金収支残高	67,666	145,980	78,314
当期末支払資金残高	145,980	230,420	84,440

主な増減理由
①業務委託費削減による受託金収入の減 ②受託金収入の減に伴い、その他(社協会員会費)収入の増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1				
(1)	連携強化型相談窓口機能の整備	取組項目	④				
・ 多様化・複雑化した生活課題に対して包括的な支援に取り組むため、地域包括支援センターや地域における関係機関・窓口等と連携しながら支援に取り組むための連携強化型相談窓口機能を整備します。							
【実績と成果】							
・ 川西市や関係機関との連携、障がい児(者)地域生活・就業支援センターや地区担当職員と協働して支援に取り組み、連携強化型相談窓口機能の強化に努めました。							
相談援助件数(問い合わせ・相談援助件数)							
内 容		本事業の利用に関するもの			その他	合 計	
対 象 者	事 項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不 明・ その他		
a. 問合せ件数 (制度、事業について)		6	0	0	8	13	27
b. 初回相談件数 (初回相談受付)		10	4	3	1		18
c. 相談援助件数 (ab以外)		773	120	51	90		1,034
合計		789	124	54	99	13	1,079

2	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2																
(1)	職員の資質向上	取組項目	②																
・ 県社協で開催される権利擁護に関する研修会へ参加します。 ・ 生活支援員研修会を年1回開催します。 ・ 生活支援員連絡会を年に数回開催、事例報告や検討会などを実施し、支援の質の向上を図ります。 【実績と成果】 ・ 県社協で開催された研修・会議に参加し、個別支援における技術向上に努めました。																			
<table><tr><th>開催日</th><th>県社協研修・会議等</th><th>参加</th></tr><tr><td>令和元年7月5日</td><td>第1回専門員会議</td><td>1人</td></tr><tr><td>令和元年8月21日</td><td>専門員研修会</td><td>2人</td></tr><tr><td>令和元年10月24日</td><td>生活支援員研修会</td><td>4人</td></tr><tr><td>令和2年2月5日</td><td>第2回専門員会議</td><td>2人</td></tr></table>				開催日	県社協研修・会議等	参加	令和元年7月5日	第1回専門員会議	1人	令和元年8月21日	専門員研修会	2人	令和元年10月24日	生活支援員研修会	4人	令和2年2月5日	第2回専門員会議	2人	
開催日	県社協研修・会議等	参加																	
令和元年7月5日	第1回専門員会議	1人																	
令和元年8月21日	専門員研修会	2人																	
令和元年10月24日	生活支援員研修会	4人																	
令和2年2月5日	第2回専門員会議	2人																	
・ 生活支援員連絡会を開催し、勉強会や県社協研修の報告会、各自の支援課題の相談・検討を行い、個別支援における技術向上に努めました。																			
<table><tr><th>開催日</th><th>川西市社協連絡会・研修会等</th><th>講師など</th><th>参加</th></tr><tr><td>令和元年5月13日</td><td>生活支援員連絡会 勉強会「新活動記録票の記入について」 他</td><td>社協職員</td><td>11人</td></tr><tr><td>令和元年10月8日</td><td>研修会「障がい者が使えるサービスや制度」</td><td>明西社会保険労務士事務所 西垣社会保険労務士</td><td>11人</td></tr><tr><td>令和元年11月11日</td><td>10月24日県社協生活支援員研修会の報告会 意見交換会</td><td>社協職員</td><td>9人</td></tr></table>				開催日	川西市社協連絡会・研修会等	講師など	参加	令和元年5月13日	生活支援員連絡会 勉強会「新活動記録票の記入について」 他	社協職員	11人	令和元年10月8日	研修会「障がい者が使えるサービスや制度」	明西社会保険労務士事務所 西垣社会保険労務士	11人	令和元年11月11日	10月24日県社協生活支援員研修会の報告会 意見交換会	社協職員	9人
開催日	川西市社協連絡会・研修会等	講師など	参加																
令和元年5月13日	生活支援員連絡会 勉強会「新活動記録票の記入について」 他	社協職員	11人																
令和元年10月8日	研修会「障がい者が使えるサービスや制度」	明西社会保険労務士事務所 西垣社会保険労務士	11人																
令和元年11月11日	10月24日県社協生活支援員研修会の報告会 意見交換会	社協職員	9人																
(2)	権利擁護の推進	取組項目	③																
・ 利用者の変化に応じ支援計画の見直しを行い、川西市や地域包括支援センター、介護事業所、民生委員・児童委員などの関係機関と連携して支援を行います。 ・ 利用者の持つ能力を尊重しながら支援します。 ・ 地域住民や民生委員・児童委員、福祉委員、関係機関などへの広報、周知に取り組みます。 ・ 判断能力がより低下した利用者の方を成年後見制度利用へつなぐ支援を行います。 【実績と成果】 ・ 年度末利用者数 21件 (内訳:認知症高齢者 12件 知的障がい者 6件 精神障がい者 1件 その他2件) 新規契約 5件 解約 4件 (内訳:成年後見制度の利用 2件 本人死亡2件) 生活支援員訪問回数 545回(前年度は550回) 総活動時間数 893時間(前年度は868時間) ・ 地域包括支援センターや地域における関係機関とケース検討会・担当者連絡会議を9回開催し、連携を図りながら支援を行いました。 ・ 利用者の意思を尊重しながら、変化に応じて支援の見直しを行いました。 ・ 民生委員・児童委員等との連携により、利用者の孤立を防ぎ、安心して暮らせるよう支援しました。 ・ 社協広報紙へ1回掲載し事業紹介を行いました。 ・ 成年後見支援センター“かけはし”との協働により出前講座において、計1回112人の市民の方に事業の周知を図りました。 ・ 池田泉州銀行で事業説明とパンフレット120部の配布を行いました。																			

B4	地域福祉事業	決算科目	成年後見支援センター事業
----	--------	------	--------------

主な事業内容・成果
権利擁護が必要な方に対し、成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用を一体的に進め、必要な支援につなげました。相談から申立てに至るまで、本人や親族の方に寄り添った伴走型支援を行いました。 また、支援者の発掘と育成において、市民後見人養成研修やフォローアップ研修の実施により、今年度、新たに10人の受講者の内8人が人材バンク登録を行うなど、市民の参画を得ることができました。

今後の課題
① 制度の利用に関し本人等がメリットを実感できるように、より充実した支援が求められます。そのためにも、成年後見制度のみならず日常生活自立支援事業を含めた権利擁護の一体的な取組みがますます重要になります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	21,046,371	22,264,301	1,217,930
経常経費補助金収入	187,976	211,080	23,104
受託金収入	20,858,395	21,917,102	1,058,707
総合相談事業	0	136,119	136,119
(支 出)	21,046,371	22,264,301	1,217,930
人件費	18,117,506	19,152,940	1,035,434
事業費	882,854	943,382	60,528
事務費	2,046,011	2,167,979	121,968

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高			0
当期末支払資金残高	0	0	0

主な増減理由
① 人件費は職員給与等の増 ② 事務費は消費税の増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	各活動における人材発掘と育成	活動項目	2-1	
(1)	市民後見人の養成と活動支援	取組項目	④	
・ 親族の支援が得られない方で寄り添った援助が必要な方が増える中、市民後見人が受任できるよう積極的な取組みを行うとともに、監督人として市民後見人の業務の遂行を支援します。 ・ 成年後見制度の多様なニーズに対応するため、地域の権利擁護の担い手となる市民後見人を養成するための「市民後見人養成研修」を実施し、福祉人材育成に取り組めます。 ・ 市民後見人活動等登録者に対し、フォローアップ研修や交流会を開催するとともに成年後見相談会や出前講座などのセンター事業の補助など、活動の場の提供も行います。				
【実績と成果】				
・ 市民後見人養成研修を実施し、10名の方が受講され、その中から新たに8名が市民後見人候補者や成年後見相談員として活動するための人材バンク登録を行いました。				
○市民後見人養成研修				
【基礎研修】				
実施日	内 容	講 師	参加人数	場 所
① 7/12 (金)	開校式・オリエンテーション	川西市社協職員	9人 (過去受講者 1人)	キセラ川西プラザ 福祉棟2階 共用会議室
	社会福祉の動向と権利擁護			
	成年後見制度の解説	NPO法人「成年後見センター・川西」		
② 7/26 (金)	成年後見人の役割と業務	司法書士	10人 (過去受講者 4人)	キセラ川西プラザ 福祉棟2階 共用会議室
	関係法律の基礎①	弁護士		

③ 8/9 (金)	関係法律の基礎②	川西市職員	8人 (過去受講者 5人)	キセラ川西プラザ 福祉棟2階 共用会議室
④ 8/23 (金)	対象者の理解 (認知症・知的・精神)	市職員 川西市社協職員	8人 (過去受講者 8人)	キセラ川西プラザ 福祉棟2階 共用会議室

【実務研修】

実施日	内 容	講 師	参加人数	場 所
① 9/14 (金)	オリエンテーション	川西市社協職員	9人	キセラ川西プラザ [*] 福祉棟2階 共用会議室
	健康保険と公的年金制度	川西市職員	〔過去受講者〕 6人	
② 9/27 (金)	対人援助技術	専門職	8人 〔過去受講者〕 3人	キセラ川西プラザ [*] 福祉棟2階 共用会議室
③ 10/11 (金)	成年後見人の職務(身上監護)	社会福祉士	8人	キセラ川西プラザ [*] 福祉棟2階 共用会議室
	成年後見制度の実務①	司法書士	〔過去受講者〕 5人	
④ 10/25 (金)	成年後見制度の実務②	司法書士	9人	キセラ川西プラザ [*] 福祉棟2階 共用会議室
	成年後見制度の実務③	司法書士	〔過去受講者〕 6人	
⑤ 11/8 (金)	市民後見人の実際	市民後見人 市民後見人養成研修修了者	7人	キセラ川西プラザ [*] 福祉棟2階 共用会議室
	交流会		〔過去受講者〕 5人	
	オリエンテーション	川西市社協職員		

【見学実習】

日常生活自立支援事業同行訪問(利用者宅)
高齢者施設見学訪問(養護老人ホーム満寿荘)
知的障がい者施設見学訪問(小戸作業所)

各2時間程度 合計6時間

【市民後見人養成研修修了者人材バンク登録】

登録実人数 36人(令和 2年 3月31日現在)

内 容	登録者数
市民後見人候補者登録者数	8 人
相談員登録者数	20 人
日常生活自立支援事業生活支援員登録者数	6 人
事業の手伝い等の登録者数	28 人
合 計	62 人

- ・ 市民後見人活動等登録者に対し、フォローアップ研修を開催しました。また、成年後見相談員や生活支援員、出前講座にて成年後見の寸劇を行うなどの活動支援を行いました。

○フォローアップ研修

実施日	内 容	講 師	参加者	場 所
8/8 (木)	成年後見相談会相談員 相談面接技術	兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫	8人	キセラ川西プラザ 福祉棟2階 共用会議室

- ・ 今年度、新たに市民後見人の受任を進め、現在までに合わせて3名の市民後見人が誕生しています。社協は監督人として、適切なサポートと監督業務を行いました。

2	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1																																
(1)	地域福祉活動の推進を通したニーズ把握	取組項目	①																																
・法律職による市民向けの相談会を実施することで、成年後見制度の理解が深まるよう支援します。 ・成年後見制度が必要な方が必要な時に身近な場所で相談が受けられるよう市民後見人養成研修修了者が市内老人福祉センター及び地域の会館で相談を受け、利用促進につなげます。 ・成年後見サロンを一の鳥居・久代老人福祉センターにおいて実施し、制度について身近に感じてもらうための交流の場を提供します。 ・地区相談窓口や心配ごと相談などの様々な相談窓口に加え、カフェやサロンなどの様々な地域福祉活動及び福祉ネットワーク会議を通じて、地域のニーズや生活課題の把握に取り組みます。 【実績と成果】 ・担当職員により、電話や来所、必要な場合は訪問し、制度の説明や申立て手続きなどの相談に対応し、関係機関と連携して支援を行うことで制度利用につなげました。 　　今後は、さらに地域活動者や見守りにつなぐなどの地域福祉との連携が必要です。 ○相談件数(単位:件) <table><tr><td>法定後見の相談・支援</td><td>369</td></tr><tr><td>任意後見の相談</td><td>43</td></tr><tr><td>研修・講座等について</td><td>159</td></tr><tr><td>その他</td><td>22</td></tr><tr><td>合　　計</td><td>593</td></tr></table> ※その他・・・定期相談申込みなど ○相談経路(単位:件) <table><tr><td>本　人</td><td>200</td></tr><tr><td>親　族</td><td>94</td></tr><tr><td>関係機関</td><td>268</td></tr><tr><td>その他・不明</td><td>31</td></tr><tr><td>合　　計</td><td>593</td></tr></table> ・毎月第3水曜日に司法書士2名による定期相談会を開催しました。センター職員も同席し、福祉的ニーズへのフォローを行いました。 ・市民後見人養成研修修了者が相談員として、成年後見カフェでの相談に応じました。 　　地域の身近な相談窓口として継続して相談に応じました。 ○成年後見カフェ <table><tr><td>一の鳥居老人福祉センター</td><td>毎月</td><td>第3月曜</td><td>午後1時～3時</td></tr><tr><td>久代老人福祉センター</td><td>偶数月</td><td>第2水曜</td><td>午後1時～3時</td></tr><tr><td>久代会館</td><td>奇数月</td><td>第2水曜</td><td>午後1時～3時</td></tr></table>				法定後見の相談・支援	369	任意後見の相談	43	研修・講座等について	159	その他	22	合　　計	593	本　人	200	親　族	94	関係機関	268	その他・不明	31	合　　計	593	一の鳥居老人福祉センター	毎月	第3月曜	午後1時～3時	久代老人福祉センター	偶数月	第2水曜	午後1時～3時	久代会館	奇数月	第2水曜	午後1時～3時
法定後見の相談・支援	369																																		
任意後見の相談	43																																		
研修・講座等について	159																																		
その他	22																																		
合　　計	593																																		
本　人	200																																		
親　族	94																																		
関係機関	268																																		
その他・不明	31																																		
合　　計	593																																		
一の鳥居老人福祉センター	毎月	第3月曜	午後1時～3時																																
久代老人福祉センター	偶数月	第2水曜	午後1時～3時																																
久代会館	奇数月	第2水曜	午後1時～3時																																
(2)	”我が事”と捉える意識と受援力の醸成	取組項目	②																																
・権利擁護講演会等の開催による成年後見制度や市民後見人の周知・啓発を行います。 　　また、NPO法人「成年後見センター・川西」との協働による出前講座を実施し、市民の方へ成年後見制度の理解を促し利用の促進を図ります。 【実績と成果】 ・権利擁護フォーラムを開催し、一般市民の方が権利擁護の理解を深め、成年後見制度及び市民後見人の活動に関心を持っていただく機会を持つことができました。 　　また、NPO法人「成年後見センター・川西」との協働による出前講座を実施し、市民の方により分かりやすくする工夫を行い、制度の周知を図ることができました。(7回実施　延べ368人) ○権利擁護講演会 <table><tr><th>開催日時</th><th>内容</th><th>場所</th><th>参加者</th></tr><tr><td>令和2年1月27日(月) 午後1時半～4時</td><td>テーマ:「住み慣れた場所で暮らし続ける想いを支える成年後見制度」 ～誰もが自分らしく暮らすために私たちができること～ 説　明:神戸家庭裁判所　伊丹支部 　　　　主任書記官　横道博司　さん 「成年後見制度と地域共生社会」 講　師:種智院大学人文学部社会福祉学科 　　　　教授　明石隆行　さん</td><td>アステホール</td><td>112人</td></tr></table>				開催日時	内容	場所	参加者	令和2年1月27日(月) 午後1時半～4時	テーマ:「住み慣れた場所で暮らし続ける想いを支える成年後見制度」 ～誰もが自分らしく暮らすために私たちができること～ 説　明:神戸家庭裁判所　伊丹支部 主任書記官　横道博司　さん 「成年後見制度と地域共生社会」 講　師:種智院大学人文学部社会福祉学科 教授　明石隆行　さん	アステホール	112人																								
開催日時	内容	場所	参加者																																
令和2年1月27日(月) 午後1時半～4時	テーマ:「住み慣れた場所で暮らし続ける想いを支える成年後見制度」 ～誰もが自分らしく暮らすために私たちができること～ 説　明:神戸家庭裁判所　伊丹支部 主任書記官　横道博司　さん 「成年後見制度と地域共生社会」 講　師:種智院大学人文学部社会福祉学科 教授　明石隆行　さん	アステホール	112人																																

		報 告:パネルディスカッション コーディネーター 明石隆行 さん ①成年後見センター・リーガルサポート 兵庫支部 支部長 司法書士 穴田智久 さん ②川西市市民後見人 國吉光子 さん ③NPO法人「成年後見センター・川西」 事務局長 松尾幸恵 さん		
(3)	多様な担い手との連携・協働による切れ目のない支援体制づくり	取組項目	③	
・ 成年後見制度の利用促進のため関係機関とのネットワークの構築を図り、成年後見制度が必要な方が地域で安心して生活できるようセンターの役割として地域連携ネットワークの中核となる機関になるための機能の充実を図ります。 【実績と成果】 ・ 地域の相談機関と連携し、センターが日常生活自立支援事業と一体的に権利擁護を進めるため、ネットワークの構築を図りながら切れ目のない支援を行い、安心して暮らせるように取り組みました。 ・ 生活困窮や障がい、介護などの複合化した課題に対し、市や法律職、地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、包括的な支援体制づくりを進めました。				
(4)	連携強化型相談窓口機能の整備	取組項目	④	
・ 多様化・複雑化した課題に対して包括的な支援に取り組むため、地域包括支援センターや地域における関係機関・窓口などと連携しながら支援に取り組むための連携強化型相談窓口機能を整備します。 【実績と成果】 ・ 生活困窮世帯やいわゆる8050問題によるひきこもりなど社会的孤立の状態にある方やさまざまな生活課題を抱えた方に対して、地域包括支援センターや関係機関と連携し、対応することで、連携強化型窓口機能の整備に向けた取り組みを進めました。				

3	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2	
(1)	権利擁護の推進	取組項目	③	
・ 年2回運営委員会を開催し、委員からの意見や助言をもとにセンター事業の充実を図ります。 ・ 法律職等のバックアップによる市民後見人活動支援体制の強化を図ります。 ・ 市長申し立てになったケースに対し、市担当課と連携しながら手続きに関する支援を行います。 ・ ホームページや広報紙によるセンター事業の広報を行います。				
【実績と成果】				
・ 運営委員会を年1回開催し、委員会からの意見や助言を受け、センター事業の充実を図りました。				
第2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。				
○運営委員会				
	実施日	内容	参加者	場 所
第1回	令和元年10月23日(水)	・事業実施状況 ・市民後見人受任について	13人	キセラ川西プラザ [*] 福祉棟2階 共用会議室
第2回	令和2年3月17日(火) 中 止	・事業実施状況 ・市民後見人受任について ・令和2年度事業計画(案)	※資料送付による報告	
・ 必要に応じて法律職等に相談するなどバックアップ体制を強化し市民後見人活動支援を行いました。 ・ ホームページや広報紙において、制度の周知や養成研修、成年後見カフェなどのセンター事業の広報を行いました。 ・ センターのリーフレット等を金融機関に配布するなど連携を図りました。				

B5	地域福祉事業	決算科目	民生委員児童委員協議会連合会事業
----	--------	------	------------------

主な事業内容・成果
事務局として、民生委員児童委員協議会定例会への出席を通して地域課題の共有や民生委員児童委員の活動の確認を行うとともに、民生委員活動に有益な研修会などを調整し開催しました。 6月には、地域児童育成環境づくりフォーラムを開催しました。 また12月の一斉改選実施に伴い、市地域福祉課と協同し改選事務を実施しました。

今後の課題
民生委員・児童委員が抱える課題に対し、本会の連携強化型相談窓口機能や他機関などとさらなる連携を図っていく必要があります。 また、一斉改選後も欠員地区が一定数存在することから市と連携して、欠員解消に向けた対応が必要となります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	2,981,958	4,236,524	1,254,566
経営経費補助金収入			
受託金収入	2,981,958	4,236,524	1,254,566
(支 出)	2,981,958	4,236,524	1,254,566
人件費	2,459,627	3,497,618	1,037,991
事業費			
事務費	522,331	738,906	216,575

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高			0
当期末支払資金残高	0	0	0

主な増減理由
① 受託金収入は人件費等の増額による増 ② 一斉改選に伴う事務経費の増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1
(1)	多様な担い手との連携・協働による切れ目のない支援体制づくり	取組項目	③
・ 本会が整備を進める相談窓口機能を活かして、民生委員・児童委員と連携を深め、地域課題や個別事例に対応できる支援体制を強化します。 ・ 民生委員・児童委員が、地域で連携した見守り活動を行うために活動しやすい環境づくりを検討します。 【実績と成果】 ・ 民生委員児童委員が業務を円滑に行えるよう、正副会長会議、役員会、各定例会への出席及び研修会の企画実施などを行い、地域課題の情報共有を行いました。また、個別支援体制を強化するために地域包括支援センター等の関係機関と連携を深めました。 正副会長会議・・・年11回 役員会・・・年11回 主任児童委員部会・・・8回 各地区定例会・・・45回(5民児協) 専門部会研修・・・4部会×1回＝4回 新年合同会議・・・1回 ・ 民生委員が相談員になっている心配ごと相談においては、様々な相談を受け付け、傾聴に努めました。また、専門的な相談や他機関を紹介する必要がある場合は、市役所の法律相談窓口や地域包括支援センターおよび社会福祉協議会総合相談窓口等に繋げています。 心配ごと相談日数・・・ 83 日 相談件数・・・・・・・ 40 件			

2	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2
(1)	社会的孤立などの課題の対応	取組項目	④
- 社会的孤立や生活困窮に関する研修会や情報提供などを行うことで、民生委員・児童委員の役割を確認し、社会的に孤立している人々への支援を推進します。 【実績と成果】 - 定例会で社会的孤立や生活困窮に関する課題を情報共有し、ニーズの把握に努めました。又、各部会研修を開催し、社会的孤立などの課題への理解を深めました。			
開催日時	内容	場所	参加者
令和元年7月1日 高年保健福祉部会 研修会 13時30分～15時30分	テーマ:病気であっても生きがい、希望、喜びを 講 師:こひつじクリニック 院長 小松 邦志氏	アステホール	114人
令和元年7月3日 障害援護福祉部会 研修会 13時30分～15時30分	+	アステホール	134人
令和元年7月9日 人権啓発部会 研修会 13時30分～15時30分	テーマ:元気なあなた「その時」の備えを 講 師:川西市中央地域包括支援センター 所長 貞松 喜代子 さん	アステホール	121人
令和元年7月12日 児童等福祉部会 研修会 13時30分～15時30分	テーマ:全ての人が幸せになるために 講 師:泉 説也 さん	アステホール	139人

B6	地域福祉事業	決算科目	共同募金配分金事業
----	--------	------	-----------

主な事業内容・成果
前年度に実施された赤い羽根共同募金運動の配分金6,859,000円を活用し、ボランティア活動の振興や高齢者・当事者団体、子育て支援グループへの助成等、地域福祉事業の推進に努めました。歳末たすけあい配分金事業は、持ち寄り金5,984,013円と前年度繰越金を原資に、要援護世帯や、福祉施設、団体、小地域ネットワーク事業等幅広く配分し、支援を行いました。

今後の課題
年々減少している募金額の確保を図るため、従前とは異なる啓発方法の開発・実践を図ることが必要です。また、地域住民や企業に対して、共同募金の意義や役割の周知・啓発を進め、募金活動や取り組みの充実に努める必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	16,909,592	17,273,722	364,130
経常経費補助金収入	16,909,592	17,273,722	364,130
(支 出)	16,909,592	17,273,722	364,130
事業費	10,212,432	10,457,272	244,840
事務費	19,160	26,450	7,290
助成金支出	6,678,000	6,790,000	112,000

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高			0
当期末支払資金残高	0	0	0

主な増減理由
事業費は、配分金事業の見直しによる増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	福祉デザインひろばづくりの推進	活動項目	1-1
(1)	小学校区単位でのネットワークづくり～つながりあい～	取組項目	④
- 共同募金配分金と歳末たすけあい募金配分金を活用し、地域住民や関係機関・団体、事業所等が連携を深め、福祉のまちづくりが推進されるよう支援します。 【実績と成果】 14地区福祉委員会へ助成を行い、住民交流等、福祉のまちづくりの推進に役立てられました。また、今年度は新たに訪問型たすけあい(生活支援)活動に対する助成も行い、地域の特性に合わせた福祉事業に役立てられました。			
(2)	子育て支援の推進	取組項目	⑤
- 共同募金配分金を活用し、まちの子育てひろばや子育てサークルの運営及び事業推進を支援します。 【実績と成果】 - 市内の36のまちの子育てひろば・サークルへ助成を行い、運動会やクリスマス会、お別れ会等の活動に役立てられました。			

2	ボランティア活動・市民活動・当事者活動の推進と支援	活動項目	1-2
(1)	ボランティア活動センターの機能強化	取組項目	①
- 共同募金配分金を活用し、ボランティア活動センターのコーディネート機能がさらに強化するよう支援します。 【実績と成果】 - 毎月第3土曜日にボランティア活動の相談日を設け、学生や勤労者が、自分らしいボランティア活動に参加できるようコーディネート機能を発揮しました。			
(2)	ボランティアグループなどへの支援	取組項目	②
- ボランティア活動センター登録グループやボランティア連絡協議会の活動がさらに広がりを見せるよう、共同募金配分金を活用し支援します。 【実績と成果】 - ボランティア活動のすそ野が広がるよう助成金を配分した44グループでは、研修会費用など各グループの特性に合わせた取り組みに役立てられました。また、登録ボランティアグループなどの登録や配分金の基準を見直しました。			
(3)	当事者活動への支援	取組項目	④
- 高齢者や障がい児者、児童・青少年、母子等の当事者組織の主体的な組織運営や事業推進を、共同募金や歳末たすけあい募金の配分金を活用し支援します。 【実績と成果】 - 共同募金配分金事業では、高齢者、障がい児者福祉、児童・青少年、母子・父子福祉事業において、団体の相互交流だけでなく、地域住民とのつながりを深める貴重な財源として役立てられました。歳末たすけあい配分金事業では、市内の要援護世帯、寝たきり高齢者世帯へ給付金をお渡ししました。また障がい者施設や民間福祉団体に配分し、様々な福祉事業に役立てられました。			

3	各活動における人材発掘と育成	活動項目	2-1
(1)	ボランティア講座の開催	取組項目	②
- 共同募金配分金を活用し、各種ボランティア講座を開催し、地域福祉活動の担い手作りに取り組みます。 【実績と成果】 - 筆談、手話、点訳、子育て支援講座などの講座を開催するとともに、地域福祉活動の担い手となるようフォローアップ研修を開催しました。			

4	福祉情報の受発信	活動項目	2-2
(1)	ホームページや広報紙、情報紙などの充実	取組項目	③
- 本会やボランティア活動をより多くの方に知ってもらい、理解者や協力者、参加者が増えるように、共同募金配分金と歳末たすけあい募金配分金を活用し、社協かわにしやボランティア情報にじ、啓発チラシ等の発行を支援します。 【実績と成果】 - 本会の活動等をより多くの方に知ってもらい、協力者が増えるよう、「社協かわにし」の発行に共同募金配分金と歳末たすけあい配分金を活用しました。また、新たな福祉人材の確保と育成のため、「ボランティア情報にじ」の発行に共同募金配分金を活用しました。			

5	地域福祉に係る財源の確保	活動項目	2-4
(1)	地域関係団体などと連携・協働した広報活動	取組項目	③
- 共同募金や歳末たすけあい運動の配分金を受けている組織や団体に、地域住民の共同募金運動への理解が深まるような記事掲載への協力について働きかけを行います。 【実績と成果】 - 地域住民に、どのように配分金が使われているか理解していただけるよう、「社協かわにし」に、配分先の組織や団体の「ありがとうメッセージ」を掲載し、広報の充実を図りました。			

B7	地域福祉事業	決算科目	基金事業
----	--------	------	------

主な事業内容・成果
基金の利息をもって、ボランティア活動センター事業の推進や交通遺児への入学祝い等の給付事業に取り組みました。 また、地区福祉委員会と連携した施設整備等に取り組み、地域福祉活動拠点としての機能強化を図りました。

今後の課題
第4次地域福祉推進計画に基づき基金の取り扱いを見直して、より有効に活用できるよう取り組んでいく必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	10,640,709	644,018	△ 9,996,691
受取利息配当金収入	640,709	644,018	3,309
積立資産取崩収入	10,000,000	0	△ 10,000,000
有価証券売却収入	0	0	0
その他	0	0	0
(支 出)	10,675,088	803,586	△ 9,871,502
事業費	535,060	656,566	121,506
有価証券取得支出	0	0	0
積立資産支出	10,000,000	0	△ 10,000,000
区分間繰入金支出	140,028	147,020	6,992
その他	0	0	0

当期資金収支差額	△ 34,379	△ 159,568	△ 125,189
前期末資金収支残高	5,989,207	5,954,828	△ 34,379
当期末支払資金残高	5,954,828	5,795,260	△ 159,568

主な増減理由
① 満期となった基金が無くなったことによる収入支出の減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域福祉に係る財源の確保	活動項目	2-4
(1)	基金、積立金の見直しと有効活用	取組項目	⑤
・ 本会の保有する基金、積立金などについて、現在の状況や今後の見込を把握・分析し、有効活用を検討します。 【実績と成果】 ・ 基金、積立金などについて、それぞれの基金の目的に基づいた事業に充当し、活用を図りました。			

その他

事業項目

①田中福祉基金事業の推進

・ ボランティア活動センター事業に充当し、ボランティア育成などに活用します。

【実績と成果】

・ 故人の寄付金により基金を設置し、その利息をボランティア活動の推進に充当しました。

事業経理区分	充当額	事業内容
ボランティア活動センター事業	130,200円	ボランティア講座の開催等

事業項目	②谷口交通遺児基金事業の推進
・ 小・中・高等学校並びに大学等へ入学する交通遺児に入学祝金を給付します。 ・ 小・中学校に在籍する交通遺児に就学給付金を支給します。 【実績と成果】 ・ 川西市の交通政策課と連携し交通遺児に対し入学祝金の給付と修学給付金を支給しました。 (入学祝金 465,000円 修学給付金 180,000円) 大学等進学時への支援も漏れなくできるよう、情報提供に取り組みます。	
取組項目	③一井基金事業の推進
・ 地区福祉委員会と連携した事業推進及び運営などへの支援を行います。 【実績と成果】 ・ 故人の遺志に基づき、川西市における地域福祉の向上をめざし、一井サロン等の民家を中心とした地域福祉活動拠点について、バリアフリー仕様への改造などの施設整備等に充てることを目的として設置しています。 明峰小地区の一井サロンでは、サロンたんぽぽをはじめ福祉委員会の活動拠点としての機能強化を図りました。 また、大和地区の大和サロンにおいても、改修の必要性についての検討、調査等を行い、施設整備の管理運営に取り組みました。	

B8	地域福祉事業	決算科目	資金貸付事業
----	--------	------	--------

主な事業内容・成果
今年度の貸付相談件数は374件で、前年度の547件に比べ、173件減少しました。申請件数は前年度と同じ21件でした。貸付額は昨年より3,109,200円増額の18,707,000円となりました。貸付額が増えた理由としては、教育支援資金の貸付が増えたことで、1件当たりの貸付金額が増額したためです。また教育支援資金に関しては償還完了に至るまで、継続的な支援を行う必要があり、行方不明や連絡が取れない等、償還指導が困難な世帯に関して、民生委員・児童委員と連携を密にし、見守りや支援を行いました。

今後の課題
新型コロナウイルスの感染拡大による影響にともない、緊急小口資金、総合支援資金の貸付が激増したため、失業や減収による家計の収支均衡が取れない生活困窮世帯には一時的な相談支援や貸付などでは解決しないため、生活困窮者自立支援事業等につなぐ等、他機関と連携を取りながら支援を進める必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	2,379,868	5,544,818	3,164,950
経常経費補助金収入	0	3,077,485	3,077,485
助成金収入	2,230,000	2,320,000	90,000
受託金収入	120,868	118,333	△ 2,535
その他	29,000	29,000	0
(支 出)	2,350,944	5,531,110	3,180,166
人件費	1,863,277	5,178,681	3,315,404
事業費	460,317	270,447	△ 189,870
事務費	9,350	31,982	22,632
その他	18,000	50,000	32,000
予備費			0

当期資金収支差額	28,924	13,708	36
前期末資金収支残高	57,261	86,185	28,924
当期末支払資金残高	86,185	99,893	13,708

主な増減理由
① 職員給与1名分を「B-地域福祉活動推進事業」から移したことによる人件費の増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1																		
(1)	連携強化型相談窓口機能の整備	取組項目	④																		
・ 経済的困窮者の貸付のみならず、世帯の複合化した課題に対し、川西市、民生委員・児童委員、多様な関係機関と連携しながら、支援に取り組むための連携強化型相談窓口機能を活かした権利擁護を図ります。																					
【実績と成果】																					
相談件数・貸付決定件数推移 <table><thead><tr><th>年度</th><th>相談件数</th><th>貸付件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成27年度</td><td>309</td><td>20</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>267</td><td>27</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>194</td><td>13</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>547</td><td>21</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td>374</td><td>21</td></tr></tbody></table>				年度	相談件数	貸付件数	平成27年度	309	20	平成28年度	267	27	平成29年度	194	13	平成30年度	547	21	平成31年度	374	21
年度	相談件数	貸付件数																			
平成27年度	309	20																			
平成28年度	267	27																			
平成29年度	194	13																			
平成30年度	547	21																			
平成31年度	374	21																			

事業項目	生活福祉資金貸付事業					
相談・資金の種類	生活福祉資金等相談内訳				貸付額(単位:円)	
	相談 件数(件)	相談延べ 件数(件)	申請 件数(件)	決定 件数(件)	H30年度	H31年度
教育支援資金	194	430	17	17	15,030,800	17,891,000
教育支援費	95	209	8	8	11,962,800	13,638,000
就学支度費	99	221	9	9	3,068,000	4,253,000
福祉資金	151	235	3	3	567,000	816,000
福祉費	63	124	3	3	567,000	816,000
緊急小口資金	88	111	0	0	0	0
総合支援資金	3	3	0	0	0	0
生活支援費	3	3	0	0	0	0
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
不動産担保型生活福祉資金	4	4	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
その他の相談 (生活費・債務費等)	22	32	1	1	0	0
合 計	374	704	21	21	15,597,800	18,707,000

・ 貸付の相談に来られた方の中には、複合化した課題を持っている方も多く、一時的な金銭の借入では解決できない場合があるため、川西市を始め他関係機関と当事者支援を行うため連携を図りました。

・ 教育支援資金に関しては、高校と大学進学との重複した借入や他機関からも借入している場合が多く、卒業後は一斉に償還が始まることから、償還できないケースが多いため、在学中の現況確認に合わせて、卒業時の現況確認を行うことで継続的な見守りや支援を行っています。

2	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2
(1)	社会的孤立などの課題の対応	取組項目	④
- 何らかの課題を抱える世帯では、生活困窮者の経済的な問題だけでなく、生活・福祉課題の深刻化や孤立化など多くの課題を抱える傾向にあります。SOSを見逃さず、その状態に応じた包括的な支援により、支援効果を高めていくよう取り組みます。 - 生活困窮者が地域で安心して生活できるよう、貸付を通じて構築された関係性を持続させるとともに、民生委員・児童委員、その他の関係機関と連携し、貸付金を交付することで支援が完了するのではなく、様々な支援を組み合わせ、その世帯が抱える課題を解決するための支援を行います。 - 償還期間が長く設定されるこの制度において、初期滞納状態となっている借受人に対しては、早期にアプローチし、長期滞納者にならないよう支援します。			
【実績と成果】			
- 借入の背景にある生活課題を把握し、貸付後も民生委員・児童委員からの情報とともに、借受人に対して生活状況などの様子を伺うなど、連絡をとることにより信頼関係の維持に努めました。 - 償還に関して、一旦長期滞納となると借受人の償還意欲も大きく低下してしまうので、初期滞納者にできるかぎり早い段階で電話や文書等により償還を促すことで、遅れていた償還を行っていただきました。			
研修会・連絡会への参加			
平成31年度	生活福祉資金貸付事業にかかるブロック別意見交換会	7月2日	2名
平成31年度	生活福祉資金貸付事業担当職員フォローアップ研修会	7月31日	2名
平成31年度	生活福祉資金貸付事業担当者会議	9月27日	2名
平成31年度	生活福祉資金貸付事業担当者会議	3月23日	1名

B9	地域福祉事業	決算科目	善意銀行事業
----	--------	------	--------

主な事業内容・成果
要援助世帯の児童生徒に対し、修学旅行・小中学校の学校生活にかかる費用の支援をするとともに、各学校の福祉学習にかかる費用への支援や生活困窮世帯への緊急払出等を行いました。また、川西さくら園での春夏秋冬休みきょうだい児保育への支援や日常生活自立支援事業など市社協事業への払出を行うとともに、フードバンク関西には運営支援として払出を行い、要援護者の在宅生活を支えました。

今後の課題
引き続き安定した事業運営が行えるよう、善意銀行の理解者や協力者増に向けた取り組みを行うとともに、現状分析を進め寄付者の善意が活かされる事業の推進に努める必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	2,063,160	2,430,779	367,619
寄付金収入	2,062,675	2,430,193	367,518
積立預金取崩収入	0	0	0
その他	485	586	101
(支 出)	2,052,631	2,099,444	46,813
給付金支出	426,640	517,658	91,018
助成金支出	86,335	74,000	△ 12,335
区分間繰入金支出	526,171	507,200	△ 18,971
積立資産支出	1,013,485	1,000,586	△ 12,899

当期資金収支差額	10,529	331,335	320,806
前期末資金収支残高	1,671,919	1,682,448	10,529
当期末支払資金残高	1,682,448	2,013,783	331,335

主な増減理由
① 大口寄付者増による収入の増 ② 就学支援資金の払出増による支出の増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	福祉情報の受発信	活動項目	2-2
(1)	ホームページや広報紙、情報紙などの充実	取組項目	③
・ 広報紙やホームページ、地域での活動の場などを通じて、善意銀行への理解者、協力者が増えるよう広報活動を強化します。 【実績と成果】 ・ ホームページでは、善意銀行の預託及び払出内容や受付方法を、また、広報紙では、毎号善意銀行だよりにご寄付をいただいた方の氏名・金額を掲載しています。本年度も、継続してご寄付をいただいている方の寄付に対する思いをお寄せいただき広報紙に掲載しました。寄付額は前年度より17%アップしました。			

2	地域福祉に係る財源の確保	活動項目	2-4
(1)	基金、積立金の見直しと有効活用	取組項目	⑤
・ 現状分析やニーズ把握をすすめ善意の寄付や積立金が有効に活用できるよう取り組みます。 【実績と成果】 ・ 今年度、学校長の集まりに参加させて頂き善意銀行の取組についてPRを行うとともに、複数回情報提供を行いました。引き続き、川西市の担当課とも協力し情報収集・発信に努めます。			

C・D	介護保険事業 自立支援事業	決算科目	介護保険事業拠点区分 自立支援事業拠点区分
-----	------------------	------	--------------------------

主な事業内容・成果
市内の支援が必要な方々に介護保険、障害者総合支援法に基づき各種サービスを提供しました。 介護保険事業、障害福祉サービス事業ともに収入減となりました。ヘルパーの確保が難航しているため新規利用者の受け入れが難しい状況となっています。 専門職員のサービス管理責任者を1名配置転換し、人件費を削減しました。

今後の課題
収入を増加させるには、ヘルパーの確保が欠かせないため今後も確保に向け努力が必要です。 また、新型コロナウイルスの感染拡大による収入減少がどの程度事業運営に影響するのか注視する必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	37,559,078	36,724,465	△ 834,613
介護保険事業収入	12,674,180	11,672,427	△ 1,001,753
障害福祉サービス等事業収入	24,753,698	23,382,038	△ 1,371,660
区分間繰入金収入	131,200	1,665,000	1,533,800
その他	0	5,000	5,000
(支 出)	39,404,245	37,226,383	△ 2,177,862
人件費	36,323,797	32,362,923	△ 3,960,874
事業費	1,693,423	1,646,342	△ 47,081
事務費	1,255,825	1,552,118	296,293
区分間繰入金支出	131,200	1,665,000	1,533,800
その他支出	0	0	0

当期資金収支差額	△ 1,845,167	△ 501,918	1,343,249
前期末資金収支残高	12,144,274	10,299,107	△ 1,845,167
当期末支払資金残高	10,299,107	9,797,189	△ 501,918

主な増減理由
① 介護保険事業収入等は、利用者減による収入の減
② 人件費は、専門職1名減等による支出の減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2
(1)	職員の資質向上	取組項目	②
・ 各種研修会への参加や毎月行われる定例会等を通し、サービスに係る知識の向上に努めます。また、社協内の様々な情報を積極的に取り込み、社協職員としての資質の向上にも努めます。 【実績と成果】 ・ 31年度の計画に基づき研修を含めた毎月の定例会を開催し、情報共有と職員の資質向上に努めました。サービス管理責任者の体制に変更が生じたため、より事業及び事務内容に精通できるように書類整備や情報伝達方法の見直しを図りました。			

その他

事業項目	①サービスの質向上に向けた取組
・ 利用者や関係者との情報交換や意思疎通を十分図り相互に連携することで、サービスの質を上げ利用者が自分らしい生活を送れるような支援を行います。	

【実績と成果】

- ・ 支援時にご利用者と十分コミュニケーションをとりました。また、ご家族とも直接あるいは電話等で情報交換を行いました。他事業所とは担当者会議等で意見交換を行うなど連携に努め、事業所内ではサービス提供責任者を中心に日々打ち合わせを行い情報の共有を行いました。
- 利用者の思いをくみ取り、生活がより豊かなものになるよう手助けをするとともに、日々の変化を見逃すこと無く支援に取り組み信頼関係を築いていきます。

事業別報告

(1)介護予防訪問介護、訪問介護事業

介護予防訪問介護・訪問介護事業 月別利用・サービス提供実施状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	35	36	39	40	41	39	40	39	39	41	43	42	474
活動時間数	278:00	294:25	246:35	287:45	246:00	276:55	296:00	259:55	266:20	272:50	297:55	317:25	3340:05
活動回数	306	320	263	314	263	303	329	289	296	314	342	364	3,703

(2)居宅介護事業、重度訪問介護事業、同行援護事業

内 容	障害福祉サービス事業 月別利用・サービス提供実施状況													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	18	20	21	21	19	20	21	21	22	21	20	15	239
	活動時間数	381:25	436:45	486:30	405:50	367:05	507:25	499:30	471:40	447:55	401:55	416:20	327:30	5149:50
	活動回数	167	213	239	225	214	246	252	233	250	210	217	215	2,681

(3) 地域生活支援事業

内 容	①全身性ガイドヘルプサービス 月別提供実施状況													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	5	5	4	4	5	5	5	5	5	4	5	1	53
	活動時間数	153:10	183:05	139:40	143:10	143:15	163:35	168:35	182:20	163:55	160:10	140:00	78:00	1818:55
	活動回数	21	26	19	21	20	26	27	28	25	25	21	9	268

(4)介護保険、障害者総合支援法関連事業の経営について

内 容	すこやかサービスセンター利用者状況	
	事業区分	
	介護保険事業関係	訪問介護・総合事業
	障害者総合支援	障害福祉サービス事業
	法関係	地域生活支援事業
	合 計	
		利用者(人)
		474
		239
		53
		766

(5)収支(経営)状況

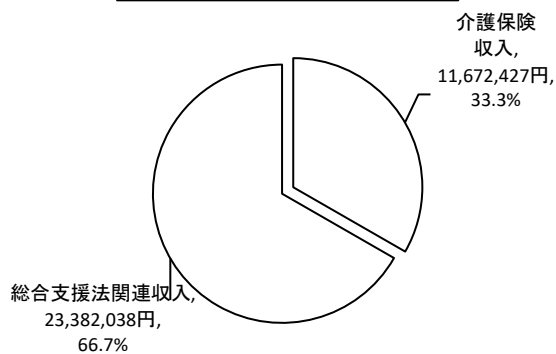
①事業区分別収支状況

事業区分		収入	支出	差引
介護保険 関連事業	訪問介護事業(総合事業含む) (ホームヘルプサービス)	11,675,427	12,266,973	-591,546
	小計①	11,675,427	12,266,973	-591,546
障害者総 合支援法 関連事業	居宅介護事業 (障害ホームヘルプサービス)	9,036,803	7,203,238	1,833,565
	重度訪問介護事業 (重度障害ホームヘルプサービス)	0	9	-9
	同行援護事業 (視覚障害サービス)	9,397,073	11,544,417	-2,147,344
	移動支援事業 (ガイドヘルプサービス)	4,950,162	4,546,746	403,416
	小計②	23,384,038	23,294,410	89,628
合計(①+②)		35,059,465	35,561,383	-501,918

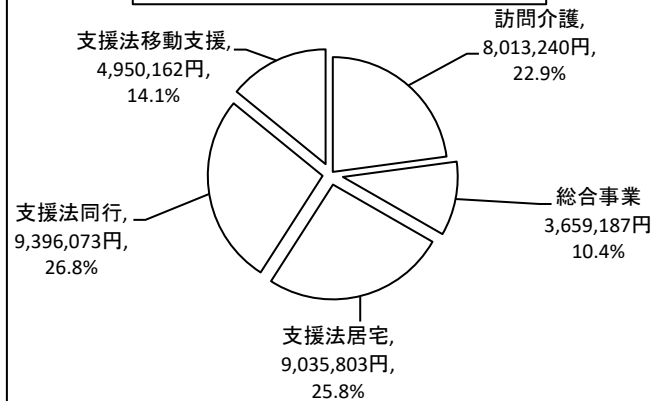
※ 拠点区分間繰入金及びサービス区分間繰入金、前期末支払資金残高は含まない収支です。

②収入・支出の内訳

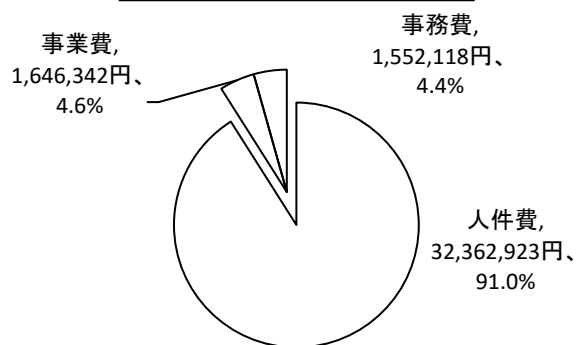
すこやかサービス収入内訳(円)



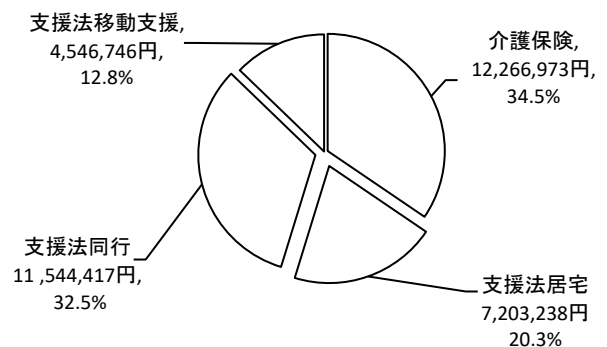
すこやかサービス事業別収入内訳(円)



すこやかサービス支出内訳

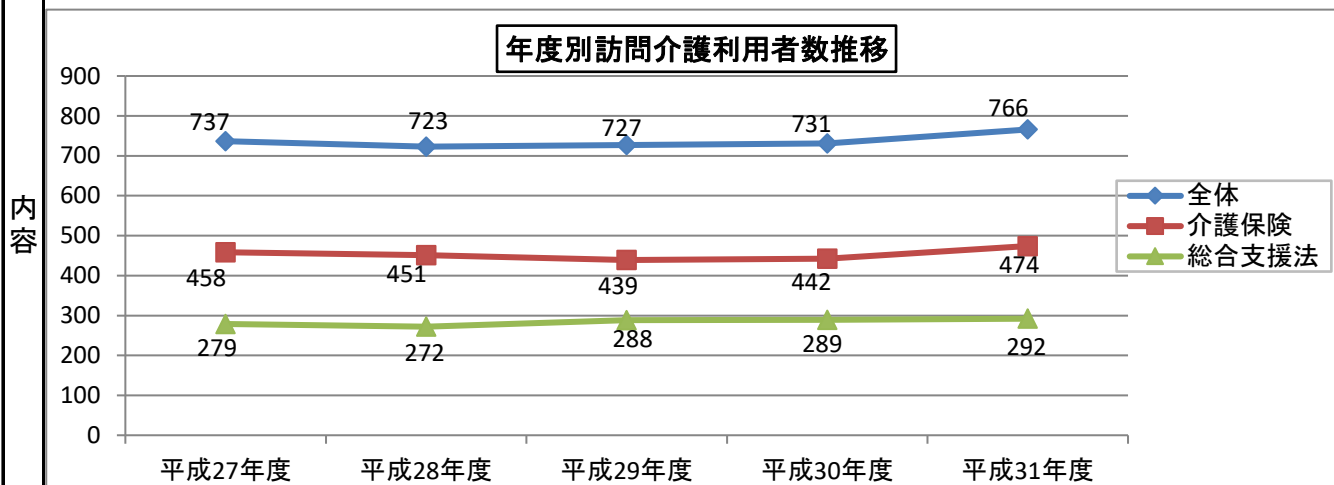


すこやかサービス事業別支出内訳(円)

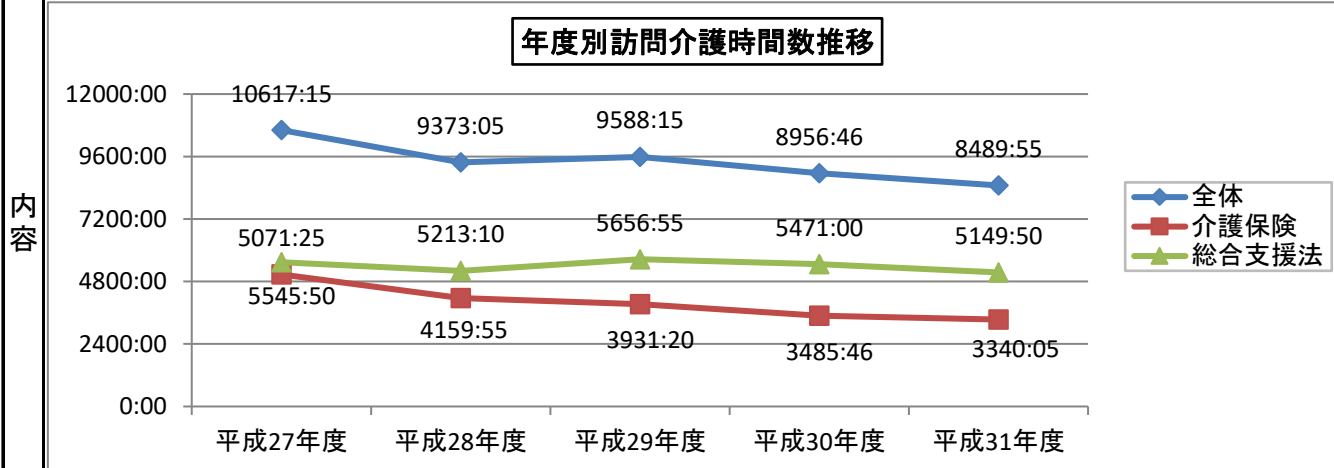


(6) 年度別活動実績の推移

① 訪問介護利用者数の推移



② 訪問介護活動時間数の推移



(7) 専門性及び技術の向上をめざした研修等の充実

① ホームヘルパー関係

毎月開催しているホームヘルパー定例会での研修や認知症介護に関する研修会等、15研修会に213名が参加しました。

(8)川西市介護保険サービス協会

47の法人等125事業所で組織されている川西市介護保険サービス協会において、本会は事務局として運営を支援し、資質の向上及び事業所間の連携等を目的に、次のような研修会等が開催されました。

内 容	開催日	内 容	場 所	参加者
	令和元年 7月17日	○研修会 テーマ：『自立支援介護について』 講 師：医療法人オーロラ会 理事長 株式会社ポラリス 代表取締役 森 剛士 氏	アステホール	65人
	令和元年 11月13日	○研修会 内 容：『職員離職を防ぐ事業所内でできる対策』 講 師：ソフィアサポート 代表 上芝 美恵 氏	キセラ川西プラ ザ文化棟 大会議室	40人
	令和2年 2月17日	○介護就職フェア 内 容：就職面接会 公的職業訓練 主 催：川西市 ハローワーク伊丹 川西市介護保険サービス協会	アステホール	面接会 参加人数 37人

E	障がい者相談支援事業	決算科目	障がい者相談支援事業
---	------------	------	------------

主な事業内容・成果
障がいをお持ちの方やその家族が安心して住み慣れた地域で暮らすために必要な様々な相談に応じ、必要な情報提供や助言などの支援を行いました。また、福祉サービスの利用支援業務として、サービス等利用計画書の作成およびモニタリングを実施し、適切なサービスが提供されるように調整しています。 行政や関係事業所等と積極的に連携し、生活面・就労面で、安心・安全に生活できるよう継続した支援を行いました。令和2年度から基幹相談支援の設置に向けた準備および業務を行います。

今後の課題
① 基幹相談支援センター設置に向けて引継ぎや業務内容決定を障害福祉課や他相談支援事業所と密に連携を取り合う必要があります。
② 多様化している相談内容に寄り添うために職員の資質の向上や社会資源や関係機関とより広く深く繋がっていく必要があります。
③ 指定特定相談支援事業所として、市内相談支援体制のさらなる充実をめざします。
④ 障がい者虐待の抑止力となるよう周知・啓発に取り組みます。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	60,389,275	62,840,978	2,451,703
受託金収入	41,637,258	44,379,607	2,742,349
障害福祉サービス等事業収入	18,749,417	18,461,371	△ 288,046
その他	2,600	0	△ 2,600
			0
(支 出)	60,389,275	62,840,978	2,451,703
人件費	57,079,996	59,189,776	2,109,780
事業費	805,658	745,327	△ 60,331
事務費	2,503,621	2,905,875	402,254
			0
			0
			0
			0

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高	15,614	15,614	0
当期末支払資金残高	15,614	15,614	0

主な増減理由
①障害福祉サービス等事業収は、市内相談支援事業所に引継ぎを行ったことや、計画相談につながる新規相談を他事業所に案内したための減。
②委託金収入および人件費は昨年度より定員内での1名増による増。(平成30年度は定数より2名減、平成31年度は1名減)

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	ボランティア活動・市民活動・当事者活動の推進と支援	活動項目	1-2
(1)	当事者への支援	取組項目	④
・ 障がい者1日サロンの開催や障がい者団体の運営支援及び自主生産製品販売促進事業の推進等を通じて、当事者及びその家族の自立と社会参加の促進を図ります。			
【実績と成果】			
・ 12月に開催された障がい者1日サロンに実行委員として参加し、様々な提案や調整を行いました。障がい者団体の運営会議や行事にも参加・支援を行いました。川西市障がい者自主製品販売促進委員会(みんなの店)の事務局として、会議・イベントの調整・支援を行いました。今後はさらに各団体・当事者が自立した運営ができるよう側面的な支援を行います。			

2	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1
(1)	多様な担い手との連携・協働による切れ目のない支援体制づくり	取組項目	③
・ 障がい者やその家族がかかえる生活課題の解決に向けて、地域における様々な資源や関係機関と連携しながら、自立支援に取り組みます。			
【実績と成果】			
・ 多様化・複雑化する相談を障がい者相談支援の立場から自立に向けた助言や支援を行いました。ケースによっては家族、行政、医療、地域住民、福祉サービスなど様々な機関と連携し、相談者の自立支援を行いました。各機関が連携することで相談者が安心できる支援を行いました。			

3	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2
(1)	権利擁護の推進	取組項目	③
・ 障がい者の虐待防止について、住民への周知・啓発に取り組むとともに、虐待防止、早期発見のため、関係機関と連携し、本人の意思に基づく支援が行われるように取り組みます。 【実績と成果】 虐待防止の周知・啓発のために障がい福祉サービス事業所で職員対象の研修講師を2か所で行いました。また、市内事業所に虐待防止のリーフレットを配布しました。虐待相談も複雑化しており判断や対応が難しくなっているため関係機関との連携や相談が一層大切になってきています。			

(1)相談・支援利用者の障害別状況

(単位:人)

項 目	身体障がい	精神障がい	知的障がい児	知的障がい者	不明者	合計
① 福祉サービスの利用援助	628	1,239	7	1,901	80	3,855
② 社会資源を活用するための支援	252	723	7	1,325	74	2,381
③ 社会生活力を高めるための支援	481	836	7	1,550	79	2,953
④ ピアカウンセリング	3	1	0	0	0	4
⑤ 権利擁護のために必要な援助	41	56	0	44	2	143
⑥ 専門機関の紹介と連絡調整	2,248	2,734	4	3,287	94	8,367
⑦ 障がい程度認定区分による調査	22	19	0	43	1	85
⑧ サービス等利用計画の作成・管理	301	220	3	837	0	1,361
合 計	3,976	5,828	28	8,987	330	19,149

項目	人数	割合
① 福祉サービスの利用援助	3,855	20%
② 社会資源を活用するための支援	2,381	12%
③ 社会生活力を高めるための支援	2,953	15%
④ ピアカウンセリング	4	0%
⑤ 権利擁護のために必要な援助	143	1%
⑥ 専門機関の紹介と連絡調整	8,367	44%
⑦ 障がい程度認定区分による調査	85	1%
⑧ サービス等利用計画の作成・管理	1,361	7%
合 計	19,149	

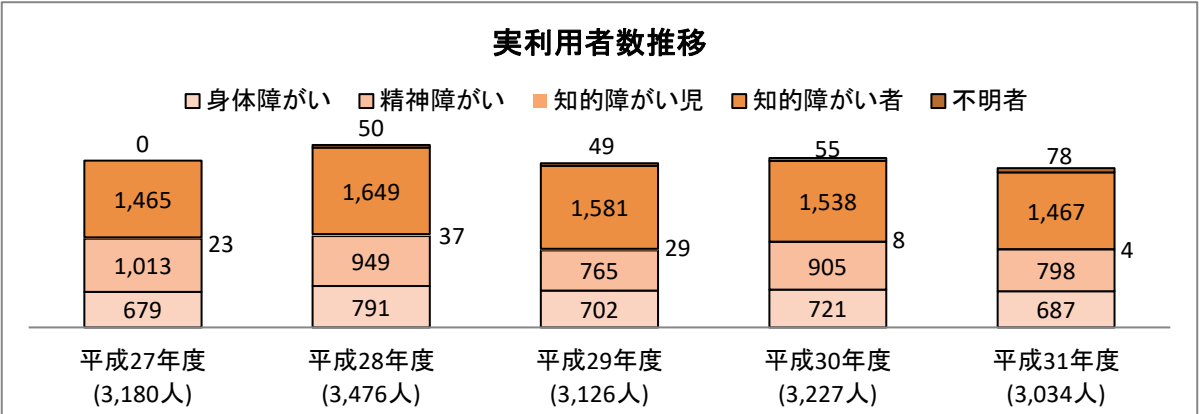
(2)サービス調整会議実施回数

(単位:人)

	身体障がい	精神障がい	知的障がい児	知的障がい者	未確認	合計
サービス調整会議	139	169	23	293	0	624

(3)相談方法						
内 容	(単位:人)					
	相 談 方 法	身体障がい	精神障がい	知的障がい児	知的障がい者	不明者
	電話相談	2,467	2,858	4	3,345	84
	FAX・メール・相談	54	80	0	155	22
	来所相談	119	176	2	321	7
	訪問相談(施設訪問も含む)	584	692	2	1,266	28
	その他	17	15	0	7	0
	合 計	3,241	3,821	8	5,094	141

(4)実利用者数						
内 容	(単位:人)					
		身体障がい	精神障がい	知的障がい児	知的障がい者	不明者
	男 性	332	375	4	876	62
	女 性	355	423	0	591	16
	不 明	0	0	0	0	0



(5)障がい種別・程度別相談状況									
内 容	(単位:人)								
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	不明者	合計
	身 体 障 が い 者	男 性	1,160	266	12	130	37	13	55
		女 性	1,028	249	122	169	0	0	1,568
		合 計	2,188	515	134	299	37	13	3,241
	精 神 障 が い 者		1級	2級	3級	非所持者	不明者	合計	
		男 性	237	1,288	331	3	44	1,903	
		女 性	134	1,268	344	16	156	1,918	
		合 計	371	2,556	675	19	200	3,821	
	知 的 障 が い 児 ・ 者		A	B1	B2	非所持者	不明者	合計	
		男 性	1,358	697	854	0	212	3,121	
		女 性	1,011	629	325	0	16	1,981	
		合 計	2,369	1,326	1,179	0	228	5,102	

(6)障がい者就労支援事業							
①障がい種別相談者数							
内 容	(単位:人)						
		身体障がい	精神障がい	知的障がい	非所持者	不明者	合計
	男 性	135	534	992	0	0	1,661
	女 性	8	42	404	0	5	459
	合 計	143	576	1,396	0	5	2,120
②就労相談状況							
内 容	(単位:人)						
		指導助言	情報提供	見学 面接同行	実習支援	その他 (生活相談)	職 場 定着支援
	① 登録	449	316	16	21	767	132
	② 未登録	3	20	1	0	18	0
	合計	452	336	17	21	785	132
③関係機関との連携状況							
内 容	(単位:人)						
		行 政 職 センター	各 支 援 センター	施 設 作 業 所	学 校	企 業	そ の 他 (会議含)
	① 訪 問	55	3	17	14	141	6
	② 連 絡	117	119	83	46	331	28
	③ 来 所	0	14	2	4	3	0
	合 計	172	136	102	64	475	34

(7)障がい者虐待防止センター事業

①相談件数	(単位:件)
-------	--------

(単位:人)

[illegible]

②通報・相談者数

					(単位:人)

養護者	本人	知人	関係者	その他	計
0	0	2	3	1	6

		(単位:人)	

養護者	施設	企業	その他	計
-----	----	----	-----	---

6	2	0	0	8
---	---	---	---	---

容 (単位:人)

身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト	経済的虐待	その他	計
-------	-------	------	-------	-------	-----	---

6	2	0	1	1	0	10
---	---	---	---	---	---	----

F1	障がい者施設	決算科目	小戸作業所
----	--------	------	-------

主な事業内容・成果
障害者総合支援法に基づき、生活介護・就労継続支援B型事業及び、地域活動支援センター事業を実施しました。利用者の意向に沿ったサービスを提供するため、個別面談や年度末アンケートなどを行い、利用者主体の個別支援計画書の作成及び支援に努めました。新規作業を軌道に乗せることや両サービスの連携により、ともに年間工賃収入を増加させることができました。地域活動支援センター事業は、新規利用者を確保できませんでしたが、生活介護では、令和2年度に向けて新規利用者を1名契約につなげました。

今後の課題
① 施設内だけでなく関係機関や他事業所と連携することで、安定した作業量の確保が必要です。
② 新規利用者確保や地域住民の理解を深めるために、実習生やボランティア、見学等の受け入れを積極的に行う必要があります。
③ 地域活動支援センター事業は、利用率等を考慮し川西市と協議した結果、令和2年度中に廃止の方向になりました。時期等の検討が必要です。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	124,046,773	126,201,816	2,155,043
受託金収入	32,194,012	35,149,754	2,955,742
就労支援事業収入	6,519,141	9,103,657	2,584,516
障害福祉サービス等事業収入	82,310,079	79,000,993	△ 3,309,086
その他	3,023,541	2,947,412	△ 76,129
(支 出)	128,546,773	126,201,816	△ 2,344,957
人件費	97,890,000	99,093,258	1,203,258
事業費	15,265,968	13,966,251	△ 1,299,717
事務費	3,384,544	3,073,788	△ 310,756
就業支援事業支出	6,519,141	9,103,657	2,584,516
その他	5,487,120	857,078	△ 4,630,042
固定資産取得支出	0	107,784	

当期資金収支差額	△ 4,500,000	0	4,500,000
前期末資金収支残高	9,398,190	4,898,190	△ 4,500,000
当期末支払資金残高	4,898,190	4,898,190	0

主な増減理由
① 障害福祉サービス等事業収入は、開所日数や利用者出席率低下による減
② 人件費は、人事異動による増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
生活介護事業(定員40人)			
① 利用者の特性やニーズを把握して、個別支援計画書を作成しこれに基づき、日常生活や社会生活を営むうえで適切な支援を行い、生産活動や創作活動等にも取り組みます。			
【実績と成果】			
・ 個々の夢や希望に基づいた支援計画書を作成し、支援にも生かしました。生産活動については、ダイハツのワイパーゴムの作業が軌道に乗り、工賃の月額平均が前年度より上がり、利用者のモチベーションを上げることができました。創作活動については、劇や歌など皆で協力して施設内の発表会を成功させることができました。			
生活介護 (単位:円)			
	支 払 総 額	最 高 額	最 低 額
4月	403,500	31,200	300
5月	147,600	6,500	200
6月	281,700	18,600	300
7月	223,500	13,000	800
8月	260,900	18,400	400
9月	273,300	19,500	800
10月	230,800	13,700	300
11月	322,400	20,900	400
12月	299,400	19,200	400
1月	235,600	15,000	200
2月	325,600	23,900	400
3月	706,639	60,966	1,430
年度	3,710,939	21,739	494
			1人当たり平均
			前 年 度
			11,528
			8,245
			3,576
			4,257
			3,988
			3,167
			1,497
			2,346
			2,145
			4,274
			2,242
			2,418
			11,192
			4,112

- ② 特別支援学校等の生徒の実習やトライやる・ウィークを受け入れます。また、所内・外行事(遠足等)において、ボランティアの方にも協力いただきます。

【実績と成果】

こやの里特別支援学校と川西養護学校の生徒各2人と在宅の方1人の実習を受け入れ、1人は令和2年度4月からの利用につなげることができました。トライやる・ウィークは4人、介護等体験実習は7人受け入れました。9月の所外行事では、ボランティア7人に協力を得て、安全に利用者の方に楽しんでいただくことができました。

- ③ 相談支援事業所と連携して新規利用者の確保に取り組みます。

【実績と成果】

- 体験実習を経て、相談支援事業所との連携により新規利用者1人を契約につなげました。また、他の関係機関と連絡を密にし、数か所の事業所の見学を積極的に受け入れました。

就労継続支援B型事業(定員20人)

- ① 利用者の特性やニーズを把握して、個別支援計画書を作成しこれに基づき、日常生活や社会生活を営むうえで適切な支援を行い、生活力向上のための工賃向上計画に取り組みます。

【実績と成果】

- 個々の利用目的を明確にし、利用者の状況や思いに沿った計画書を作成しました。高齢化が進む中で、体力や機能に沿った作業提供を行うなど、個々の特性に合わせた支援を行いました。作業量が落ち込む時期に生活介護と連携してタオル以外の作業に取り組んだことで、年間の月額平均が18,922円で、前年度より2,457円上がりました。

就労継続支援B型

(単位:円)

	支 払 総 額	最 高 額	最 低 額	1 人 当 たり 平 均	前 年 度
4月	340,950	32,200	2,000	17,047	20,608
5月	341,820	37,840	1,480	17,091	16,989
6月	427,190	45,200	2,340	21,359	19,119
7月	422,500	41,660	1,160	21,125	13,516
8月	317,120	31,660	1,510	15,856	16,392
9月	412,540	41,880	1,760	20,627	14,729
10月	375,340	41,060	1,380	18,767	17,489
11月	424,800	46,200	1,700	21,240	21,627
12月	390,700	43,000	2,120	19,535	15,769
1月	236,560	27,420	1,070	11,828	14,513
2月	470,900	52,880	1,880	23,545	11,605
3月	380,913	44,413	2,470	19,045	15,222
年度	4,541,333	40,451	1,739	18,922	16,465

- ② 特別支援学校等の生徒の実習やトライやる・ウィークを受け入れます。また、所内・外行事(遠足等)において、ボランティアの方にも協力いただきます。

【実績と成果】

- トライやる・ウィークは4人、介護等体験実習は7人受け入れました。9月の所外行事では、ボランティア7人に協力を得て、安全に利用者の方に楽しんでいただくことができました。

- ③ 相談支援事業所と連携して個々の希望の進路に向けて支援するとともに、新規利用者の確保に取り組みます。

【実績と成果】

- 入院後入所施設に移行された方が1名いましたが、定員は満たしているので新規利用者の確保には至りませんでした。相談支援事業所や生活支援課と連携して、利用日数の少ない利用者に対して相談や支援を行い、利用時間及び利用日数の増加につなげました。

地域活動支援センター事業(定員10人)

① 障がいのある方に対して、創作的活動の機会を提供し社会との交流の促進等を行います。

【支援内容】

講座の開講(手話・俳画・陶芸・ちぎり絵・手編み・太極拳・ハングル 7講座)

【実績と成果】

- ・ 予定通り7講座開講しましたが、新型コロナウイルスの影響で3月は陶芸1回のみの開講になりました。講師の体調不良等で休講の多い講座もありましたが、利用者同士の関係は良く交流の場としての役割は果たせました。

※()内は支援費対象外の方

(単位：人)

講座名	登録者数	開講回数	延受講者数
陶芸	0(5)	18	0(84)
手編	3(0)	11	26(0)
俳画	2(4)	20	14(75)
太極拳	2(3)	22	37(59)
手話	0(2)	22	0(32)
ハングル	2(2)	21	19(40)
ちぎり絵	0(5)	21	0(89)
計	9(21)	135	96(379)

② 相談支援事業所と連携して新規利用者の確保に取り組むとともに、広報紙で募集します。

【実績と成果】

- ・ 広報などで新規利用者を募集しましたが、3講座は登録者数が0のままで他の4講座も増加することはありませんでした。収入も上がらず講師の高齢化も進んでいることからサービスそのものの継続が困難な状態です。

(1) 在籍状況

① 月別在籍状況 (定員：生活介護 40人、就労継続支援B型 20人)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	男	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
	女	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	小計	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
就労継続	男	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
	小計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20
	合計	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	55

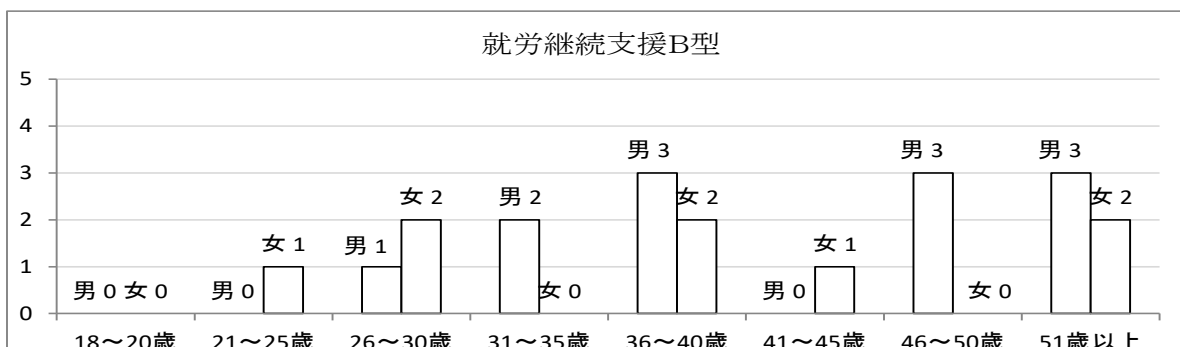
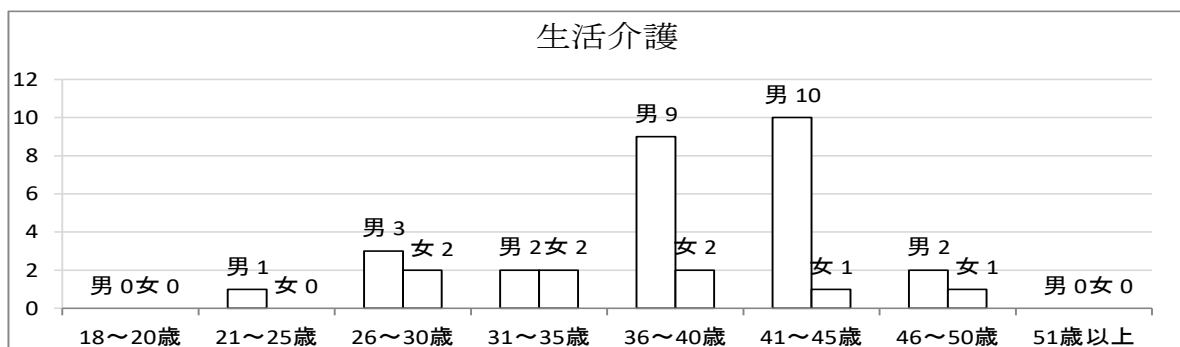
② 年齢別在籍状況(3月31日現在)

(単位：人)

		18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51歳以上	計
生活介護	男	0	1	3	2	9	10	2	0	27
	女	0	0	2	2	2	1	1	0	8
	小計	0	1	5	4	11	11	3	0	35
就労継続	男	0	0	1	2	3	0	3	3	12
	女	0	1	2	0	2	1	0	2	8
	小計	0	1	3	2	5	1	3	5	20
	合計	0	2	8	6	16	12	6	5	55

(単位:人)

内容



内容

③生活介護利用者の障がい程度別在籍状況(3月31日現在)

(単位:人)

障がい程度区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	9	13	2	3	27
女	0	0	1	4	2	1	8
合計	0	0	10	17	4	4	35

(2)出席状況

年間延出席人数は、前年 11,995人に対し、11,382人でした。

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
生活介護	在籍者数	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	236	238
	所定作業日数	20	19	20	22	18	19	21	20	20	18	18	21	236	238
	延出席者数	625	578	625	665	553	572	645	618	622	562	565	648	7,278	7,577
	出席率%	89.2	86.9	89.2	86.3	87.7	86.0	87.7	88.2	88.8	89.2	89.6	88.1	88.1	90.7
就労継続	在籍者数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20	236	238
	所定作業日数	20	19	20	22	18	19	21	20	20	18	18	21	236	238
	延出席者数	345	332	349	375	296	322	369	347	350	324	325	370	4,104	4,418
	出席率%	82.1	83.2	83.0	81.1	78.3	80.7	83.6	82.6	83.3	85.7	85.9	88.0	83.1	84.3

(在籍者数に対する出席率を記載)

(3)関係先企業

内容

作業実習に必要な仕事については、下記の各企業より受注を受けました。利用者に働くことの喜びを味わっていただくため、仕事の確保に努めました。

小杉善(株)	(箕面市)	タオル等のギフトセットや包装
金本徳(株)	(箕面市)	〃
ナイガイ(株)	(箕面市)	タオル一本袋入れ、箱の組立
那須梱包(株)	(西宮市)	自動車部品袋入れ
(株)エサカサービス	(箕面市)	ファンシーグッズの袋入れ、値付け
伊丹加工所	(伊丹市)	住宅関連部品の組立
エムアイケミカル(株)	(伊丹市)	薬杯検品

F2	障がい者施設	決算科目	川西作業所
----	--------	------	-------

主な事業内容・成果
障害者総合支援法に基づき、就労継続支援B型事業を実施しました。個別面談やアンケート調査を行い、利用者の意向に沿った個別支援計画の作成及び支援に努めました。特別支援学校の実習生やトライやるウィークの受け入れなどを実施する中で情報交換なども行い、地域との交流に努めました。関係機関と連携し、利用者2人を契約につなげました。

今後の課題
① 利用者の高齢化や重度化に対応するべく、新規作業を軌道に乗せるとともに現作業の見直しを行う必要があります。
② 定員に空きがあるので、関係機関と連携し新規利用者を確保することが必要です。
③ 地域交流を深めるために、介護等体験実習や地域住民の見学をより一層積極的に受け入れる必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	55,782,936	57,063,341	1,280,405
受託金収入	15,142,653	16,419,892	1,277,239
就労支援事業収入	5,612,052	7,362,615	1,750,563
障害福祉サービス等事業収入	34,678,110	32,925,288	△ 1,752,822
その他	350,121	355,546	5,425
(支 出)	58,782,936	57,063,341	△ 1,719,595
人件費	41,731,641	41,057,041	△ 674,600
事業費	6,246,898	6,183,739	△ 63,159
事務費	2,060,225	2,335,746	275,521
就業支援事業支出	5,612,052	7,362,615	1,750,563
その他	3,132,120	124,200	△ 3,007,920

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高	3,727,933	727,933	△ 3,000,000
当期末支払資金残高	727,933	727,933	0

主な増減理由
① 障害福祉サービス等事業収入は、開所日数や利用者契約数減少による減
② 人件費は、人事異動による減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
就労継続支援B型事業(定員35人) ① 利用者の特性やニーズを把握して、個別支援計画書を作成しこれに基づき、日常生活や社会生活を営むうえで適切な支援を行い、生活力向上のための工賃向上計画に取り組みます。 【実績と成果】 面談やアンケートで伺った意向を基に個別支援計画書を作成し、個々の目標に沿った支援を行いました。利用者の高齢化(利用者の約半数は50歳以上)と重度化に対応するため、多くの利用者が取り組める作業を新規に導入しました。川西市からの 封入・封緘の受注も継続しており、今年度のひとり当りの工賃支払い額は平均月額20,182円で、前年度に比べて、5,766円増加しました。			
(単位:円)			
	支 払 総 額	最 高 額	最 低 額
4月	494,025	46,830	440
5月	334,480	30,860	740
6月	520,470	47,500	4,780
7月	657,470	54,120	2,740
8月	569,805	49,200	1,310
9月	529,190	43,890	3,300
10月	424,820	33,580	2,180
11月	565,745	47,030	560
12月	492,705	38,910	3,420
1月	423,025	35,550	470
2月	758,005	62,370	1,320
3月	938,143	74,954	5,062
年度	6,707,883	47,066	2,194
			1人当たり平均
			前 年 度
			19,000
			12,864
			20,018
			23,481
			20,350
			18,899
			14,648
			19,508
			18,248
			14,587
			27,071
			33,505
			20,182
			14,416

② 特別支援学校等の生徒の実習やトライやる・ウィークを受け入れます。また、所内・所外行事(遠足等)において、ボランティアにも協力いただきます。

【実績と成果】

- ・今年度は特別支援学校の実習を1人受け入れました。トライやるウィークは3校各2人ずつ実施しました。9人受け入れた介護等体験実習生のうち2人が所外行事に参加したことと年末行事をカラオケにしたことで、所内・所外行事(遠足等)はボランティアの参加はありませんでした。

③ 相談支援事業所と連携して個々の希望の進路に向けて支援するとともに、新規利用者の確保に取り組めます。

【実績と成果】

- ・相談支援事業所の紹介で2名体験実習を受け入れ、2名とも契約できました。

(1)在籍状況

①月別在籍者状況 (定員：35人)

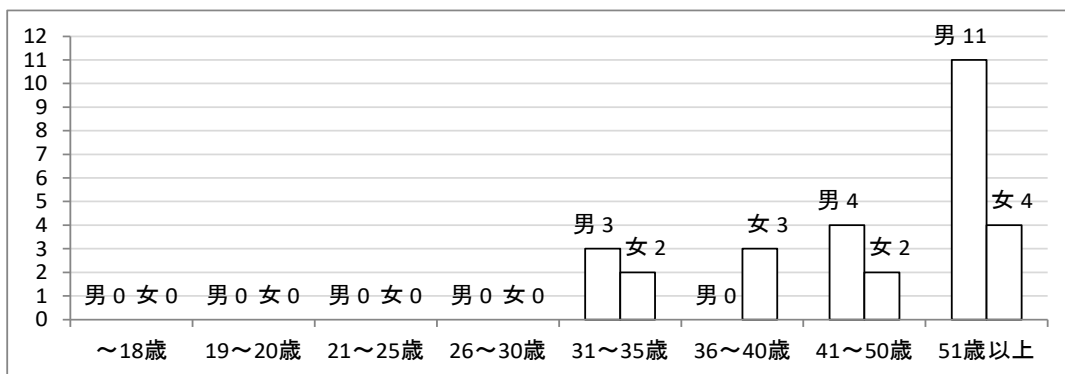
(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
女	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	11	11
計	29	28	28	29	29	29	30	30	30	30	29	29

②年齢別在籍状況

(単位：人)

	～18歳	19～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～50歳	51歳以上	計
男	0	0	0	0	3	0	4	11	18
女	0	0	0	0	2	3	2	4	11
小計	0	0	0	0	5	3	6	15	29



③障がい別在籍状況

(単位：人)

手帳等級		1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	計
視覚障がい	男	0	1	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	
聴覚障がい	男	0	2	1	1	0	0	4	5
	女	1	0	0	0	0	0	1	
肢体不自由	男	2	6	0	3	1	0	12	22
	女	1	5	1	2	0	1	10	
内部障がい	男	0	0	0	1	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	
計	男	2	9	1	5	1	0	18	29
	女	2	5	1	2	0	1	11	

内容

(2)出席状況

利用者の出席率は、74.1%であり、年間延出席人数は、5,110人でした。

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
在籍者数	29	28	28	29	29	29	30	30	30	30	29	29	236	238
所定作業日数	20	19	20	22	18	19	21	20	20	18	18	21	236	238
延出席者数	405	385	412	487	384	421	491	441	445	384	387	468	5,110	5,418
出席率 %	69.8	72.3	73.5	76.3	73.5	76.4	77.9	73.5	74.1	71.1	74.1	76.8	74.1	73.9

内容

(3)関係先企業

利用者の中には、就労経験のある方もおられ、自立生活のため高工賃を期待されています。付加価値の高い作業の導入を心がけていますが、作業をする上で利用者の重度化傾向がうかがえ、難易度の低い作業の導入にも努める必要があります。

今年度は小戸作業所とも連携し新規作業を導入することができました。また、川西市からの受注も積極的に取り組みました。

積水マテリアルソリューションズ(株)	(大阪市)	医療用廃棄袋加工
伊丹加工所	(伊丹市)	住宅・建築用資材加工
エムアイケミカル(株)	(伊丹市)	投薬瓶箱詰
林(株)	(川西市)	タオル加工
梶村工業所	(伊丹市)	自動車・機械部品加工
川西市役所	(川西市)	封入・封緘作業
(株)アヌシ	(伊丹市)	生活雑貨加工
那須梱包(株)	(西宮市)	自動車部品袋入れ

内容

(4)他施設等への協力

本年度においては、依頼に応じて、次の施設等へ紹介等を行いました。

ドリーム甲子園	(川西市)
就労継続支援事業所 ワークスペースさつき	(池田市)

内容

F3	障がい者施設	決算科目	ひまわり荘
----	--------	------	-------

主な事業内容・成果
障害者総合支援法に基づき、指定障害福祉サービス事業所として生活介護事業を実施し、利用者及び家族等からの相談に応じ適切な助言または支援を行いました。 また、機能的訓練として、個別カリキュラムにより心身機能の維持向上を図れるように、歩行訓練・立位訓練等を実施しました。 さらに、看護師による利用日ごとの健康チェックや嘱託医による内科検診(2か月に1回)を実施し健康維持に努めました。 支援学校等との交流会参加や地元ボランティアを積極的に受け入れ、社会参加、地域交流を深めました。 令和2年度より、理学療法士による専門的な機能訓練を実施する事となりました。

今後の課題
① 利用者本人や家族がご高齢となり、在宅生活の継続に不安を持っておられるため、社会資源の開拓、情報提供等を関係機関と連携し進めていく必要があります。 ② 利用者が減少していることから、関係機関と連携し新規利用者の確保が必要です。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	65,699,740	64,213,818	△ 1,485,922
受託金収入	19,873,839	23,377,253	3,503,414
障害福祉サービス等事業収入	45,825,901	40,836,565	△ 4,989,336
その他	0	0	0
(支 出)	65,699,740	64,213,818	△ 1,485,922
人件費	54,377,125	53,481,630	△ 895,495
事業費	8,332,161	7,895,978	△ 436,183
事務費	2,990,454	2,836,210	△ 154,244

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高	7,594,126	7,594,126	0
当期末支払資金残高	7,594,126	7,594,126	0

主な増減理由
① 障害福祉サービス費等事業収入は、利用者数の減による収入減 ② 人件費は、人事異動や臨時職員の欠員期間があったことによる減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
生活介護事業(定員20名) ・ 日中活動として、利用者の希望や要望に基づき作成した個別支援計画書に沿って日常生活上の支援を実施します。 【実績と成果】 ・ 障害者総合支援法に基づき、サービス管理責任者が定期的に面談を行い利用者の希望や要望を伺い、個別支援計画書を作成し、それに沿った日常生活上の支援を実施しました。 ・ 利用者、家族が安心して地域生活を送るための相談支援を実施します。また、相談内容によっては、社協内部や外部の関係諸機関との連絡調整を行います。 【実績と成果】 ・ 相談内容により、障がい児(者)地域生活・就業支援センターと連携し地域資源等の情報提供や連絡調整を行い、利用者やご家族が地域生活を安心して送ることができるよう相談支援を実施しました。 ・ 養護学校等との実習や交流会、ボランティア受入等を通じ、地域との連携を深めるとともに、障がい児(者)地域生活・就業支援センターとの連携により、新規利用者の確保に努めます。 【実績と成果】 ・ 支援学校との交流会参加や地域のボランティアを積極的に受け入れ、地域との連携を図りました。また、障がい児(者)地域生活・就業支援センター等との連携により、新規利用者3名と契約することができましたが、施設入所等により、4名の退所者があったため契約者数は前年度より1名減となりました。			

緊急一時保護事業

・ 事前登録者を対象として、在宅家庭で、冠婚葬祭その他の理由により介護が困難となった場合、一時的に保護します。なお、一時保護は、午前9時から午後8時まで。

【実績と成果】

・ 平成31年度の利用はありませんでした。

(2)

福祉避難所としての役割

取組項目

④

・ 災害時、市と協定を締結した施設として、市の要請により福祉避難所を開設し、市と協力して円滑な運営に取り組めます。

【実績と成果】

・ 平成31年度に福祉避難所としての開設要請は、ありませんでした。引き続き、川西市と協力し円滑な運営に取り組めます。

また、平成31年度に川西市と協議し福祉避難所 開設・運営マニュアルを作成しました。

(1)障害福祉サービス事業 生活介護事業

内容

①契約人数(3月31日現在) (定員：20人)

	男	女	計
人数	7人	13人	20人

②事業実施日数及びサービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	21日	20日	21日	23日	20日	20日	22日	21日	21日	20日	19日	22日	250日
日常支援	206人	199人	205人	222人	210人	197人	211人	206人	192人	187人	172人	191人	2398人
入浴介助	184人	185人	179人	200人	186人	180人	185人	187人	176人	168人	163人	179人	2172人
送 迎	396回	384回	392回	422回	406回	376回	409回	398回	366回	359回	330回	373回	4611回

内容

年度	日常支援	入浴介助
平成27年度	2705人	1927人
平成28年度	2768人	2125人
平成29年度	2828人	2317人
平成30年度	2727人	2177人
平成31年度	2398人	2172人

内容

③主な社会参加・啓発事業

実施月	行事名	参加人数	場所・内容 等
6月	川西養護学校交流会	12	川西養護学校・レクリエーション
8月	ハッピーカーニバル(夏祭り)	14	ひまわり荘内・デザート作り・サクセス演奏
10月	みんなの体育祭	9	川西市総合体育館
11月	紅葉見学(けやき坂)	15	けやき坂方面
12月	クリスマス会	9	ひまわり荘内・デザート作り・ゴスペル
1月	新春散歩(多田神社)	10	多田神社参拝
1月	肢体不自由児者美術展	利用者全員	兵庫県肢体不自由児者美術展に共同作品等出展

(2)緊急一時保護事業

内容

①事業内容

冠婚葬祭その他の理由により、一時的に家族が介護できなくなった障がい者(児)について、宿泊を伴わない1日単位での一時保護を実施します。

実施状況

平成31年度の実績はありませんでした。

G1	障がい児施設	決算科目	川西さくら園
----	--------	------	--------

主な事業内容・成果
児童発達支援では、園児一人ひとりの発達段階を正しくとらえ、保育・リハビリ職員によるチームアプローチを実施し、園児が心身ともに健やかに過ごせるよう支援しました。保護者に対しても、日常的な相談のほか、定期的な面談や研修会の実施などの支援を実施しました。 また、保育所等訪問支援事業や障害児等療育支援事業、相談支援事業を通して、地域の子どもたちの支援にもあたりました。さらに、職員を地域の会議や研修会に派遣することを通してセンターの機能を地域に還元するよう努めました。

今後の課題
① 医療的ケア児を含む重症心身障害児への在宅支援・園での支援の更なる充実が望まれます。 ② 保育所等訪問支援・障害児等療育支援事業の周知をさらに深めていく必要があります。 ③ 相談支援事業では、増加する一方の相談者への対応をどのように工夫していくのか市役所・他相談支援事業所と協議しながら進めていく必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	200,009,272	203,085,934	3,076,662
受託金収入	74,584,306	96,089,112	21,504,806
障害福祉サービス等事業収入	125,067,629	106,682,867	△ 18,384,762
その他	357,337	313,955	△ 43,382
(支 出)	200,009,272	203,285,134	3,275,862
人件費	164,859,965	164,882,688	22,723
事業費	18,018,969	16,186,149	△ 1,832,820
事務費	9,395,480	8,256,696	△ 1,138,784
その他	7,734,858	13,959,601	6,224,743

当期資金収支差額	0	△ 199,200	△ 199,200
前期末資金収支残高	17,075,352	17,075,352	0
当期末支払資金残高	17,075,352	16,876,152	△ 199,200

主な増減理由
① 受託金収入は、障害福祉サービス等事業収入減による増 ② 障害福祉サービス等事業収入は児童発達支援において出席率68%の見込みが60.5%になったことによる減 ③ その他支出は、さくらんぼの出席率低下による減収や人事異動に伴う人件費の増加による増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
児童発達支援(定員50名)・保育所等訪問支援・相談支援 ・ 児童発達支援事業においては、園児の特性を的確に把握し、療育(保育・リハビリ)を実施し、子どもたちが心身ともに健やかで意欲ある生活が送れるよう支援します。また、保護者同伴通園の特性を生かし、保護者の相談に応じるとともに、ペアレントトレーニング・研修会・発達相談・心理相談の実施など保護者支援にも力を入れます。 【実績と成果】 ・ 欠員があった作業療法士の採用ができました。今年度も保育・リハビリ職員によるチームアプローチを実施し園児の支援にあたりました。保護者に対しては、日常的な相談に応じるとともに、個別面談・発達相談・心理相談を実施したほか、外来の講師や職員を講師とした研修会を年間17回実施しました。また、保護者負担を軽減するとともに、園児の自立度を高めるため、年中・年長児の単独通園日を設けるなど、レスパイトや単独通園の充実を図りました。 ・ 保育所等訪問支援事業・障害児等療育等支援事業等を通して地域の子どもたちへの支援を充実させます。 【実績と成果】 ・ 保育所等訪問支援は、年間39件、障害児等療育支援事業は、在宅支援(地域巡回型)が年間240件、施設支援が年間96件となりました。保育・教育現場での周知がまだ不足していることは否めませんが、保健センターや地域の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校へ職員を派遣し地域の子どもたちのへの支援が実施できました。			

②障がい・障がい度別状況

(単位:人)

	広汎性発達障害	ダウン症	自閉症	脳性まひ	運動発達遅滞	発達遅滞	エフ・スタイン奇形	ウエスト症候群	自閉症スヘ・クトラム	言語発達遅滞	発達障害	精神発達遅滞	知的障がい	全般的発達障害	症候群 コルネリア・テ・ランテ	症 低酸素性虚血性脳	てんかん	その他	計
軽度	1	1	1	0	0	5	0	0	8	1	15	3	2	0	0	0	0	0	37
中度	1	3	1	0	0	1	0	0	2	0	2	0	1	3	1	0	0	0	15
重度	0	1	0	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	12
計	2	5	2	4	1	7	1	1	10	1	17	3	3	3	1	1	1	1	64

(5)行事報告

実施日	行事名	場所(園外)・内容
5月 13日～17日	さつまいも苗植え	
15日	保護者研修会	保育で大切にしていること
18日	保護者研修会	こどもとことば
28日	保護者研修会	ペアレントトレーニング1-1
6月 9日	療育参観日	
4日	保護者研修会	ペアレントトレーニング1-2
5日	保護者研修会	遊びについて
20日	保護者研修会	更衣動作について
25日	保護者研修会	ペアレントトレーニング1-3
7月 3日	保護者研修会	嚥下と咀嚼について
5日	保護者研修会	進路について
11日	保護者研修会	進路について
16日	保護者研修会	ペアレントトレーニング1-4
18日	歯科講話	歯磨き指導
20日	なつのつどい	
8月 9日	みんなであそぼう	
26日	みんなであそぼう	
30日	療育研修会	
9月 6日	園外療育	
10月 2日	クラス別園外療育(ぞう・うさぎ)	南消防署
8日	かけっこ予行演習	
22日	うんどうかい	
23日～31日	さつまいも掘り	
30日	保護者研修会	偏食について
31日	クラス別園外療育(いぬ)	能勢電鉄 山下駅
31日	保護者研修会	ペアレントトレーニング2-1
11月 1日・15日	給食模擬店	
8日	さつまいもパーティー	
7日・13日	こまあそび	
9日	保護者研修会	児童精神科医師
14日	保護者研修会	ペアレントトレーニング2-2
29日	うさぎクラス クッキング保育	
12月 11日・13日	クッキング保育	
13日	おたのしみ会	
1月 15日	保護者研修会	修了される方へ
18日	療育参観日	
29日	いぬクラスクッキング保育	
29日	保護者研修会	おはしについて
31日	給食 親子ランチ	

	<table><tr><td>2月 6日</td><td>クラス園外療育(ぞう)</td><td>カップヌードルミュージアム</td></tr><tr><td>18日</td><td>いぬクラスクッキング保育</td><td></td></tr><tr><td>28日</td><td>りすクラスクッキング保育</td><td></td></tr><tr><td>27日</td><td>保護者研修会</td><td>こどもとことば</td></tr><tr><td>3月 13日</td><td>うさぎクラス園外療育</td><td></td></tr><tr><td>26日</td><td>おわかれかい</td><td></td></tr></table> その他 月1回 ひよこのつどい(お誕生日会)、避難訓練	2月 6日	クラス園外療育(ぞう)	カップヌードルミュージアム	18日	いぬクラスクッキング保育		28日	りすクラスクッキング保育		27日	保護者研修会	こどもとことば	3月 13日	うさぎクラス園外療育		26日	おわかれかい													
2月 6日	クラス園外療育(ぞう)	カップヌードルミュージアム																													
18日	いぬクラスクッキング保育																														
28日	りすクラスクッキング保育																														
27日	保護者研修会	こどもとことば																													
3月 13日	うさぎクラス園外療育																														
26日	おわかれかい																														
(6) 診察状況																															
内容	<table><tr><td></td><td>小児科</td><td>整形外科</td><td>精神科</td><td>眼科</td><td>耳鼻科</td><td>歯科</td></tr><tr><td>診察回数(回)</td><td>12</td><td>0</td><td>12</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>診察延人数(人)</td><td>170</td><td>0</td><td>152</td><td>58</td><td>63</td><td>78</td></tr></table>							小児科	整形外科	精神科	眼科	耳鼻科	歯科	診察回数(回)	12	0	12	2	2	3	診察延人数(人)	170	0	152	58	63	78				
	小児科	整形外科	精神科	眼科	耳鼻科	歯科																									
診察回数(回)	12	0	12	2	2	3																									
診察延人数(人)	170	0	152	58	63	78																									
(7) 外来専門医等による指導																															
内容	<table><tr><td></td><td>児童精神科</td><td>小児神経科</td><td>理学療法</td><td>作業療法</td><td>言語聴覚</td><td>心理</td><td>計</td></tr><tr><td>指導回数(回)</td><td>12</td><td>5</td><td>48</td><td>19</td><td>62</td><td>48</td><td>194</td></tr><tr><td>延人数(人)</td><td>83</td><td>10</td><td>134</td><td>53</td><td>181</td><td>99</td><td>560</td></tr></table>								児童精神科	小児神経科	理学療法	作業療法	言語聴覚	心理	計	指導回数(回)	12	5	48	19	62	48	194	延人数(人)	83	10	134	53	181	99	560
	児童精神科	小児神経科	理学療法	作業療法	言語聴覚	心理	計																								
指導回数(回)	12	5	48	19	62	48	194																								
延人数(人)	83	10	134	53	181	99	560																								
(8) 保育実施人数																															
内容	<table><tr><td></td><td>個別活動</td><td>グループ活動</td><td>散 歩</td><td>課題別療育</td><td>個人面談</td><td>交流保育</td></tr><tr><td>延人数</td><td>1,127</td><td>18,979</td><td>955</td><td>618</td><td>163</td><td>57</td></tr></table>							個別活動	グループ活動	散 歩	課題別療育	個人面談	交流保育	延人数	1,127	18,979	955	618	163	57	(単位:人)										
	個別活動	グループ活動	散 歩	課題別療育	個人面談	交流保育																									
延人数	1,127	18,979	955	618	163	57																									
(9) 訓練実施人数																															
内容	<table><tr><td></td><td>理学療法</td><td>作業療法</td><td>言語聴覚</td><td>グループ</td><td>姿勢保持具・自助具製作及び修理</td></tr><tr><td>延人数</td><td>439</td><td>496</td><td>339</td><td>34</td><td>0</td></tr></table>						理学療法	作業療法	言語聴覚	グループ	姿勢保持具・自助具製作及び修理	延人数	439	496	339	34	0	(単位:人)													
	理学療法	作業療法	言語聴覚	グループ	姿勢保持具・自助具製作及び修理																										
延人数	439	496	339	34	0																										
(10) 看護業務実施人数																															
内容	<table><tr><td></td><td>視 診</td><td>投 薬</td><td>処 置</td><td>病院付添</td><td>身体計測</td><td>検 尿</td><td>カリオスタット</td></tr><tr><td>延人数</td><td>6,888</td><td>35</td><td>268</td><td>5</td><td>433</td><td>41</td><td>34</td></tr></table>								視 診	投 薬	処 置	病院付添	身体計測	検 尿	カリオスタット	延人数	6,888	35	268	5	433	41	34	(単位:人)							
	視 診	投 薬	処 置	病院付添	身体計測	検 尿	カリオスタット																								
延人数	6,888	35	268	5	433	41	34																								
(11) 給食																															
内容	①給食数(カッコ内は、アレルギー食を再掲)				(単位:食)																										
	<table><tr><td></td><td>普通食</td><td>刻み食</td><td>ミキサー食</td><td>合 計</td></tr><tr><td>延食数</td><td>5,963(132)</td><td>605(133)</td><td>103(10)</td><td>6,671(275) 食</td></tr></table>						普通食	刻み食	ミキサー食	合 計	延食数	5,963(132)	605(133)	103(10)	6,671(275) 食																
	普通食	刻み食	ミキサー食	合 計																											
延食数	5,963(132)	605(133)	103(10)	6,671(275) 食																											
内容	②1日当り給食数・1日当り単価																														
	<table><tr><td>1日当たり給食数</td><td>30.4 食</td><td>1日当たりの給食単価</td><td>360円</td></tr></table>					1日当たり給食数	30.4 食	1日当たりの給食単価	360円																						
1日当たり給食数	30.4 食	1日当たりの給食単価	360円																												
(12) 来訪者状況(延べ人数)																															
内容	<table><tr><td></td><td>視察見学者</td><td>ボランティア</td><td>実習生</td><td>トライやる</td><td>その他</td><td>合 計</td></tr><tr><td>延人数</td><td>11</td><td>78</td><td>52</td><td>30</td><td>0</td><td>171</td></tr></table>							視察見学者	ボランティア	実習生	トライやる	その他	合 計	延人数	11	78	52	30	0	171	(単位:人)										
	視察見学者	ボランティア	実習生	トライやる	その他	合 計																									
延人数	11	78	52	30	0	171																									

(13)障害児等療育支援事業				
内 容	①在宅支援訪問療育等指導事業(県受託契約件数220件)			
	在宅障がい児を対象に、保育士等が家庭等に出向いて療育及び相談や助言等による支援を行いました。			
		訓 練	保 育	合 計
	延人数	16	224	240 人
内 容	②施設一般指導事業(県受託契約件数96件)			
	保育所・幼稚園・小学校の職員を対象に、児童とのかかわり方等についての相談や助言を行いました。			
		訓 練	保 育	その他
	延人数	34	59	3
	合 計			
				96 人
	平成31年度の主な施設支援先			
	施 設 別	名 称		
	市町	川西市	保健センター 川西市立・私立保育所支援児保育部会 川西市こども若者ステーション	
		猪名川町	保健センター	
	小学校	川西市立	東谷小学校 桜ヶ丘小学校 久代小学校 加茂小学校	
		猪名川町立	猪名川小学校	
	保育所	川西市立	川西保育所 小戸保育所 多田保育所 川西中央保育所	
			山下教会めぐみ園 川西共同保育園 畦野こどもの里保育園 ちきゅうっこ保育園 ウッディートーマス保育園 KIキッズクラブ保育園 山小屋保育園 えんぜるういっしゅ保育園 生駒病院 院内保育所	
	幼稚園	川西市立	久代幼稚園 川西北幼稚園 川西幼稚園 多田幼稚園 東谷幼稚園	
		私立	藤が丘幼稚園 新清和台幼稚園	
		猪名川町立	猪名川幼稚園 松尾台幼稚園	
	こども園	川西市立	牧の台みどりこども園 加茂こども園	
		私立	美山こども園	
	特別支援学校	川西市立	川西養護学校	
		兵庫県立	こやの里特別支援学校	

(14) 相談支援

①相談・支援利用者の状況

(单位:人)

項 目	障がい児
①福祉サービスの利用援助	5,571
②社会資源を活用するための支援	10
③社会生活力を高めるための支援	1,255
④ピアカウンセリング	0
⑤権利擁護のために必要な援助	1
⑥専門機関の紹介と連絡調整	4,913
⑦障害程度認定区分による調査	1
⑧サービス等利用計画の作成・管理	1,024
合 計	12,775

②相談方法

(单位:人)

電話相談	8,150
FAX・メール相談	33
来所相談	1,566
訪問相談(施設訪問も含む)	1,951
その他	51
合 計	11,751

③実相談者数

(单位:人)

男 性	2,365
女 性	888
不 明	0
合 計	3,253

④障がい度別相談状況

(单位:人)

障がい度	男性	女性	合計
療育手帳 A	882	599	1,481
療育手帳 B1	464	126	590
療育手帳 B2	2,282	694	2,976
非所持者	4,701	1,599	6,300
不明者	167	58	225
合 計	8,496	3,076	11,572

(15) 保育所等訪問支援

保育士・専門職が、保育所・幼稚園・小学校などを訪問し、先生方と調整しながら、対象児童が環境に適応できるよう支援しました。

①面談・訪問件数

(单位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
面談	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	4
訪問	2	4	3	3	1	6	3	6	2	1	4	4	39

②訪問場所

小学校	東谷小学校・桜ヶ丘小学校
保育園	星児園七夕・畦野こどもの里保育園
幼稚園	川西北幼稚園

G2	障がい児施設	決算科目	さくらんぼ
----	--------	------	-------

主な事業内容・成果
利用児が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、子どもたちの発達状況に即した支援を実施しました。また、今年度もペアレントトレーニングを実施するなど、保護者支援にも力を入れました。

今後の課題
① 依然として、保育士・児童指導員の欠員の補填が困難な状況にあり、早期に雇用し安定した運営ができるようになることが望めます。
② 収益を向上させるため、利用実績に基づく定員の見直しを図る必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	31,572,886	34,722,549	3,149,663
障害福祉サービス等事業収入	24,500,788	21,156,829	△ 3,343,959
その他	7,072,098	13,565,720	6,493,622
(支 出)	31,572,886	34,722,549	3,149,663
人件費	28,944,736	32,233,163	3,288,427
事業費	1,784,617	1,270,384	△ 514,233
事務費	843,533	1,163,832	320,299
その他	0	55,170	55,170

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高	0	0	0
当期末支払資金残高	0	0	0

主な増減理由
①障害福祉サービス等事業収入は、児童発達支援の出席率70%の見込みがが56.4%となったことによる減
②人件費支出は、人事異動に伴う増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3－4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
児童発達支援(定員25名)・放課後等デイサービス(10名)			
・ 利用児一人ひとりの発達段階を的確に把握し、個別支援計画に基づき支援を行い、利用児のスキルの向上をめざすとともに、保護者に対しても、日々の相談や心理相談・研修会等を実施し、保護者同伴通園の利点を生かした保護者支援を行います。 また、放課後等デイサービスでは、園外活動の充実を図ります。			
【実績と成果】			
・ 利用児の発達段階に合わせたカリキュラムを作成し、体系的に実施することにより療育の効果が得られるよう配慮しました。個別支援計画の見直しに伴ってより具体的にお子さんの目標が設定できるように保護者面談を充実させました。また、心理士による発達検査や心理相談、言語聴覚士による言語評価や言語訓練等を実施しました。放課後等デイサービスでは、園外活動を通じてルールやマナーを学ぶ体験をしました。			
・ 見学者等を受け入れる中で、特に療育が必要な低年齢のお子さんを積極的に受け入れました。			
・ 特別支援教育相談連携会議や5歳児発達相談、地域の研修会等への職員の派遣を行い事業所の機能を地域に還元しました。			
・ 利用児が地域で生活する上で困りごとのないよう、それぞれの幼稚園・保育所等と連携し支援に努めました。			
・ クローバー宝塚ランチの指導のもと、保護者に対するペアレントトレーニングを実施しました。来年度以降も継続して実施していく予定です。また、外来講師を招いての保護者研修会も実施し保護者支援を行いました。			

(1)入退園・利用状況 (定員：児童発達支援 25人、放課後等デイサービス 10人)

児童発達支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍者数	76	76	80	81	82	82	87	85	88	93	93	91	1,014
月末在籍者数	75	74	78	81	80	79	81	85	88	93	90	64	968
登録者数	22	1	6	3	1	2	8	4	3	5	0	1	56
解除者数	1	2	2	0	2	3	6	0	0	0	3	27	46

放課後等デイサービス

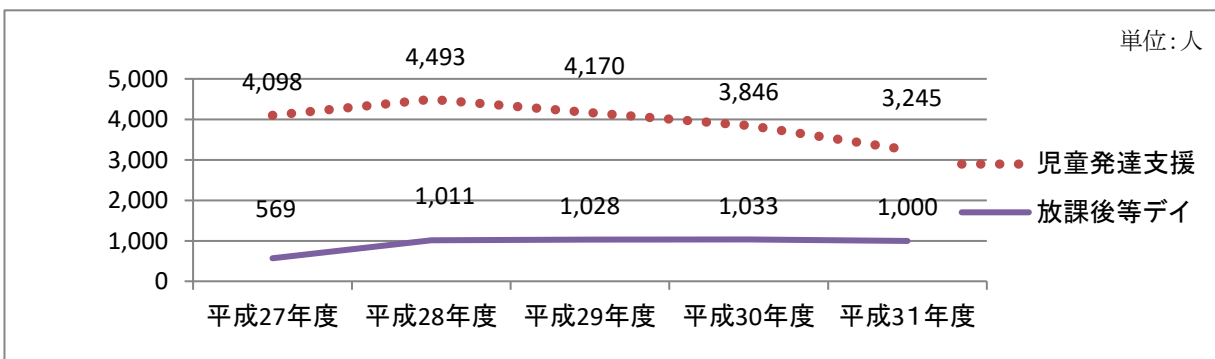
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍者数	72	71	70	67	63	61	59	58	58	56	54	54	743
月末在籍者数	70	70	67	63	61	58	56	58	56	54	53	40	706
登録者数	16	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	21
解除者数	2	1	3	4	2	3	3	0	2	2	1	14	37

児童発達支援(開所日数230日、1日平均出席者は14.1人)

開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用人数	17	19	20	21	17	20	21	20	20	18	18	19	230
1日平均利用人数	204	256	253	272	252	302	312	301	294	286	304	209	3,245
	12.0	13.4	12.6	12.9	14.8	15.1	14.8	15.0	14.7	15.8	16.8	11.0	14.1

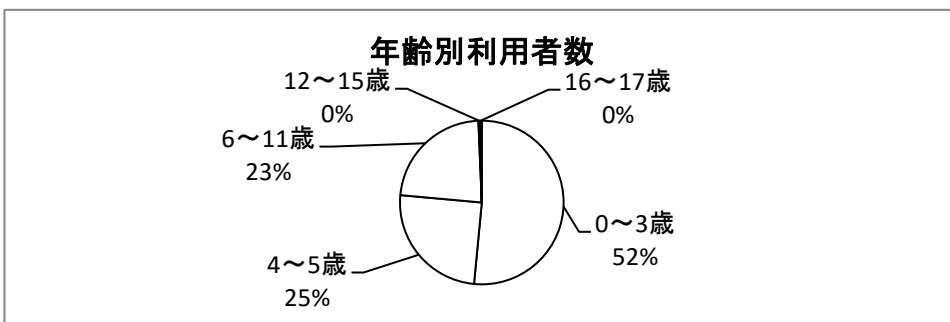
放課後等デイサービス(開所日数229日、1日平均出席者は4.3人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	17	19	20	22	16	19	21	20	20	18	18	19	229
延利用人数	85	95	92	91	57	89	95	86	89	69	72	80	1,000
1日平均利用人数	5.0	5.0	4.6	4.1	3.5	4.6	4.5	4.3	4.4	3.8	4.0	4.2	4.3



(3) 延利用者年齢別・性別状況

	未就学(児童発達支援)		学齢児童以上(放課後等デイサービス)			計
	0～3歳	4～5歳	6～11歳	12～15歳	16～17歳	
男	1,449	608	741	3	7	2,808
女	738	450	231	8	10	1,437
計	2,187	1,058	972	11	17	4,245



(4)相談別状況					
内 訳	児童発達支援 (単位:人)				
		さくらんぼの 利用について	子どもの対応 について (幼稚園)	子どもの対応 について (保育所)	その他
	件数	53	7	6	338
					計 404
内 訳	放課後等デイサービス				
		さくらんぼの 利用について	子どもの対応 について (学校)	子どもの対応 について (学校以外)	その他
	件数	6	10	0	116
					計 132
(5)行事報告					
内 容	実 施 日	行 事 名		場所(園外)・内容	
	4月1日～4日・12日	保護者説明会(児童発達支援)		保育室	
	4月1日～4日・12日	保護者説明会(放課後等デイサービス)		保育室	
	5月24日・27日	グループ懇談会(児童発達支援)		講座室	
	5月7日	保護者説明会(放課後等デイサービス)		相談室	
	6月4日	グループ懇談会(児童発達支援)		講座室	
	6月24日～27日	サポートファイル記入会(児童発達支援)		講座室・保育室	
	7月17日・18日	グループ懇談会(児童発達支援)		保育室	
	7月22日	クッキング保育(児童発達支援)		保育室	
	8月1日・2日・5日	買い物学習(1年生グループ)		ローソン	
	8月6日・7日・21日	買い物学習(2・3年生グループ)		ローソン	
	8月8日・9日・19日	園外学習(1年生グループ)		カップヌードルミュージアム	
	8月14日・16日	クッキング保育(2・3年生グループ)		保育室	
	8月26日	クッキング保育(1年生グループ)		保育室	
	9月30日	保護者説明会(児童発達支援)		講座室	
	10月1日・4日	保護者説明会(児童発達支援)		講座室	
	10月17日	歯科健診		保育室	
	11月7日	こまあそび(児童発達支援)		講座室	
	11月13・15・26～29日	サポートファイル記入会(児童発達支援)		講座室・保育室	
	12月4日・18日	ペアレントトレーニング(児童発達支援)		軽作業室	
	12月9日～13日	懇談会(児童発達支援)		軽作業室	
	12月23日・27日	クッキング保育(児童発達支援)		保育室	
	12月24日～26日	お楽しみ会(児童発達支援)		保育室	
	12月24日～26日	お買い物学習・クッキング保育(放課後等デイサービス)		阪急オアシス・保育室	
	1月17日・29日	ペアレントトレーニング(児童発達支援)		軽作業室	
	2月3日・4日・12日	保護者懇談会(児童発達支援)		軽作業室	
	2月12日	ペアレントトレーニング(児童発達支援)		保育室	
	2月26日～28日	保護者交流会(児童発達支援)		保育室	
	3月23日・26日・27日	お楽しみ会(児童発達支援)		保育室	
	3月24日・25日	クッキング保育(児童発達支援)		保育室	
	3月26日	クッキング保育(3年生グループ)		保育室	
	3月27日	クッキング保育(2年生グループ)		保育室	

H	満寿荘	決算科目	満寿荘
---	-----	------	-----

主な事業内容・成果
身寄りがなく、経済的困窮にある高齢者や身体・知的・精神障がいをもつ高齢者などがいきいきと自立した日常生活が送れるように支援しました。入所者の約5割が要介護・要支援の認定を受けておられ、特定施設として入所者の心身の状況や意向に沿ったサービス計画を作成し、訪問介護・通所介護等の外部サービスを適切に提供しました。入所者の行事への参加やボランティアの受け入れなど、地域住民との交流も積極的に行いました。被虐待高齢者等のセーフティーネットとして、緊急ショートステイを受け入れました。

今後の課題
① 高齢化に伴い、介護の重度化や認知症・精神疾患の利用者への対応の必要性が増加しています。業務等の見直しを進め、サービスの質の向上にむけた取組みが必要です。 ② 災害時における福祉避難所の円滑な運営のため関係機関との連携及び訓練が必要です。 ③ 感染症拡大防止に向けた取組みをさらに進める必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	174,475,916	173,507,295	△ 968,621
受託金収入	57,381,442	61,991,981	4,610,539
介護保険事業収入	33,168,893	30,750,255	△ 2,418,638
老人福祉事業収入	83,896,681	80,705,475	△ 3,191,206
その他	28,900	59,584	30,684
(支 出)	174,788,536	173,507,295	△ 1,281,241
人件費	92,924,908	95,014,584	2,089,676
事業費	30,284,847	29,141,697	△ 1,143,150
事務費	51,578,781	48,940,614	△ 2,638,167
その他	0	410,400	410,400

当期資金収支差額	△ 312,620	0	312,620
前期末資金収支残高	19,202,048	18,889,428	△ 312,620
当期末支払資金残高	18,889,428	18,889,428	0

主な増減理由
① 収入は、介護保険利用者数及び措置人数の減少による減 ② 人件費は、未払い賃金の遡求分による増 ③ 事業費と事務費は、水道光熱費支出の減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
養護老人ホーム(50人定員)/特定施設入居者生活介護事業/訪問介護事業 - 入居者の意思を尊重し、一人ひとりの個別支援計画に基づき、いきいきと豊かな生活が送れるよう支援します。また、必要に応じて介護保険サービスを利用しながら、安心して生活が送れるよう援助します。 【実績と成果】 - 個別サービス計画をもとに、入居者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律、自立に配慮した個別支援を行いました。要介護・要支援の認定を受けた入居者に対して、個別サービス計画をもとに、訪問介護・通所介護などの外部サービスを適切に提供しました。 - 季節行事などを通じ、施設や入居者への理解を促進しながら、地域との交流を深めます。個々の入居者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用し、主体的な生活ができるよう支援します。 【実績と成果】 - 地元幼稚園との七夕まつり、自治会との共催による夏祭り、クラブ活動におけるボランティアグループの定期的な来所を通じ地域との交流を図りました。年1回のアンケートや月1回の行事説明会においては入居者からの意見・要望を聴き取り、必要に応じ成年後見制度等を活用し、入居者主体の支援を行いました。			

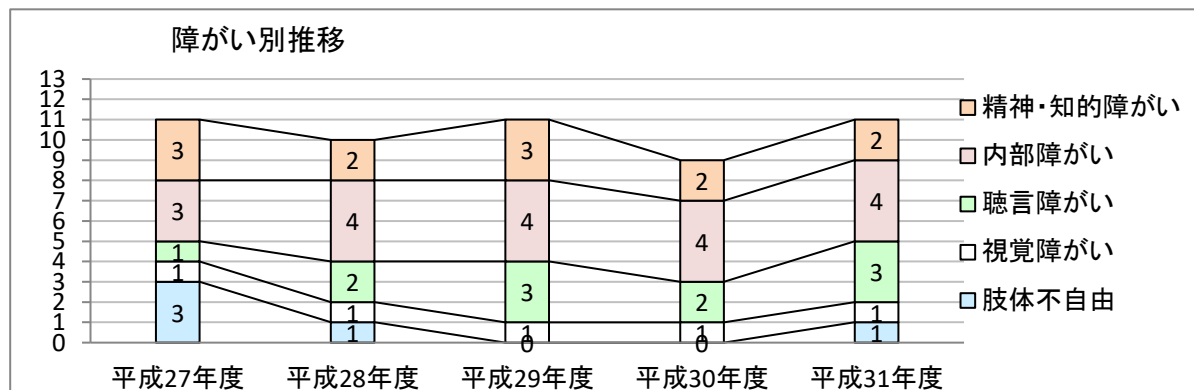
(3)障がい別入所者状況(3月31日現在)

内容

(単位:人)

	肢体不自由	視覚障がい	聴言障がい	内部障がい	精神・知的障がい	計
男	0	0	1	0	0	1
女	1	1	2	4	2	10
計	1	1	3	4	2	11

(単位:人)



(4)理由別退所者状況

内容

(単位:人)

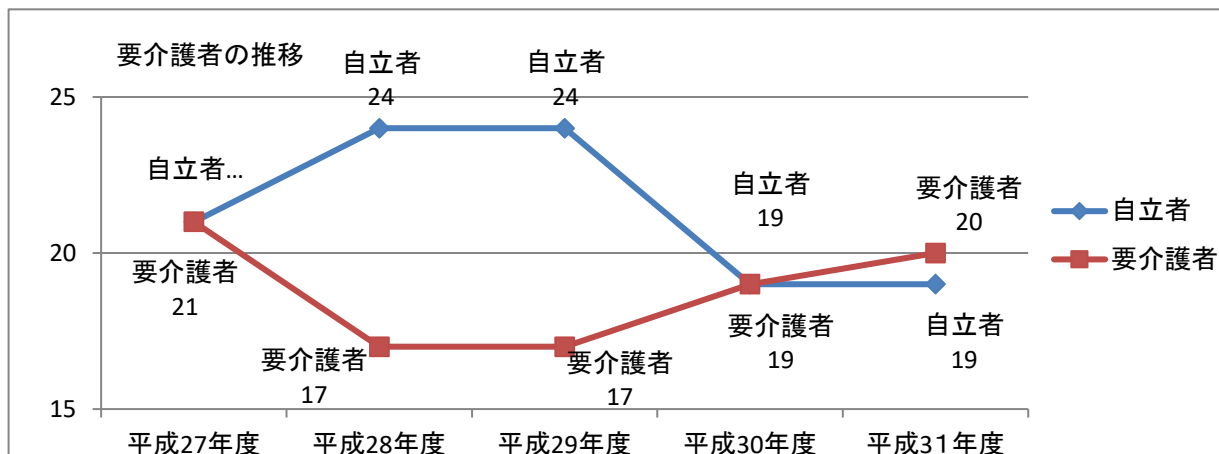
	親族引取	入院治療	特 養	老健施設	死 亡	在 宅	その他	計
男	0	1	0	0	1	0	0	2
女	1	1	1	0	0	0	0	3
計	1	2	1	0	1	0	0	5

(5)介護度別入所者状況(3月31日現在)

内容

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	3	1	0	0	0	4
女	1	2	5	5	3	0	0	16
計	1	2	8	6	3	0	0	20



(6)給食状況

給食数は年間43,317食となり、月別では入院等によって変動しました。栄養量は基準どおりです。また、糖尿病食、減塩食、腎臓食など身体状況に応じた食事を提供しており、四季折々の行事食やにぎり寿司、ご当地メニュー、選択食など趣向を凝らした食事で入所者に喜んでいただきました。

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
給食数		3,429	3,590	3,497	3,733	3,827	3,670	3,652	3,538	3,538	3,390	3,296	3,684	3,570
一日当たり 平均栄養量	カロリー	1,732	1,688	1,682	1,683	1,694	1,717	1,719	1,707	1,684	1,699	1,697	1,697	1,700
	蛋白質 g	60.1	56.3	55.7	56.2	55.2	56.6	56.2	56.9	54.9	58.2	56.2	56.5	56.6
	脂肪 g	41.3	40.3	38.8	40.1	40.4	42.7	43.6	40.3	42.1	40.4	39.8	41.4	40.9
1人1日当たり材料費(円)		837	782	785	799	808	808	832	822	879	769	787	803	809

(7)保健・診療状況

外来診療は延べ1,011人が受診しました。主に内科、整形外科です。

4月は嘱託医による血圧測定、聴打診を、10月は嘱託医のクリニックへ付添いのもと健康診断を実施しました。また、服薬管理が必要な利用者が増えたことにより、延べ105,383人の薬の確認及び仕分けを行いました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	(3単位: 人)	
科 目 別 人 数	内 科	2	3	5	3	0	5	1	2	4	0	1	2	28
	外 科	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	整形外科	0	2	3	0	3	2	2	2	2	1	1	0	18
	脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	4
	泌尿器科	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	皮 膚 科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	眼 科	0	0	1	0	2	2	0	1	2	1	1	0	10
	腎臓内科	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	8
	その他	10	0	3	4	1	0	3	3	2	4	5	3	38
	嘱託内科	71	26	60	59	66	65	49	58	67	28	57	60	666
	嘱託心療内科	13	13	13	27	26	27	13	26	12	25	11	24	230
合 計	98	45	87	98	98	103	69	92	93	61	77	90	1,011	
病院入院者		2	3	3	3	4	3	4	2	4	2	2	2	34
医 務 室 業 務	投薬準備	7,686	9,596	9,871	9,667	8,100	10,394	11,362	8,135	8,718	8,343	7,024	6,487	105,383
	バイタル測定	214	233	218	222	253	239	204	164	174	156	153	219	2,449
	身体測定	37	0	0	35	39	0	36	0	0	37	1	0	185
	酸素濃度測定	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	処置	22	30	63	26	28	32	25	23	37	37	27	44	394
	検査	0	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	5
	遠赤外線照射	19	31	45	38	36	21	22	14	22	18	20	29	315
	予防接種	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	36
	健康診断	37	0	0	0	0	18	19	0	0	0	0	0	74
	その他	0	7	8	2	9	3	8	1	1	0	5	8	52
	合 計	8,015	9,897	10,205	9,993	8,466	10,707	11,676	8,374	8,952	8,593	7,230	6,787	108,895

(8)年金状況(3月31日現在)

(单位：人)

年金受給者	30
無年金者	9

(9) 葬祭等状況

(单位:人)

[illegible]

(10) 来訪者状況

(単位：人)

内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者親族	11	9	9	7	11	5	7	4	8	12	4	2	89
入所者知人	2	1	2	3	1	0	1	0	3	1	0	0	14
ボランティア	26	24	20	21	14	22	19	19	26	22	27	3	243
行事参加者	0	12	50	60	600	32	0	80	70	0	0	1	905
その他	8	9	3	19	9	7	4	12	10	9	9	0	99
合 計	47	55	84	110	635	66	31	115	117	44	40	6	1,350

※その他・・・幼稚園児、トライやるウィーク中学生、福祉事務所、地域包括、
病院のケースワーカー、施設の相談員など

(11) ボランティアの状況

内容

ボランティア名	活 動 内 容
七 種 清	月1回来所し、理髪を実施
吟 睦 会	月1回来所し、詩吟・カラオケを指導
川西市いけばな協会	年2回行事前に来所し、花を生ける
野田 虚真	月1回来所し、生花を指導
川西市茶道協会	年1回来所し、お手前・作法の実施
矢野 啓子	月1回来所し、習字を指導
レインボー	年1回来所し、施設内の清掃を実施
新井 晋	月1回来所し、俳句を指導
少林寺川西中部支部	年1回来所し、入所者と歌やゲームなどの交流をしたり、施設内の清掃を実施
伊藤 茂代	月1回来所し、茶道を指導
若曾根 初恵	月3回来所し、施設内の清掃を実施
日赤奉仕団	年1回来所し、健康体操を実施
尾市 雅子	月1回来所し、コーラスを指導
写真同好会	園内の写真展示
小林 洋子	月1回来所し、レクリエーションを実施
中野 新子	週2回来所し、シーツ交換や洗濯などの生活支援を実施

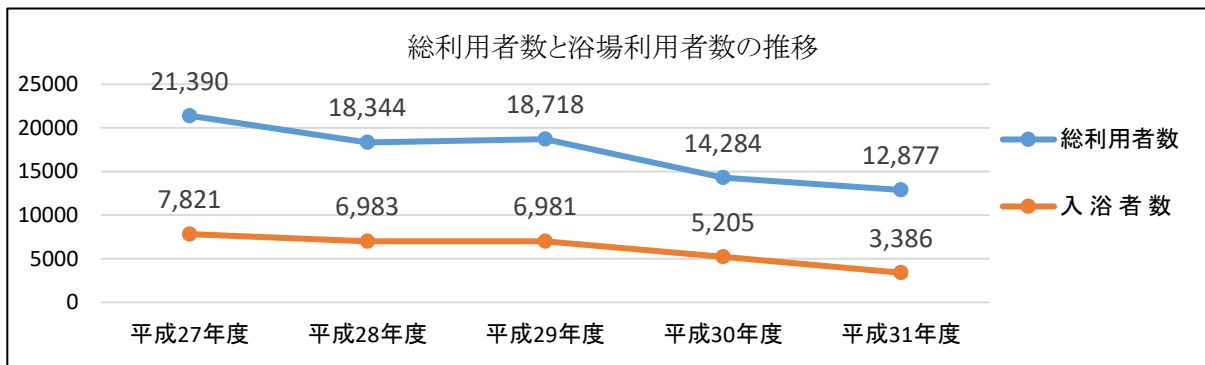
(12) 月別行事

内容

- 4月 花見、自治会総会
5月 少林寺拳法交流会
6月 満寿荘まつり(創立記念行事)、川西市茶道協会、川西市いけばな協会、買物
7月 セタ祭(地域の幼稚園児との交流)、グルメツアー
8月 盆踊り(地域の自治会と共催)
9月 偲び献花、日赤奉仕団、敬老行事(ハッピーハッピーの会)
10月 地域の幼稚園児との交流、バーベキュー大会(雨天中止)
11月 買い物ツアー
12月 クリスマス喫茶
1月 新年ドライブ(多田神社)、新年会
2月 節分祭、にぎり寿司
3月 ひな祭り茶会
- ・その他の行事
- 誕生会・消防避難訓練・注文買物・トライやるウィーク・選択食・行事説明会・ラジオ体操
介護予防運動・栄養健康教室
- ・クラブ活動
- 生花・茶道・習字・コーラス・農園・俳句・吟睦会・レクリエーション・グラウンドゴルフ・カラ
オケ

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
134	454	390	466	347	332	17	57	366	383	418	22	3,386



(2) 趣味の会利用状況

	会員数(人)	活動回数(回)	参加人数(人)
囲碁1	37	43	938
囲碁2	22	43	611
囲碁3	33	36	681
囲碁研究会	17	32	420
将棋	28	36	590
絵手紙(ミモザ)	12	18	107
和太鼓(はごろも)	11	21	137
自彊術	41	22	544
謡曲	3	18	54
ゲートボール2	6	53	273
カラオケ(北摂会)	10	12	92
カラオケ(友愛会)	12	20	168
カラオケ(りんどう)	14	20	165
カラオケ(カトレア)	17	20	255
カラオケ(楽遊)	10	19	165
茶道	9	19	112
大正琴	6	21	103
表装	6	21	89
川西シルバー童唱会	20	22	269
男声合唱(コーロ・コンパニー)	13	20	216
漢詩吟詠会	7	23	128
パソコン(ミッキーマウス)	7	19	63
合唱(爺々ダックス)	6	2	12
書道(のぎく)	8	16	94
楽しむフラダンス	12	22	189
健康体操(一の会)	44	12	284
グランドゴルフ(ことぶき会)	22	33	412
計	433	643	7,171

(3) 定期講座受講状況

※ 今年度は定期講座の開催はありません。

(单位：人)

[illegible]

(4) その他行事等の開催状況

(単位：人)

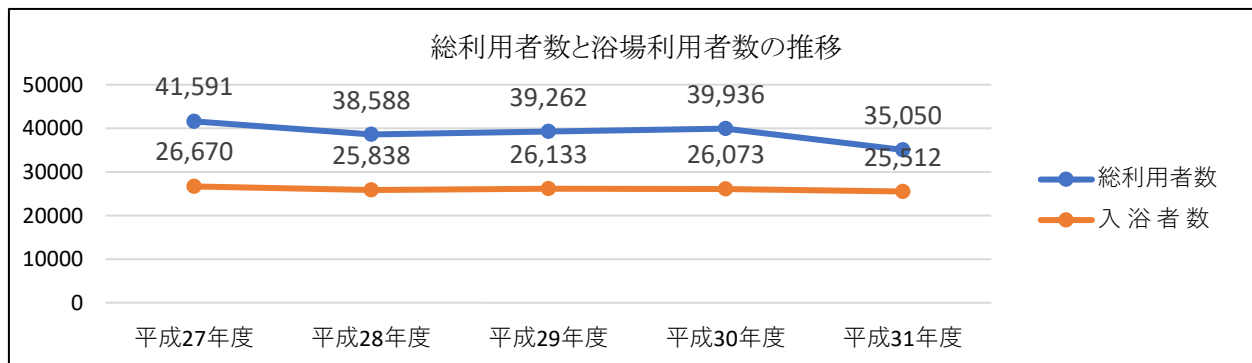
開催月	開催内容	参加人数
5月	脳と身体の機能アップ体操「脳活性化」	33
6月	鍼灸師が教える！症状別おすすめツボ・おすすめ体操「肩こり」	15
7月	登録グループ代表者会議(和輪笑まつり打ち合わせ)	17
	脳と身体の機能アップ体操「肩こり予防」	20
	鍼灸師が教える！症状別おすすめツボ・おすすめ体操「腰痛」	30
8月	鍼灸師が教える！症状別おすすめツボ・おすすめ体操「ひざ痛」	19
9月	鍼灸師が教える！症状別おすすめツボ・おすすめ体操「肩関節痛」	29
	手作り講座「たまごの殻で干支づくり」	16
10月	第12回 和輪笑まつり(準備・開催2日)	449
11月	脳と身体の機能アップ体操「腰痛予防」	20
12月	手作り講座「たまごの殻で干支づくり」(2回目)	2
	健康講座「転ばない身体づくり」ベリタス病院 理学療法士	15
1月	脳と身体の機能アップ体操「転倒予防」	16
計		681

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

個人利用者数(29,720 人)の内、浴場利用者数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2,510	2,153	2,272	2,545	2,295	2,245	2,483	2,428	2,200	2,092	2,174	115	25,512



(2) 趣味の会利用人数

	会員数(人)	活動回数(回)	参加人数(人)
俳句	12	22	225
生け花	13	17	169
GH盆踊り連	29	8	179
書道	10	22	144
卓球 福祉	24	23	274
卓球 りんどう	31	22	522
社交ダンス 福祉	28	21	373
フォークダンス	21	22	481
気功体操	26	21	402
墨彩画	9	23	151
健康麻雀の会	61	19	949
民舞	11	13	64
社交ダンス アンジェリカ	23	12	128
計	298	245	4,061

(3) 定期講座受講状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
囲碁初級講座	18	15	14	12	14	13	13	14	0	13	11	0	137
パソコン教室	10	8	8										26
脳トレ		3											3
きずな							4						4
													0
													0
計	28	26	22	12	14	13	17	14	0	13	11	0	170

(4) その他行事等の開催状況

(単位：人)

開催月	開催内容	参加人数
4～3月	地区福祉委員会(貸室月1回)	200
4～12月	ゆう倶楽部(ギター・マンドリン演奏会・ハワイアンコンサート・ハンドチャイム演奏会等)	242
6月	健康講座(健康出前講座「膝関節の病気のお話」)	35
7月	健康講座(気功体操)	18
10～2月	出前講座(ふるさと納税について・消費者被害防止啓発アカンマン等・ゆう倶楽部共催)	72
11月	趣味の会活動展	117
4～2月	健康体操(月1回)	257
6～2月	地域包括いきいき体操	149
2月	懐メロと軽体操の会	9
計		1,099

13	老人福祉センター	決算科目	久代老人福祉センター
----	----------	------	------------

主な事業内容・成果
市内在住の60歳以上の老人を対象に健康の増進、教養の向上を図ることを目的に、老人福祉センターB型の事業を実施しました。児童センターとの併設である特色を活かし、幼児や児童等との世代間交流行事を実施し、地域の高齢者と交流を深めました。昨年度好評だった定期講座のいきいき歌声講座やピラティスは継続し、また、新たに趣味の会のグループが1つ増え、利用者が増えました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月より主催行事中止に続き休館となり、総利用者数は、昨年度より減少しました。

今後の課題
① 利用者全体に対して、男性が少ないことから男性が増える事業等の検討が必要です。また、新たな利用者確保のため、ポスター掲示やロコミの依頼などセンターの啓発を行うとともに、新しい取組も必要です。
② 施設利用者の高齢化が進むにつれて、体調の変化などを理由とする利用者の減少が続いており、利用者を増やしていくために多様なニーズに柔軟に対応していく必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	12,465,964	21,389,888	8,923,924
受託金収入	12,462,464	21,378,574	8,916,110
その他	3,500	11,314	7,814
(支 出)	12,465,964	21,389,888	8,923,924
人件費	5,888,134	17,173,845	11,285,711
事業費	942,438	1,449,619	507,181
事務費	1,365,619	2,766,424	1,400,805
拠点区分間繰入金支出	4,269,773		△ 4,269,773
その他			

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高	1,662,257	1,662,257	0
当期末支払資金残高	1,662,257	1,662,257	0

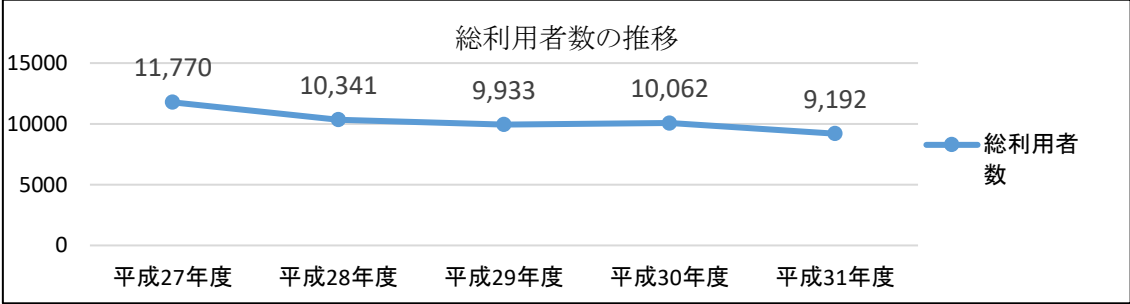
主な増減理由
① 受託金収入は、総合職員異動対応による増
② 人件費は、総合職員異動による支出増
③ 拠点区分間繰入金支出は、本年度は支出なく減

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4										
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①										
【利用者への支援内容】													
・ 個人利用者(電磁治療器利用者等)への支援													
・ 趣味の会への支援													
・ 児童クラブの指導(囲碁クラブ、大正琴教室)													
・ 各種教室													
・ 健康相談(健康相談事業の講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)													
【実績と成果】													
(1)利用者状況													
(単位：人)													
個人利用者数		南部地区			中部地区			北部地区			全地区		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	60歳代	78	697	775	0	0	0	0	0	0	78	697	775
	70歳代	271	1,305	1,576	0	0	0	0	0	0	271	1,305	1,576
	80歳代	387	824	1,211	0	0	0	0	0	0	387	824	1,211
	90歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	736	2,826	3,562	0	0	0	0	0	0	736	2,826	3,562
	定期講座			470			世代間交流			280			
	趣味の会			4,491			各種行事			134			
	各種教室			182			その他(貸し部屋等)			73			
総利用人数				9,192									

- ・ 主な個人利用は、スカイウェル(交流電圧電位治療器)利用者です。グループは、20グループの趣味の会が利用され、各々生きがい作りや健康のための定期的な活動となっています。また、久代児童センターとの世代間交流事業では、囲碁や大正琴を児童に指導する各種教室などを実施しました。年度末時期のコロナウィルス感染症予防の為の休館により、利用数が例年をかなり下回る結果となりました。

(単位:人)



(2) 趣味の会利用人数

グループ名	会員数(人)	活動回数(回)	参加人数(人)
いきいき百歳体操	15	38	423
囲碁同好会	11	43	330
エコの会(エコクラフト)	9	21	136
MTC(卓球)	18	44	422
歌謡ダンス同好会	10	39	323
吟好会(詩吟)	5	23	89
銀唱会(カラオケ)	10	19	181
碁友会(囲碁)	7	44	158
シニアヨガ	20	21	358
将棋同好会	14	44	347
すみれ会	10	20	155
センター会(カラオケ)	10	22	139
大正琴七草グループ	8	18	152
楽しむフラの会(フラダンス)	10	23	174
ダーツ愛好会	18	21	244
なでしこ会(生花)	8	10	77
はつらつ会(体操)	19	21	322
ひまわり(骨盤体操)	19	22	378
南りんどう(卓球)A	7	36	82
南りんどう(卓球)B	7	1	1
計	235	530	4,491

(2) 福祉施設機能の積極的活用

取組項目 ③

【年間事業計画】

- ・ 定期講座(いきいき歌声講座年10/10回、ピラティス年16/18回)
- ・ 健康体操(月1回)
- ・ その他の行事(敬老のつどい、カラオケグループ発表会、どんとまつり等)

【実績と成果】

- ・ 今年度の定期講座は、人気講座となり、年470人の参加者がありました。
- ・ 健康体操は、毎年安定した利用があり、年182人の参加者がありました。
- ・ 敬老のつどいは、世代間交流事業の位置づけで、幼児との交流と趣味の会の舞台発表を行い、145人の参加がありました。発表は、練習意欲に繋がっています。児童センター事業のハロウィンやクリスマス会、節分の会に参加していただき、こども達と交流することができました。

(3) 定期講座等受講状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いきいき歌声講座	14	13	13	14	11	17	17	18	17	17	0	0	151
ピラティス	32	28	32	0	0	45	46	49	0	44	43	0	319
健康体操	23	17	19	24	14	15	18	13	13	13	13	0	182
計	69	58	64	38	25	77	81	80	30	74	56	0	652

(4) 世代間交流事業状況

教室名	実施日	実施回数	内容	参加人数
囲碁教室	月2回程度	19	囲碁同好会の方による指導	38
大正琴教室	月2回程度	11	大正琴の先生・同好会の方の指導	41
敬老のつどい	9月27日	1	趣味の会の舞台発表	145
赤ちゃん交流会	月2回程度	15	0、1歳児との交流、見守り	15
パパと遊ぼう	年数回程度	3	幼児たちの見守り	3
中高生と赤ちゃんのふれあい交流会	8月7日	1	0、1歳児と中高生の交流の見守り	2
ハロウィン	10月28日	1	仮装して幼児にお菓子を配る	18
クリスマス会	12月20日	1	ハーモニカ演奏、サンタクロースに扮してお手伝い。	16
節分の会	1月30日	1	鬼の面作り等のお手伝い	2
計				280

(5) その他行事等の開催状況

各種行事・その他(貸し部屋等)の開催内容は下記のようにになりました。地域の老人クラブの方が積極的に利用していただきました。

(単位：人)

開催月	開催内容	参加人数
5月	南包括健康事業(認知症予防「太鼓」)久代老人会ファインクラブ)	17
6月	趣味の会(ダーツ愛好会)勉強会	15
8月	敬老のつどい代表者会議	9
11月	どんとまつり(作品展とバラエティーショー出演)	82
11月	南包括健康事業(フレイルの予防)	15
11月	久代老人会ファインクラブ(ハンドマッサージ社協出前講座)	26
1月	カラオケ発表会(趣味の会2グループ、個人参加)	43
計		207

J1	子育て支援事業	決算科目	久代児童センター
----	---------	------	----------

主な事業内容・成果
児童福祉法及び川西市条例に基づき、市内の児童を対象に健全な遊びを通して体力増進を図り、社会適応能力を高め、情操を豊かにするための支援を行いました。児童クラブ・幼児クラブ・母親クラブなどを実施し、地域の子育て支援へのニーズに対応しました。老人福祉センターとの併設である特色を活かし、地域の高齢者との世代間交流行事を実施し、心の交流を深めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館、主催事業中止となり利用者数は減少しています。

今後の課題
① 産休育休中の利用や、利用者を取り巻く環境の多様化に伴い、事業を見直していく必要があります。また、職員数が減っているため、事業内容についても変更が必要となります。 ② 施設設備は経年劣化が進んでいるため、計画的な修繕が必要です。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	19,935,831	16,362,669	△ 3,573,162
受託収入	15,621,558	16,233,019	611,461
その他	44,500	129,650	85,150
拠点区分間繰入金収入	4,269,773		△ 4,269,773
(支 出)	19,935,831	16,362,669	△ 3,573,162
人件費	17,035,403	12,928,603	△ 4,106,800
事業費	1,305,170	1,595,587	290,417
事務費	1,595,258	1,838,479	243,221

当期資金収支差額	0	0	0
前期末資金収支残高	1,694,241	1,694,241	0
当期末支払資金残高	1,694,241	1,694,241	0

主な増減理由
① 拠点区分間繰入金収入は、人事異動による支出減
② 人件費は、人事異動による支出減
③ 事業費は、備品の寄贈による支出増
④ 事務費は、消耗品の増加による支出増

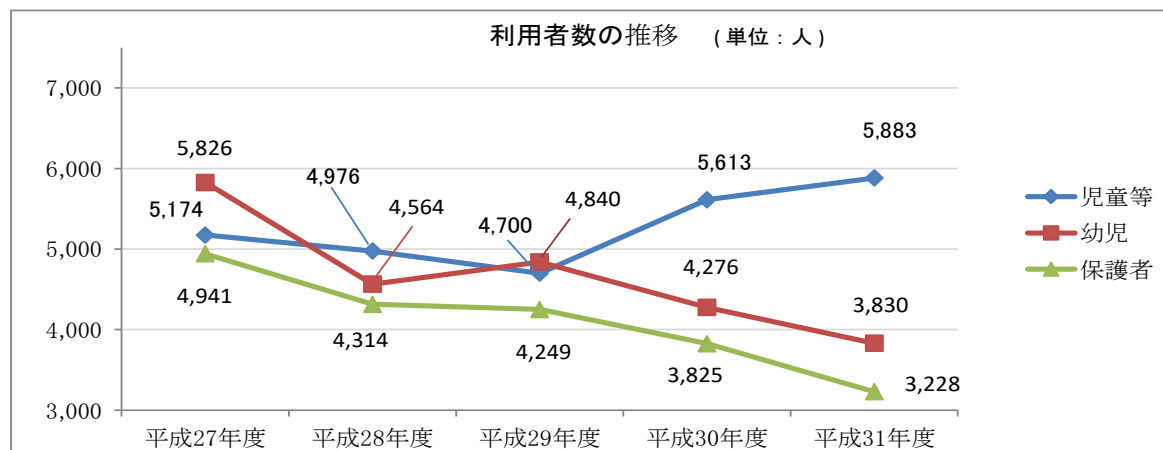
平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	地域に根ざす施設運営、サービス提供	活動項目	3-4
(1)	施設利用者への地域における生活支援体制の構築	取組項目	①
【利用者への支援内容】 - 児童クラブの実施(囲碁クラブ・詩吟教室・大正琴教室等) - 幼児クラブの実施(のびのびクラブ、にこにこひろば、赤ちゃん交流会、パパと遊ぼう等) - 母親クラブの実施(お菓子作り、ヨガ、骨盤体操等の母親リフレッシュ講座) - 世代間交流事業の実施(囲碁、大正琴、赤ちゃん交流会、ハロウィン、クリスマス、節分の会) - その他の行事の実施(プール、夏まつり、敬老のつどい) 【実績と成果】 18歳未満の児童を対象に、遊び場を提供するとともに、児童クラブは各種教室を開催しました。特に、日常的に訪れる小学生の利用が目立ちました。 - 入園前1年コースののびのびクラブは、申し込みが増え、利用者数は延べ1,271人でした。 - パパと遊ぼう、マタニティ交流会、中高生と赤ちゃんのふれあい交流会、中高生のお菓子作り、(小学校)3年生からの料理教室などは継続実施しました。 - 夏まつりは例年以上に地域の方にもボランティアとしてお手伝いいただき、521人の参加者で盛況でした。プールは、人的体制が取れず、日数を減らして実施しました。延べ185人の参加がありましたが、天候等の影響もあり、参加者数は昨年より139人の減となっています。 - 新たな試みとして夏休みに小学生以下を対象にお買い物ごっこ、冬休みに上映会を実施しました。			

1. 利用者状況

(単位:人)

		男	女	計	(単位:人)			
児 童 等	1年生	358	183	541	幼 児	1,870	1,960	3,830
	2年生	242	135	377				
	3年生	207	247	454	保 護 者	131	3,097	3,228
	4年生	433	861	1,294				
	5年生	467	478	945				
	6年生	668	1,143	1,811				
	中学・高校	292	169	461				
	小 計	2,667	3,216	5,883	合 計	4,668	8,273	12,941



- 施設内での行事や企画(クラブの実施)を実施するにあたって、地域のボランティア団体の協力を得て、児童、乳幼児、母親、高齢者等の世代間交流にもつながるよう支援しました。

【実績と成果】

- 世代間交流事業として、囲碁クラブや大正琴教室のほか季節の行事のハロウィン、クリスマス会や節分の会などを実施しました。ハロウィンでは仮装しての参加で、楽しいひとときとなりました。また、老人福祉センター行事の敬老のつどいなどにも幼児の参加がありました。新型コロナウイルス拡大感染防止により自主事業が中止となったため幼児・保護者の利用人数が昨年度より少なくなりました。

(2) 地域の福祉拠点としての取組み

取組項目 ②

- こども園、幼稚園、小学校、中学校、高校と必要に応じて連携し、施設行事への参加協力をいただき、また、どんと祭りなど地域行事に参し地域の中で必要とされる施設をめざしました。

【実績と成果】

- 幼稚園で遊ぶは、久代幼稚園の協力のもと、次年就園の皆様と久代幼稚園に赴き実施いたしました。久代児童センターでの夏まつりは、地区福祉委員や老人福祉センター利用者からのボランティア、北陵高校女子ダンス部の協力を得るなどしており、久代小・加茂小学校から多くの児童に楽しんでいただきました。川西南・明峰中学校生のトライやるウィーク受入れや緑台高校や北陵高校の高校生インターシップ参加者の実習実施など、市内の学校との連携を心がけました。また、地域のどんとまつりの舞台発表に幼児のおゆうぎと児童の大正琴で参加し、地域の皆様と協力して行事を行うことができました。

(3) 福祉施設機能の積極的活用

取組項目 ③

- 子育て支援の観点から、子育てグループや団体の施設の利用は、事業に支障のない範囲での利用は可としています。

【実績と成果】

- 個人や団体での部屋貸しのような形での利用はありませんでしたが、近隣保育所より希望があり、事業に参加する形で受け入れることができました。また、2歳児を中心に複数回の利用がありました。

J2	子育て支援事業	決算科目	ファミリーサポートセンター事業
----	---------	------	-----------------

主な事業内容・成果
「子育ての応援をしてほしい」(依頼会員)、「子育ての応援をしたい」(協力会員)、「子育ての応援をしてほしい、応援もしたい」(両方会員)という人が会員に登録し、地域の中で育児の相互援助活動を行う会員制の組織です。ファミサポの理解者、協力者を増やすために、PTA常任理事会等で積極的にPRを行いました。 また、講習会の内容の充実を図るとともに、センター運営やサポート内容の検討、見直しを行い、会員への周知も行いました。昨年に引き続き、より安心、安全なサポートの充実に努めました。

今後の課題
今年度は会員整理をしたので、人数が昨年より多く減っています。各機関と連携しながら、またサブリーダーの力も借りながら、地域の中で安全で安心した子育ての相互援助活動が行えるよう、魅力ある内容の講習会や研修等を実施し、資質の向上をめざします。また、これまでつながりのなかった層への働きかけを通して、協力会員増へ取組みを進める必要があります。

資金収支計算書決算額 (単位:円)

科目	平成30年度	平成31年度	増減
(収 入)	8,200,706	8,073,684	△ 127,022
受託金収入	8,200,706	8,070,996	△ 129,710
その他		2,688	
(支 出)	8,203,897	8,073,710	△ 130,187
人件費	6,207,118	6,231,848	24,730
事業費	906,255	757,600	△ 148,655
事務費	1,030,524	1,024,262	△ 6,262
その他	60,000	60,000	0

当期資金収支差額	△ 3,191	△ 26	3,165
前期末資金収支残高	3,217	26	△ 3,191
当期末支払資金残高	26	0	△ 26

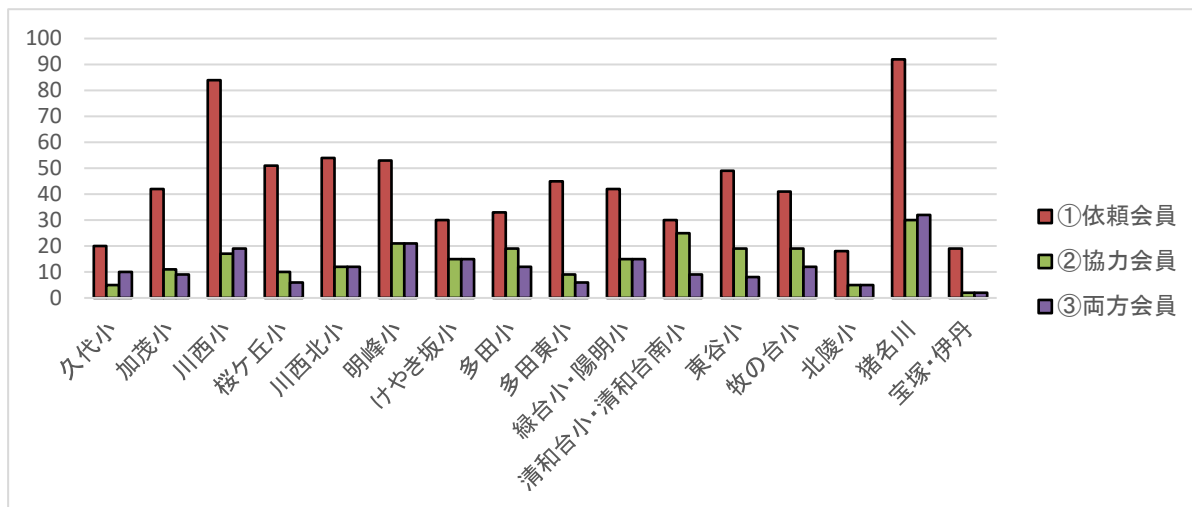
主な増減理由
① 事業費は、会員数、活動回数の変動に伴う減 ② 事務費は、啓発活動の充実に伴う増

平成31年度事業報告 ※第4次地域福祉推進計画の体系に位置づけられた活動項目ごとに記載しています。

1	各活動における人材発掘と育成	活動項目	2-1		
(1)	幅広い世代が活動できる場づくり	取組項目	③		
様々な子育てに関する依頼に対応していくために、コミュニティ組織等の地域組織や団体と連携し、ファミリーサポートセンター事業の周知を図りながら、協力会員の拡充につながるよう新たな人材の発掘と育成に努めます。					
【実績と成果】					
昨年と同様、ファミサポ通信や市社協ホームページで情報発信するとともに、今年はPTA常任理事会でのPRやサブリーダーからの声掛けなど意欲的に行ないました。 子どもを預かる側(協力会員、両方会員)が地域によって差がありますが、じわじわと増えています。今後も協力・両方会員の増に向けた取組みを進める必要があります。					
地域別会員登録者数					
	地 区	依頼会員	協力会員	両方会員	合 計
川西市	久代小	20	5	10	35
	加茂小	42	11	9	62
	川西小	84	17	19	120
	桜ヶ丘小	51	10	6	67
	川西北小	54	12	12	78
	明峰小	53	21	21	95
	けやき坂小	30	15	15	60
	多田小	33	19	12	64

川 西 市	多田東小	45	9	6	60
	緑台小・陽明小	42	15	15	72
	清和台小・清和台南	30	25	9	64
	東谷小	49	19	8	76
	牧の台小	41	19	12	72
	北陵小	18	5	5	28
猪名川		92	30	32	154
宝塚・伊丹		19	2	2	23
合 計		703	234	193	1,130
入 会		74	9	6	89
退 会		88	13	6	107

地域別会員登録者数(グラフ)



講習会の開催

開 催 日	内 容	参加者(人)
5月9日	見つけて防ごうサポート中の事故 安全講習1回目	4
5月30日	第1回講習会「子どもが伸びる本当のやさしさ」	24
6月6日	ステップアップ研修 1回目 救急救命講習	20
7月5日	見つけて防ごうサポート中の事故 安全講習2回目	3
8月5日	第2回講習会 親子クッキング	32
9月10日	見つけて防ごうサポート中の事故 安全講習3回目	1
10月17日	ステップアップ研修2回目 小児看護&AED講習	8
10月29日	子育て支援者講座「未来を担う子どもたち」	43
1月14日	見つけて防ごうサポート中の事故 安全講習4回目	1
1月29日	第3回講習会「絵本の読み聞かせと茶話会」	20
2月26日	子育て支援講座「プレファミ」(市と共催)	12
3月10日	見つけて防ごうサポート中の事故 安全講習5回目	0

※安全講習5回目は新型コロナウイルスの影響で中止

交流会の開催

開 催 日	内 容	参加者(人)
7月10日	感謝祭	27
12月8日	クリスマス会	194

2	福祉情報の受発信	活動項目	2-2												
(1)	ホームページや広報紙、情報紙などの充実	取組項目	③												
・ファミリーサポートセンターを多くの方に知ってもらい、地域における子育ての援助活動が円滑に推進できるよう、魅力ある情報紙等を作成し、発信します。															
【実績と成果】															
・ファミサポ通信の内容の充実に努めるとともに発行部数を昨年と同様とし、より多くの方に情報をお届けしました。また、今年も子育て支援関係NPO主催イベントに参画し、市の保育園、こども園、幼稚園、小学校にも通信の配布を行い、これまでつながりのなかった方々にPRを行いました。年3回のファミサポ通信の発行と市社協ホームページ、しおりの改定等、情報発信や啓発の推進に取り組みました。															
広報紙(ファミリーサポート通信)の発行															
<table><tr><td>号数</td><td>発行月</td><td>部数</td></tr><tr><td>第47号</td><td>6月</td><td>1,500</td></tr><tr><td>第48号</td><td>10月</td><td>2,000</td></tr><tr><td>第49号</td><td>1月</td><td>2,000</td></tr></table>				号数	発行月	部数	第47号	6月	1,500	第48号	10月	2,000	第49号	1月	2,000
号数	発行月	部数													
第47号	6月	1,500													
第48号	10月	2,000													
第49号	1月	2,000													

3	社協らしい、地域福祉との協働による連携強化型相談窓口機能の整備	活動項目	3-1																																		
(1)	多様な担い手との連携・協働による切れ目のない支援体制づくり	取組項目	③																																		
・ 育児と介護など同時に直面する世帯の複合化した課題等に対し、地域の様々な資源を活用し、関係機関と連携しながら、世帯の自立を支援します。 【実績と成果】 ・ 昨年と同様、かわにし子育てフェスティバルやいながわキッズフェスティバル、子育て支援のNPO主催イベント等に参加し、多様な担い手との連携・協働に努めました。これらの取組みにより、行政や関係機関との連携・協働は広がりましたが、今後は自治会やコミュニティ、福祉委員会などの地域組織とのつながりが必要です。 子育て関係行事等への参画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月12日</td> <td>猪名川町子育てキッズフェスティバル</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>10月27日</td> <td>ファミリーハロウィン☆ブーケ2019にPRのための参加</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>アドバイザー全国交流会・講習会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>11月10日</td> <td>川西市主催 かわにし子育てフェスティバル</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td>ファミリーサポートセンター事業の広域連携にかかるワーキング会議</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1月9日</td> <td>市立幼稚園園長会にてPRのための説明</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1月15日</td> <td>民間保育園、子ども園、公立保育所合同園長会にてPRのための説明</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1月16日</td> <td>学童の先生の研修会にてPRのための説明</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2月12日</td> <td>PTA常任理事会にてPRのための説明</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> サブリーダー会との連絡会議開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催</th> <th>参加者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> ※ 新型コロナウイルスの影響で、3月のサブリーダー会は中止				開催日	内 容	参加者(人)	5月12日	猪名川町子育てキッズフェスティバル	5	10月27日	ファミリーハロウィン☆ブーケ2019にPRのための参加	3	10月4日	アドバイザー全国交流会・講習会	2	11月10日	川西市主催 かわにし子育てフェスティバル	7	11月15日	ファミリーサポートセンター事業の広域連携にかかるワーキング会議	4	1月9日	市立幼稚園園長会にてPRのための説明	2	1月15日	民間保育園、子ども園、公立保育所合同園長会にてPRのための説明	2	1月16日	学童の先生の研修会にてPRのための説明	2	2月12日	PTA常任理事会にてPRのための説明	2	開催	参加者(人)	10回	105
開催日	内 容	参加者(人)																																			
5月12日	猪名川町子育てキッズフェスティバル	5																																			
10月27日	ファミリーハロウィン☆ブーケ2019にPRのための参加	3																																			
10月4日	アドバイザー全国交流会・講習会	2																																			
11月10日	川西市主催 かわにし子育てフェスティバル	7																																			
11月15日	ファミリーサポートセンター事業の広域連携にかかるワーキング会議	4																																			
1月9日	市立幼稚園園長会にてPRのための説明	2																																			
1月15日	民間保育園、子ども園、公立保育所合同園長会にてPRのための説明	2																																			
1月16日	学童の先生の研修会にてPRのための説明	2																																			
2月12日	PTA常任理事会にてPRのための説明	2																																			
開催	参加者(人)																																				
10回	105																																				

4	ほっとかない、あきらめない支援の強化	活動項目	3-2
(1)	社会的孤立などの課題の対応	取組項目	④

- ・既存の制度やサービスでは充足できない子育てに関するニーズや課題に対し、関係機関と連携しながら地域住民ならではの支援につながるよう、きめ細やかな調整に努めます。

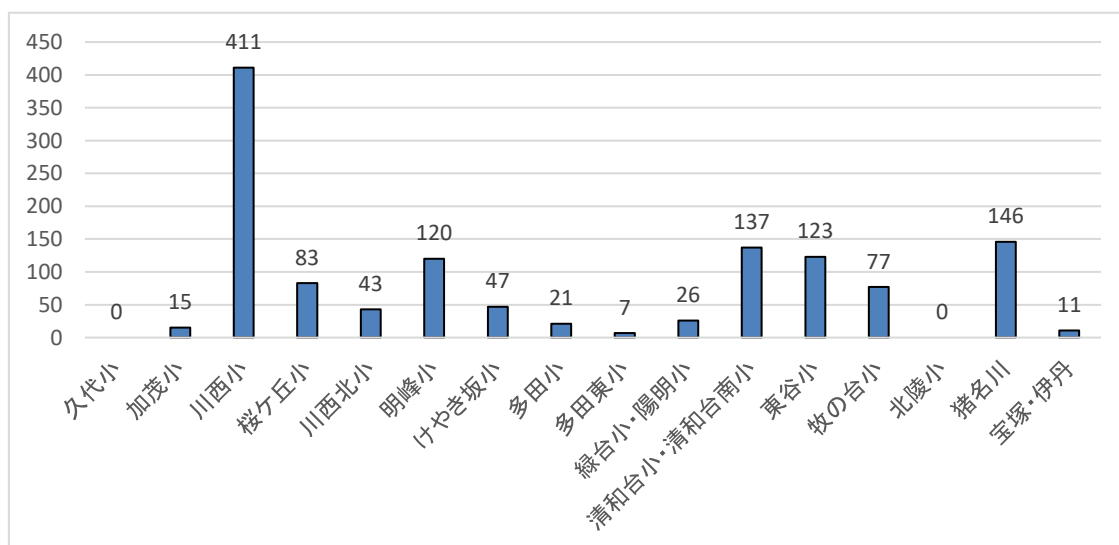
【実績と成果】

- ・川西市こども・若者ステーション、川西さくら園等からの相談があり、関係機関と連携しながらファミサポとして可能なサポートにつなげる努力をしました。今後も、近くに住む地域住民ならではの支援が展開できるよう調整を行う必要があります。

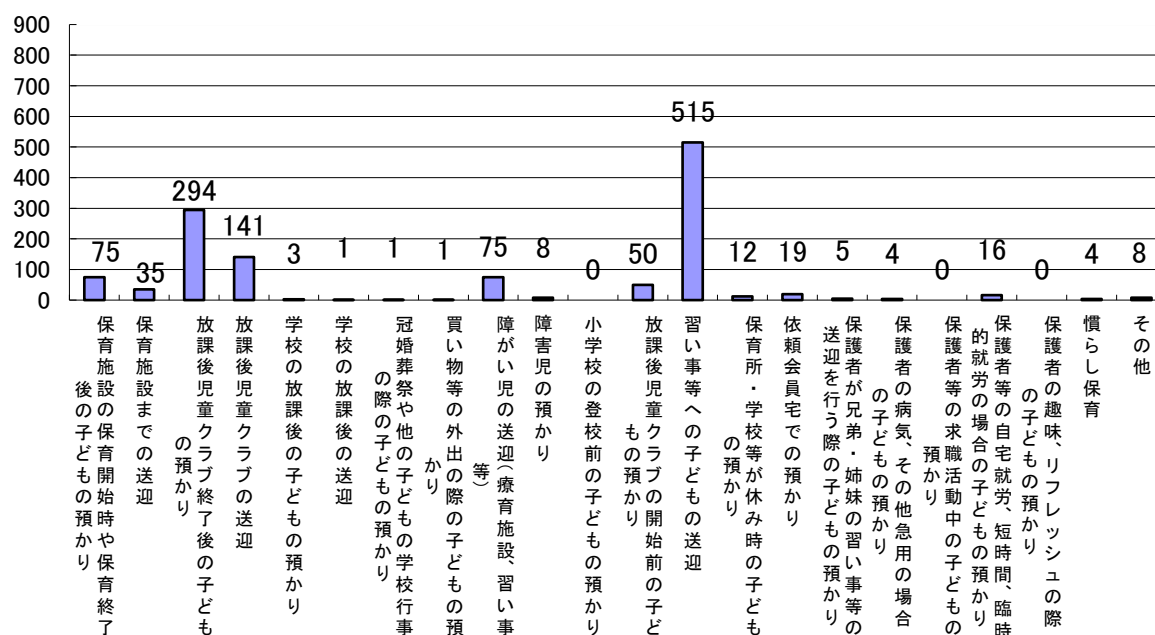
地域別依頼受付数と活動件数

地域区分		依頼受付数			活動件数
		受付	キャンセル	不成立	
川西市	久代小	0	0	0	0
	加茂小	30	2	13	15
	川西小	492	77	4	411
	桜ヶ丘小	118	32	3	83
	川西北小	49	4	2	43
	明峰小	145	19	6	120
	けやき坂小	51	4	0	47
	多田小	28	7	0	21
	多田東小	7	0	0	7
	緑台小・陽明小	57	30	1	26
	清和台小・清和台南小	166	28	1	137
	東谷小	185	58	4	123
	牧の台小	83	6	0	77
	北陵小	0	0	0	0
	猪名川	163	17	0	146
宝塚・伊丹		16	2	3	11
合 計		1,590	286	37	1,267

地域別援助活動件数



依頼内容別援助活動件数



※その他（8件）の内訳

6件 父の遺品整理のため

2件 第2子の出産後の預かり